

57-5

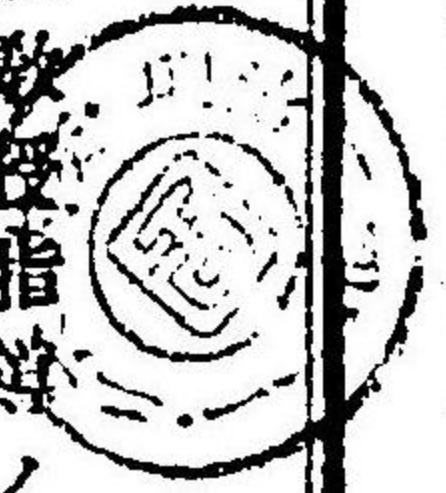
凡例

此書ハ母ラ余等カ我帝國醫科大學皮膚科教室ニ於テ恩師土肥教授指導ノ下  
 ニ日常實驗シタル所ニ基キ仍ホ同教授ノ講義筆記及ビ臨床講義録等ヲ參酌  
 シ極メテ實地醫家ニ向ツテ緊要ナル斯學ノ診斷及ビ治療法ニ就テノミ論シ  
 是ヲ特ニ同教授ノ校閱ヲ經テ上梓セリ

譯語ハ勉メテ先聖諸子ノ撰ム所ニ從フト雖モ其適譯ナキモノハ姑ク私ニ譯  
 辭ヲ下セリ然レモ參考ニ便ナランガ爲メニ其下ニハ必ズ原名ヲ併記セリ

一處方ハ本書ノ主眼タルガ故ニ多年範ヲ本邦人ニ取レル皮膚科教室ノ處方ハ  
 悉ク網羅シテ遺サズ尙ホ他ニ補綴セル所多シ然リト雖モ徒ニ實地上ニ適應  
 スル能ハザルガ如キモノハ皆之ヲ省畧セリ

一卷末ノ寫真圖ハ我皮膚科教室ニ於テ撮影所藏ニ係ルモノニシテ之ヲ恩師ニ  
 請ヒ挿入セシナリ而シテ其患者ノ既往症并ニ現在症ノ大略ヲ列舉セリ是レ  
 讀者ノ參考ニ資センガ爲メナリ



明治卅四年十一月

著者識

凡例



皮膚病診斷及治療法

目次

緒論

診斷ニ就テノ注意  
諸種發疹ノ定義  
検査上ノ模型  
治療法ニ就テノ注意

治療材料

藥劑ノ名稱

機械的療法

諸浴法

各論

第一章 炎症性皮膚病

✓「エクチエーム」

傳染性膿疱疹

匂行疹狀膿疱疹	五八
大水泡性皮膚炎	六〇
乾癬	六二
✓「ヘアラ」氏紅色糠枇疹	六八
紅色苔癬	七一
腺病性苔癬	七五
初生兒剝脫性皮膚炎	七七
頭部乳頭皮膚炎	七九
皮脂腺ノ分泌障害及ビ單純炎症	八〇
皮脂過少症	八六
尋常性瘰癧	八七
酒渣鼻	九五
✓痘瘡樣瘰癧	九八
尋常性疥瘡	九九
✓火傷凍傷	一〇二
瘰	一〇七
傳染性膿疱疹	五六



瘡

一〇九

丹毒

一一〇

第二章 皮膚血行障害

紅斑

一一四

多形滲出性紅斑

一一五

蕁麻疹

一一九

急性限局性浮腫

一二二

先天性表皮水疱症

一二三

藥疹

一二四

藥疹一覽小表

一二五

蜀黍紅斑

一二九

局所假死及ビ對等壞疽

一二九

紫斑

一三一

第三章 皮膚進行性營養障害

魚鱗癬

一三二

疥癬腫

一三五

鷓眼

一三六

疣贅

一三七

幼年扁平疣贅

一三九

被角血管腫

一三九

毛髮增生症

一四〇

爪ノ肥大症

一四二

色素性乾皮症

一四四

色素增殖症

一四六

母斑

一四六

象皮病

一五〇

第四章 皮膚腫瘍

纖維腫

一五一

蟹足腫或癭瘻

一五三

乳嚙腫

一五五

覆盆子腫

一五六

筋腫

一五七

黃色腫

一五七

肉腫

一五九

粟粒腫

一六一

腺腫

一六二

傳染性軟屬腫

一六三

癌腫

一六五

血管腫

一六七

脂肪腫

一七〇

第五章 皮膚退行性營養障害

眞皮萎縮

一七一

毛髮萎縮症

一七三

結節裂毛症

一七五

方錘狀毛髮症

一七六

皮膚色素ノ萎縮症

一七七

毛髮色素ノ萎縮症

一七九

白髮

一七九

爪ノ萎縮症

一八〇

紅斑性狼瘡

一八一

粟皮症

一八六

小兒粟皮症

一八八

多發惡疫性皮膚壞疽

一八九

第六章 神經性皮膚症

匍行疹

一九〇

帶狀匍行疹

一九〇

口唇匍行疹

一九三

陰部匍行疹

一九三

痒疹

一九四

皮膚搔痒症

一九八

解痒劑

二〇〇

慢性單純性苔癬

二〇二

天疱瘡

二〇三

匍行疹狀皮膚炎

二〇九



鬼紙頭	二二〇
光澤皮膚症	二二四
多汗症	二二五
無汗症	二二九
異性發汗症	二二九
<b>第七章 寄生性皮膚病</b>	
動物性寄生蟲	二二一
疥癬	二二一
衣服虱	二二五
陰毛虱	二二六
頭虱	二二七
植物性寄生症	二二七
白癬	二二七
寄生性匍行疹	二三〇
頑癬	二三五
癩風	二三七

紅色陰癬	二三九
彎曲面黴菌性寄生性皮膚症	二三九
<b>第八章 皮膚慢性傳染病</b>	
尋常性狼瘡	二四一
固有皮膚結核	二五一
皮膚疣狀結核	二五二
潰瘍性腺病性皮膚結核症	二五四
皮膚白血症	二五五
假性皮膚白血症	二五六
菌狀皮膚息肉症	二五七
風土病性癩	二五九
鼻硬腫	二六〇
癩	二六一
皮膚寄生菌檢查法	二六七
<b>卷末插圖ノ圖解</b>	

第十一圖	白癬	二七五
第九圖	母斑	二七六
第二圖	紅斑性復瘡	二七七
第五圖	神經癩	二七九
第六圖	結節癩	二八〇
第四圖	神經癩	二八二
第三圖	疣狀癩	二八三
第廿二圖	臭刺步	二八五
第廿一圖	軟骨刺刺ニヨル水	二八七
第十二圖	泡形成	二八九
第二十圖	酒渣鼻	二八九
第七圖	魚鱗癬	二九一
第八圖	乾癬	二九二
第十六圖	乾癬	二九四
第十九圖	白癬	二九六
第十九圖	帶狀匍行疹	二九八

第一圖	尋常性狼瘡	二九九
第十圖	圓形禿髮	三〇一
第十五圖	人工器癩疹	三〇三
第二十三圖	傳染性膿疱疹	三〇五
第十七圖	「ヘッラ」氏紅色糠枇疹	三〇六
<b>皮膚病診斷及治療法目次終</b>		



皮膚病診斷及治療法

醫學博士 土肥慶藏 校閱  
醫學士 山田弘倫 共著  
醫學士 旭憲吉

緒論

診斷ニ就テノ注意

皮膚病ヲ確診セムトセバ先ヅ發疹蔓延ノ狀態部位及ビ其簇生配列ノ  
模樣進ムデ其種々ノ變形ヲ充分ニ觀察セザル可カラズ之レ發疹經過  
中ニハ種々ノ變形ヲ爲シ諸種ノ色澤ヲ呈スル者同時ニ發現シアルヲ  
見ルガ故ニ醫師タル者ハ是等諸種ノ發疹ヲ精査熟察シテ診斷ヲ下サ  
ル可カラズ又此變形ニ因テ病症ノ増減轉歸ノ良否經過ノ長短ヲト  
シ得ラルレバナリ患者多クハ唯其自覺的ノ障害甚シキ部分ヲノミ指



示スル者ナルガ故ニ皮膚病家ハ之ニ甘ムセズ診斷ノ際ハ必ズ患者ノ全身ヲ視診スルヲ忽諸ニスベカラズ又粘膜ニ就テモ異狀ノ有無ヲ一應検査スルヲ忘却スベカラズ

皮膚病ノ診斷ハ殆ド唯外覺的症候ヲ以テ主トナスガ故ニ既往症ハ他醫學科ニ於ケルガ如ク必要ヲ感セザルナリ只ニ患者ノ言ヲ信ズレバ往々診斷ニ迷誤ヲ來タスヲアリ故ニ發疹ニ就テ精密ノ視診ヲ爲シ其病症ニ診斷ヲ下シタル後既往症ヲ聞クヲ宜ロシトス花柳病性ノ發疹ニ就テハ殊ニ然リトス之レ土肥教授ノ常ニ戒諭セラル、絨言ナリ梅毒疹ノ豫診ナレバ成ベク陰部ヲ検査シ既往症モ漏レナク質問シ且ツ其施行セシ療法ヲモ併セ問フベシ之レ施スベキ治療ニ關係アレバナリ

諸種發疹ノ定義

今左ニ發疹諸形ノ大體ノ定義ヲ約述スベシ

斑 (Macula) 皮膚表面ヨリ隆起セザル斑紋ヲ云フ

丘疹 (Papula) 隆起シタル抵抗アル小結節ニシテ小ハ粟粒大ヨリ大約「レンス」豆大ノ者ヲ云フ

結節 (Tubera-Tubercula) ハ豌豆大乃至榛實大ノ實質性ノ變狀ナリ

瘤塊 (Phyma) ハ榛實大ヨリ手拳大ニ至ル結節ノ大ナル者ト考フレバ可ナリ

蕁麻疹 (Urtica) 限局セル水腫狀ノ扁平ナル隆起ヲ云フ

小水疱 (Vesicula) 透明ナル内容ヲ有スル小疱 (Bläschen) ヲ云フ

大水疱 (Bulla-Blase) 透明ナル内容ヲ有スル者ニシテ雀卵大ヨリ鶏卵大以上ノモノヲ云フ

膿疱 (Pustula-Pustel) 大小ニ關セズ膿汁様ニ混濁セル内容アル疱ヲ云フ

皮膚出血ニテ「レンス」豆大出血ヲ血點 (Stigmata) ト云ヒ豌豆大ノ者ヲ血斑 (Petechia) ト云ヒ線條ノ者ヲ血條 (Vibices) ト云ヒ其以上手拳大マデノ者ヲ皮下溢血 (Sugillation od. Ictchymosen) ト云フ

出血性丘疹或ハ水疱 (Haemorrhagische Papel od. Blase) 字ノ如ク水疱



或ハ丘疹ノ内容實質ノ血液ナルヲ云フ  
 浸潤 (Infiltration) 平面ニ廣カリシ細胞及ビ漿液性ノ集積ヲ云フ  
 苔癬 (Ichen) ヘブラ氏ノ下セシ定義ハ小結節ニシテ始終一貫變形ヲ  
 爲サズシテ成立スル者ヲ云フ

膿疱疹 (Impetigo) 大膿疱ノ名稱ニシテ傳染性膿疱疹或ハ匍行性膿疱  
 疹ノ如シ

「エクナユーマ」(Ichthyoma) 前者ヨリ尙烈シクシテ後ニ潰瘍ヲ形成ス  
 ル者ヲ云フ

蠣殻瘡 (Rinia) 潰瘍底上ノ屋瓦狀ニ層重隆起セル痂ヲ云フ

痂皮 (Cruste) ハ滲出物ノ皮膚上ニ乾固スルニ由テ生ズル者ヲ云フ

表皮剝脫 (Frosion) 痂トハ上皮ノ物質缺損ヲ名ク

検査上ノ摸型

今左ニ記載ニ必用ナル順序及ビ用語ヲ列舉セシ

色 (Farbe) 發疹全部同様 (gleichmassig od. ungleichmassig) ナルヤ否ヤ蔷薇色  
 カ (rosaroth) 鮮紅色カ (hellroth) 蒼白赤色カ (blasseroth) 暗赤色カ (dunkelroth) 銅  
 赤色カ (kupferroth) 汚穢赤色カ (schmutzigröth) 藍紅色カ (blaueröth) 紫紅色カ  
 (lividroth) 貧血性カ (anämisch) 蒼白色カ (bläss) 白色カ (weiss) 陶器様色カ  
 (porzellanfarbig) 大理石色カ (albastfarbig) 褐色<sup>アカガネ</sup>カ (braun) 青銅色カ (bronzefarbig)  
 褐黑色カ (braunschwarz) 土色カ (ahle) 細砂色カ (gries) 黄色カ (gelb) 黄疸色  
 カ (icterisch) 又加壓褪色スルヤ (wegdrückbar) 否ヤヲ見ルベシ此際ニ因テ  
 褪色スルヤ否ヤヲ試ミント欲セバ「ガラス」壓舌器又打診板或ハ載物硝  
 子等ニテ其着色ヲ壓迫シテ透明トナルヲ最モ宜ロシトス此硝子器ヲ  
 用ユルヲ (diaskopische Untersuchung) 透見検査法ト云フ

大サ (Grösse) 發疹ノ大サハ點狀ナルヤ (punktörmig) 帽針頭大ナルヤ (stachel-  
 nadelkopfgross) 「レンス」豆大カ (linsengross) 豌豆大カ (erbsengross) 蠶豆大ナ  
 ルヤ (bohnengross) 「一錢貨大ナルヤ (markstückgross) 二錢貨大ナルヤ (haler-  
 gross) 手拳大ナルヤ (handtellergross) 直徑 (durchmesser) ハ幾何「センチ」ナル



高サ(Niveau)隆起スルヤ(erhaben?)扁平ニ高キヤ(flacherhaben?)球状カ(kuglich?)  
 結瘤状カ(knollig?)鱗状ナルヤ(lappig?)腺状ナルヤ(drüsig?)覆盆子様カ(himbeer-  
 artig?)鶏冠状カ(hahnenkammartig?)凹没セルヤ(eingesunken?)牽引性陥没スル  
 ヤ(ingezogen?)圓錐形カ(kegelförmig?)  
 形状(Form)發疹ノ形状ハ不正ナリヤ(unregelmässig?)境界明割ナルヤ(scharf  
 begrenzt?)潮蔓性ニ周圍ニ移行スルヤ(diffus in die Umgebung übergehen?)環状  
 ナルヤ(kreisförmig?)橢圓形ナルヤ(oval?)弧線ニテ境スルヤ(von Kreisbogen  
 begrenzt?)腎臓形ナルヤ(nierenförmig?)  
 表面(Oberfläche) 發疹ノ表面ハ平滑ナリヤ(glatt?)緊張セルヤ(gespannt?)  
 皺襞アルヤ(gerunzelt?)乾燥セルヤ(trocken?)粗糙ナルヤ(rauh?)肥滿セルヤ  
 (fettig?)濕潤セルヤ(tauch?)裂痕アルヤ(fissig?)出血シツルヤ(blutend?)  
 濕沾セルヤ(nässend?)痂皮アリヤ(dorkig?)鱗屑アリヤ(schuppig?)糠枇状ニ落  
 屑スルヤ(Kleienförmig abschürfend?)汚穢褐色ノ鱗屑ニテ被ヘルヤ(mit

schmutzig grauen Schuppenbedeckte?)鱗屑ハ容易ニ剝離シ得ルヤ(Schuppen leicht  
 entfernbar?)鱗屑ハ固着スルヤ(Schuppen fest haftend?)鱗屑ヲ剝離セハ出血ス  
 ルヤ(nach Entfernung der Schuppen blutend?)板状ニ落剝スルヤ(abblätternd-  
 exfolierend?)  
 集簇(Gruppierung) 限局スルヤ(örtlich beschränkt?)播種状ナルヤ(disseminirt?)  
 全身性ナルヤ(universell?)集合シテ配列スルヤ(in Gruppen angeordnet?)環状又  
 孤線状或ハ中心性環状ニ配列スルヤ(in Kreisen, Kreisbogen, Concentrischen  
 Kreisen angeordnet?)線條ニ配列スルヤ(strichförmig angeordnet?)神經々路ニ  
 從フヤ(dem Nervenverlauf nachfolgend?)  
 硬サ(Consistenz) 軟カキカ(weich?)弛緩セルヤ(schlaff?)囊様ナルヤ(sacculent?)  
 水腫様ナルヤ(oedematös?)堅硬ナルヤ(hart?)硬韌ナルヤ(darb?)象牙ノ硬サナ  
 ルヤ(elfenbeinhart?)抵抗アリヤ(resistenz?)消息子ノ加壓ニテ凹下スルヤ(dem  
 Sondenknopf nachgebend?)  
 溫度(Temperatur) 熱ッキカ(heiss?)冷タキカ(kalt?)



知覺(Sensibilität) 知覺過敏ナルヤ(Hyperalgetisch?) 知覺脱失カ(Analgetisch?) 加壓ニテ疼痛アリヤ否ヤ(auf Druck schmerzhaft od. schmerzlos?) 周圍及ビ基底(Umgebung und Basis) 普通ナルヤ(normal?) 充血セルヤ(hyperämisch?) 水腫アルヤ(oedematös?) 浸潤セルヤ(infiltrirt?) 疼痛アリヤ(schmerzhaft?)

部位(Sitz) 發疹ハ有毛部ノミナルヤ無毛部ノミナリヤ(nur an behaarten Stellen? unbehaarte?) 四肢ノ伸展側ナルヤ屈曲側ナリヤ(Streckseiten od. Beugeseiten der Extremitäten?) 手掌(Palmar manus) 足蹠(Plantar pedis) 粘膜移行部ニアルヤ(an Schleimhautübergängen?) 相互ノ觸接面ノ間ナリヤ(zwischen Berührungsfächern?)

自覺症(Subjektive Empfindung) 灼熱アリヤ(brennend?) 疼痛アリヤ(schmerzhaft?) 搔痒アリヤ(jucken?) 蟻行感アリヤ(kriechen?) 一時存在スルヤ(zeitweilig Vorhanden?) 夜間増悪スルヤ(zur Nacht stärker?) 間歇ナキヤ(ununterbrochen?)

## 治療法ニ就テノ注意

皮膚病ノ局所療法ノ第一義ハ其疾病ノ時期ニ適應セザル可カラザルニアリ故ニ終始一藥一法ヲ以テ全治良効ヲ收メント欲スルモ不可能ノ事ナリ故ニ患者ヲ屢々視診シ其經過ヲ精査シ藥劑ノ交換處置ノ改正ヲ爲サハル可カラズ是ヲ以テ他ノ醫學科ニ於ケルヨリモ皮膚病家タル者ハ必ず慎重ノ態度ヲ取り特效藥ト自認セル藥劑ト雖モ一回ニ大量ヲ處方セズ須ラク先ツ其適否ヲ確定シテ後充分ニ使用スルコトヲ忘ルベカラズ此ノ如クセバ大失策ナキニ庶幾カシ

一疾病ヲ見バ其原因ヲ確定シ内臟器官ノ異常或ハ體質ノ如何ヲ精査スルハ根治療法ヲ施コスノ必須要件ナリ

皮膚病療法ハ最モ外界ト密接ノ關係アル皮膚ノ疾患タルヲ以テ外科ニ於ケルガ如ク諸般微體ハ勿論諸種ノ理化學的作用ヲ爲スベキ外界ノ障害ヲ除クコト大目的ナリ

藥量ニ就テハ殊ニ注意ヲ要スルモノナリ種々ノ「プロセント」ハ種々ノ働キヲ爲スノミナラズ屢々又反對ノ働キヲ現ハスコトアレバナリ稀薄



ト云ヒ濃厚ト云フハ唯一個人ニ對シテ稱フル者ニシテ比較的ノ名稱  
 タリ故ニ甲ナル人ノ普通ノ皮膚或ハ肥厚セル表皮ヲ有セル者ニハ稀  
 薄小量「プロセント」ナレドモ乙ナル者ノ濕潤セル皮膚或ハ表皮剝脫ノ  
 皮膚ニハ頗ル濃厚量タルハ喋々ヲ要セザルナリ況ンヤ個人ニハ同シ  
 性質ノ皮膚ヲ有スル者ニテモ素因アルヲ以テ其感覺反應ノ有無大小  
 アルヲヤ  
 又其塗布法モ亦注意スベキヲアリ水溶液ハ酒精劑ヨリ其働キ弱ク軟  
 膏ハ硬膏ヨリ弱ク普通ノ硬膏ハ「グッタベルカ」混和ノ硬膏ヨリ其働キ弱  
 シト知ルベシ  
 治療上ニ就テ忘ル可カラザルハ各人ノ皮膚ノ刺戟シ易キヲ及ビ感應  
 シ易キヲノ種々アリ所謂特異性ノ與ツテ影響大ナルヲナリ各人同藥  
 劑ヲ以テ同様反應アル者ト思フベカラズ療法ノ絨言ハ個人的ニスベ  
 シ、摸形的ナル可カラズ

### 治療材料

皮膚病科ノ有効ニシテ且ツ巧妙ナルハ外用療法 (externe Behandlung) テ  
 リ左ニ材料ノ大要ヲ記セン  
 水 (Wasser) 新ナル炎症アル皮膚例之ヘバ急性ノ「エクチエーマ」ノ如  
 キ者ハ水ハ不良ノ結果ヲ起ス者ナリ單純溫浴下條ニ記スハ慢性症ニ  
 効アリ慢性「エクチエーマ」乾燥皮膚癢症其他ニ用ヒテ効アリ熱湯ヲ  
 バ海綿或ハ布片ニ漬タシタル者ヲ以テ分秒時間宛反覆局部ヲ溫ムレ  
 バ一時性血管擴張後ニ甚シキ収縮ヲ起コスノ働キアリ急性「エクチエ  
 ーマ」酒渣鼻皮膚癢症等ニ効アリ又冷罌法或ハ油紙ニテ包纏スル者  
 ハ蒸發器法 (Dunstschlag) ト云フ又熱氣ヲ適當ノ方法ヲ以テ應用ス攝  
 氏五十度迄ノ者ナリ瘡癩、面皰、油性皮脂漏「エクチエーマ」等ニ効アリ浸  
 潤ノ吸收分泌ノ抑制及ビ癩痕形成ヲ促ガスノ作用アレバナリ  
 「グリセリン」(Glycerin) 純粹ノ者ハ其濕潤物ノ爲メニ皮膚ヲ刺戟スレ



凡稀薄セル者及ビ已ニ濕ヒタル皮膚ニ塗布スレバ効アリ  
 「アルコール」(Alkohol)「エーテル」(Äther)「コロホルム」(Chloroform)等ハ  
 皆皮膚ノ脂肪ヲ脱失セシムル者ニシテ流動體或ハ脂肪性ノ者ノ吸收  
 ヲ促ガスノ効アリ皮膚甚シク脱脂セバ乾燥シ粗糙トナリ裂痕ヲ起シ  
 落屑ス (abschüpfend) ルヲ常トス「アルコール」ハ皮膚ヲ迅速乾燥 (schnelle  
 Abtrocknung) スルノ目的ニハ最モ適當ナリ (Zweckmässig) 又「エーテルアルコ  
 ール」ノ溶液 (Lösung) ハ散霧法 (spray) ニ應用シ急性ナラザル炎症ナキ疾  
 病ニ利用ス廉價便利 (sparsam, bequem) ニシテ且ツ深達作用 (Tiefenwirkung)  
 ヲ有スル者ナリ

油(〇) 主トシテ痲皮ノ軟化 (erweichen) ニ應用スル者ナリ就中最モ良キ  
 ヲ阿列布油 (ol. olivarium) トス甘扁桃油 (ol. amygdalarum dulcis) モ然リ亞麻仁  
 油 (ol. lin.) ハ游離脂酸アルヲ以テ全く無害ナリト云フヲ得ザルモ用ヒ  
 テ便利ナリ殊ニ火傷ニ適セリ肝油 (ol. jecoris acellii) モ亦游離脂酸多キ故往  
 々刺戟スルヲアリ且惡臭ノ爲メ使用ヲ妨グルモ腺病性疾病ノ外用ト

シテ多く用ユ蓖麻子油 (ol. Ricini) 是レ甚ダ必用ナリ冷タキ「アルコール」  
 ニハ溶解スルヲ以テ多ク「エーテル」〇%酒精劑ノ塗髮液 (Kopfwasser) ト  
 シテ使用ス

「エーテル」性油ハ揮發シ熱ノ爲メ分解スルヲ以テ唯附香料トシテ應用  
 サル、ノミ時ニ「テレピン」油ヲ丹毒ニ用ユコアリ

脂肪 (Fette) ウンナ氏ハ脂肪ヲ左ノ如ク區別セリ

(イ) 牛酪様脂肪 (Butterartige Fette) ハ溶解點ハ攝氏三十度ヨリ四十度ト  
 ス牛酪 (Butter) ラノリン (Lanolin) 豚脂 (Adeps Sullii) 之ニ屬ス

(ロ) 皮脂様脂肪 (Talgartige Fette) 溶解點ハ攝氏四十度ヨリ五十度ニシ  
 テ牛皮脂、羊皮脂 (Rindertalg, Hammeltalg) 及ビ鯨腦油 (Walrath) 之ニ屬  
 ス

(ハ) 燧狀脂肪 (Wachsartige Fette) 溶解點ハ五十度ヨリ六十度トス  
 脂肪應用ノ目的ハ脂肪皮膚缺乏ノ補助 (Ersatz) ニシテ痲皮ノ軟化或ハ  
 軟膏調製ノ際其基礎料トス



豚脂ハ安息香酸豚脂(Adeps benzotus)トシテ用ユルヲ最モ良トス四%ノ割合ニ加フレバ豚脂ノ腐敗分解スルコトナシ

「テノリン」ハ腐敗或ハ分解ヲ起サズ皮膚中ニ容易ニ入り且ツ水分ヲ吸收スルコト多シ其軟カキ爲メ「ワゼリン」(Vaseline)甘扁桃油或ハ「グリスリン」ヲ加ヘ使用スベシ

「カト」ヲ酪(Butyrum cacao)ハ皮脂ノ硬サニテ溶融點ハ牛酪ニ同シ五%ノ割合ニ燻ヲ加フレバ恰モ燻ノ硬度ヲ得體温(Körpertemperatur)ニテ溶解ス

「ワゼリン」(Vaseline)ハ脂肪ニアラズ炭化水素ノ混合物ニシテ石油製造ノキノ沈渣物ヨリ取ルモノナリ溶融點ハ三十三度ヨリ四十一度ナリ分解(Fanzinieren)スルコトナシ「ワゼリン」代用品ハ「パラフィン」ニシテ固形「パラフィン」二分ト流動「パラフィン」四分ノ「パラフィン」ノ軟膏ナリ

藥劑ノ名稱

軟膏ムル(Salbenmilch)トハ粗製ノ「ガーゼ」一面或ハ兩面ニ伸ベタル羊脂肪ヲ基礎トセル脂肪軟膏(Fettsalben)ナリ粘着セザルヲ以テ繃帶ニテ固定セザル可カラズ不廉ノ者ナリ軟膏ヲ使用スル所ニ用ユル者ナレバ日本ニテ實用ニセントスル必要ヲ見ズ

搽粉劑(Pasten) トハ或粉末ヲ加ヘ硬クセル膏藥ニシテ粘着セズ又容易ニ溶解セズ指間ニ粘テルモノ軟化セズ良ク貼附スルモノナリ其元形ハ「ラッサ氏」ノ亞鉛華澱粉「バスタ」ナリ左ノ如シ

水楊酸 二〇

ワゼリン 五〇〇

亞鉛華 各二四〇

澱粉

此ノ如キモノナリ

軟膏棒, 搽粉棒(Salbensäfte und Pastensäfte)「ウンナ氏」方軟膏棒ハ油, 燻, 樹脂石鹼末ヲ以テ合製ス限局性角質ノ傷害ノ者ニ使用ス搽粉棒ハ澱粉「ゴム」



砂糖トラガントヨリ合製ス兩者共ニ實用ニ必須ノ者ナラズ  
硬膏(Paster)良好ノ者ハ第一温メズノ粘着スベシ第二無刺戟ノ基礎タ  
ラザル可カラズ第三諸種ノ藥劑ヲ混ジテ其粘着力ヲ失フ可カラズ第  
四容易ニ腐敗セザルベシ

膠及ビ假漆(Leine und Finisse)之ハ皮膜形成ノ方法ナリ此中ニリニメン  
ト「ビック氏」アリ左ノ如シ

トラガントコム 五、〇

グリスリン 二、〇

水 一〇〇、〇

此内ニ適當ノ藥劑ヲ加ルナリ

ウンナ氏ノ「イヒチヤール」假漆劑アリ「イヒチヤール」蛋白溶液及ビ澱粉  
ヨリ調製ス

イヒチヤール 四〇、〇

澱粉 四〇、〇

蛋白溶液

一〇、一五

水 一〇〇、〇

又「トラウマチン」(Traumaticin)ハ「グタベルカ」一分ヲ「クロ、ホルム」十分  
ニ溶解セル者ニシテ「クリザロピン」等ヲ加ヘ用ユルニ宜ロシ

「コロヂューム」蓖麻子油ハ「コロヂューム」八分蓖麻子油一分トシ「沃度」ホルム「  
亞鉛華」ヲ加用スルニ適セリ

「コロヂューム」カナダバルサム「ハ」コロヂューム「ハ」十六分「カナダバルサム」一分  
トシ水楊酸加用ヲ可トス

石鹼(Saiein)ニテ「ナトリウム」化合物ハ硬ク加里ノ化合物ハ軟ナリ石  
鹼ハ皮脂ヲ溶カシ表皮ノ癒着ヲ弛緩セシメ角質組織ヲ軟化シ皮膚中  
ニ侵入スル「容易」ナリ「游離亞爾加里」ノ多分ナル程角質破壊作用強シ  
故ニ「アルカリ性」石鹼或ハ石鹼使用ノ甚シキ者ハ皮膚脱脂シ刺戟シ炎  
症ヲ起コス故ニ醫用ニ供スル者ニテ可ナルハ軟石鹼ノ加里石鹼(Sapo  
viridis)ナリ此ニ刺戟性軟膏ヲ加ヘテ用ユル「アリ」加里石鹼精(Spiritus



sapo Kalinus) 亦然リ

### 機械的療法

- (一) 按摩 (Die Massage) ハ浸潤ヲシテ柔軟ニナシ消退セシムルノ目的ニシテ硬結性瘡瘡單純及ビ寄生性癬瘡等ニ應用ス
- (二) 刺穿法 (Stichlung) 即チ細小血管ノ挫滅 (Dissection feiner Gefasse) ニシテ解剖力 (Scalpel) 或ハ種痘針ヲ併列一束セシ如キ者ヲ以テ亂刺切ヲ行フナリ瘡瘡及ビ酒渣鼻等ニ用フ
- (三) 烙白金燒灼 (Praguelensche Thermokauter) ニラウンナ氏ノ白金小燒灼針 (Microbrenner) ヲ用ユ此法ハ以テ大小腫瘍例之ヘバ母斑ノ破潰又毛囊炎狼瘡乳色斑ヲ處置ス
- (四) 熱氣法 トハ熱氣器 (Heissluftapparat) ナル白金燒灼器ノ尖端ニ小孔アリ之ニ護膜球附着アリ此器ヲ以テブレンセン煙或ハ電氣裝置ニ連結シテ以テ球ヲ利用シテ熱氣ヲ其患部ニ當ツルナリ例セバ狼瘡母斑

及ビ軟下疳等ニ應用ス

- (五) 電氣燒灼法 (Galvanokautik) ハ狼瘡結節疣贅母斑等ノ治療ニ應用ス
- (六) 電氣分析法 (Elektrolyse) ハ小直縫針 (Nähnadel) 或ハ小白金針ヲ消極 (Negative Pol) ト結合シ積極 (Positive Pol) ヲ患者ノ胸骨或ハ項部等ニ當テ而シテ針ヲ其處置スベキ所ニ淺刺シテ電氣ヲ通シテ組織ヲ破潰スルナリ平流電氣ニシテ電流ノ強サハ一—三ミリアムペーアトス毛髮或ハ小腫瘍ノ除去 (Entfernung) ニ利用ス

### 諸浴法

- (一) 普通浴 (Gewöhnliche Wasserbäder) ハ普通温浴ヲ云フ之ニ二種アリ
  - (イ) 持續浴 (Permanentes Bad) ハ火傷全身性皮膚剝脫 (Excoriation universalis) 等ニ應用ス
  - (ロ) 半時間乃至二時間迄ニシテ最モ良キハ亞爾加里性ヲ加フ即チ曹達一—四ポンド剝篤斯一〇〇〇—五〇〇〇瓦或ハ加里石鹼半—二



「ボンド」ヲ加入スベシ鱗屑結痂ノ軟化(Trweichen)及ビ除去ニ用ユ故ニ  
乾燥魚鱗癬等ノ角質増殖症又慢性「エクチエーマ」及ビ慢性尋常硬結  
性瘰癧ニモ効アリ

(二) 膠浴 (Leimbäder) 指物屋ノ使用スル膠ノ一―八「ボンド」ヲ加ヘタル者  
ヲ云フ痒疹或ハ凍傷ニ用ヒテ宜ロシ

(三) 糠浴 (Kleibäder) ト「ハー―五」ボンド」ヲ糠ヲ煮沸シテ浴ニ加フ痒疹ア  
ル者ニヨロシ

(四) 硫黃浴 (Schwefelbäder) ハ五〇〇―一〇〇〇瓦ヲ入レ小兒ニハ二〇  
〇―三〇〇瓦ヲ入レ全身浴 (Vollbad) トシ硬結性瘰癧疥癬痒疹其他慢性  
痒疹性皮膚症ニ効アリ

(五) 昇汞浴 (Sublimbäder) 全身浴トシ五〇―一〇〇ヲ加ヘ瘰癧瘰癧全  
身虱小兒梅毒等ナリ小兒ノ浴ニハ一〇瓦ヲ入ルベシ

(六) 過滿俺酸加里浴 (Kaliumpermanganatbäder) 全身浴ニ五〇―八〇瓦  
ヲ入レ小兒浴ナレバ三〇瓦トシ痒疹及ビ瘰癧症ニ用ユ

(七) 薄荷浴 (Mentholbäder) ハ薄荷五〇薄荷油一〇〇〇瓦ヲ加ヘ其二〇〇  
―五〇〇ヲ浴中ニ加ヘ尋麻疹等ニ用ユ

(八) 「テール」浴 (Theerbäder) ハ左方ヲ塗布ス  
樺木蓂兒油 各五〇〇  
杜松子油 各五〇〇  
酒精 各二五〇  
阿列布油 各二五〇

此劑ヲ入浴前ニ塗布シ或ハ皮膚ノ感應シ易キ者ニハ此液ニ二―五倍  
ノ阿列布油ヲ加ヘ浴中ニ入レ攝氏二十七―二十九度ノ温度ニテ半時  
間或ハ一時間浴中ニ居リ後石鹼ニテ洗ヒ冷水灌注 (Kalte Douche) ニテ洗  
滌シ後滑石ヲ撒布スベシ全身浴或ハ局所浴トシテ用ユ急性濕潤性或  
ハ丘疹性「エクチエーマ」ニハ禁忌ナリ (Contraindiziert) 適應症ハ慢性浸潤ア  
ル「エクチエーマ」乾癬魚鱗癬痒疹寄生性匂行疹頑癬及ビ癩風等ナリ  
(九) 墨漿浴 (Dintenbäder) 局所 (Localbad) 或ハ全身浴ヲシテ迅速ニ柔軟且



ツ制痒作用ヲ爲スモノナリ全身エクチエーマニ落屑性皮膚炎、天疱瘡菌  
状態肉疹等ニヨロシ

各論

第一章 炎症性皮膚病 (Entzündliche Dermatosen)

「エクチエーマ」(Ekzema, Nässende Flechte)

「エクチエーマ」ハ皮膚病學中ノ最緊要ナル疾病ニシテ吾人ノ常ニ遭遇  
スル皮膚發疹ノ大部ヲ占メ其病狀千態万狀ナリ經過モ急性ノ者ニテ  
治療其機ニ應シテ効ヲ奏スレハ僅カニ二週間ニシテ痕跡ヲ留メス清潔  
トナリ又慢性ノ者或ハ初メ急性ナリシモ療法常ニ反對ニ出テ禁忌ノ  
トノミヲ行ヒ所謂執拗トナリシ者ハ一年二年ハ愚カニ生涯汚穢ナル  
病皮ヲ被ムル者ナキニアラス此ノ如キヲ以テ「エクチエーマ」療法ハ專  
門家ト雖モ苦心經營シテ尙常ニ違算ナク満足ナル成績ヲ得ルヲ斷言  
シ得ス況ンヤ専門醫タラザル者ヲヤ其轉歸ハ如何ニ病症ハ進行シツ  
、アルヤ退却ノ状態ニ傾キツ、アリヤ此時斯ヨリ如何ナル時期ニ移  
行スルヤ等ヲ細心注意シテ視診セサル可カラス故ニ此「エクチエーマ」



ノ診断及ヒ療法ハ共ニ務メテ精密ニ述ヘントス  
先ツ外見上ヨリ分チテ名稱ヲ下セハ左ノ如シ而シテ醫師ハ左ノ諸名  
稱ヲ能ク腦底ニ印スルヲ要ス

(一)紅斑性「エクナエーマ」(Eczema erythematosum) 皮膚ハ潮溼性或ハ

斑點狀ニ發赤充血シ腫レ上リ浮腫シ視診ノ際其部ヲ側方ヨリ熟視  
セハ小水疱或ハ丘疹アリテ皮膚面ニハ多少高低ヲ認ムルモノナリ

(二)丘疹性「エクナエーマ」ハ(Ekz. papulatum) 丘疹狀ノ隆起ハ多少  
發赤セル皮膚ノ上ニ一定ノ配列ナク出來居ル者ナリ

(三)小水疱性「エクナエーマ」(Ekz. vesiculosum) トハ發赤充血セル  
皮膚ニ大小種々ノ不正ニ配列セル透明ナル水疱アリ中ニハ融合セ  
ル者アリ又膿疱ニ變化シタル者モアリ乾キタル者或ハ破レタル者  
アリ其ノ水疱ノ被蓋取ルレハ濕潤セル表皮細胞層ヲ現出スル者ナ  
リ

(四)膿疱性或ハ膿疱疹狀「エクナエーマ」(Ekz. pustulosum od. im-

petiginosum) ハ發赤セル皮膚上ニアル水疱皆膿汁様ニ混濁セリ然シ  
ム微體ノ刺戟即チ蕃殖ニ因テ第三(三)ノ小水疱性「エクナエーマ」ノ此形  
ニ變性シ得ルハ理ノ見易キ所ナリ

(五)糜爛性「エクナエーマ」(Ekz. madidum) ハ上述諸「エクナエーマ」ヨ  
リ來タル變性狀態ヲ名ツクル者ニシテ之レ唯表皮上層ノ剝離シタ  
ルノミ皮膚ハ赤クシテ濕潤セル面ヲ呈ス

(六)結痂性「エクナエーマ」(Ekz. crustosum) ハ分液乾キテ痂皮ヲ作  
リシ者ニシテ其痂皮ヲ除去セハ濕潤セル唯乳頭狀ニ高マリシ面ヲ  
呈スル者ナリ而シテ其痂皮ノ色ハ分泌物ノ種類ニ因テ差アリ漿液  
性(seros)或ハ膿汁性ノ「(cirig)」アリ又血液ノ多少混合スル「(ア)」アリ又  
脂肪分泌ノ多寡及ビ此等ニ附着セル汚垢物等ニ因テモ其色ヲ異ニ  
ス

(七)落屑性「エクナエーマ」(Ekz. squamosum) 上記諸「エクナエーマ」  
ノ治癒期症狀即チ最後ノ生産物ニ外ナラス唯慢性ノ者ハ初ヨリ此



状態ヲ起コスヲアリ特兆ハ灰白色 (gray) ノ落屑 (Abschilferung) ヲ赤  
キ皮膚上ニ認ムルコト是ナリ

斯ノ如ク一疾病ニシテ其時期ニ因リ多形ノ症状ヲ現ハスカ故ニ醫師  
タル者ハ「エクチエーマ」ヲ確診ヲ下セルキハ第何期ニ相當セルヤヲ更  
ラニ定メザル可カラズ是レ治療上ニ關係ヲ有スルコト大ナレバナリ

「エクチエーマ」ハアウスビッツ氏ノ稱ヘシ如ク「皮膚表面ノ加答爾 (Catarrh)  
ニ外ナラスシテ殊ニ漿液性或ハ膿様滲出ヲ伴ヘル者ナリ」トハ實ニ簡  
潔明瞭ナル定義ナリ故ニ加答爾ノ如ク亦其症状ニ急性慢性ノ二種ア  
リ診斷ニハ其梗概ヲ知ラザル可カラズ

急性症状ヲ約述セハ左ノ如シ

大凡二十四時間ヨリ四十八時間中ニ甚シク發赤且往々巴ニ浮腫シ  
タル皮膚面ニ小結節或ハ小水疱ヲ發シ患者ハ殆ト皆堪ヘ得サル灼  
熱及ヒ搔痒ニ苦メラル而シテ多クハ此症状持續シ特ニ臥床ノ温度  
ノ爲メニ増劇スル者ナリ此搔痒ノ爲メニ患者ハ搔抓シテ病症ヲ増

悪シ水疱ハ破レテ其跡ニ濕潤面ヲ遺コシ或ハ出血ヲ起シ而シテ搔  
痒依然タリ經過ハ速カニシテ治療ハ二三週ヲ普通トスレトモ再發  
(Recidiv) 多クシテ慢性ニ移行シ易シ皮下組織ノ弛緩セル處(眼瞼手  
背足背等)ハ甚シキ水腫ヲ惹起スルコトアリ

慢性トハ其經過ノ長短ヨリ命名セシニアラズ皮膚ニアル變化即チ堅  
韌ナル浸潤或ハ皰裂等ノ存在スルキヲ云フ即チ急性ノ再發ヲ反覆  
シテ炎症狀ヲ同部位ニ起コシ遂ニ皮膚ノ變化ハ固定性ノ者トナリ  
而シテ其病狀發作ハ常ニ高低増減アルナリ此ノ如ク持續性ノ刺戟ヲ  
受ケテ皮膚肥厚及ヒ色素沈着ヲ該部ニ遺コス者ヲ云フ

此急性慢性共ニ身體諸部ニ來タリ其部位ニ從テ諸種ノ異狀ヲ呈ス  
ル者ナリ從ツテ亦名稱ヲ異ニセリ左ニ約述セン

頭部「エクチエーマ」(Eke. Capilitis) ハ濕潤性膿疱性或ハ落屑性ノ者ヲ  
多トシス甚シキ皮脂漏 (Seborrhoe) ノ者ハ脂肪性結痂ヲ起シ毛髮癢  
着シテ糾髮病 (Pulica polonica) トナリ而シテ脂肪或ハ膿汁ノ腐敗



分解ノ爲メニ惡臭ヲ放ツニ至ル其痂皮ノ下ニハ膿汁ノ沈着ノ爲メニ常ニ淺表ノ剝離或ハ乳頭狀増殖ヲ起ス虱(Taus)ノ附着セルキハ殆ト此症狀アリ且ツ項部耳後頸部等ノ腺ニ腫大アリ髪ハ膿疱疹性或ハ甚シキ皮脂漏性[エクチエーマ]ニテハ脫毛スレモ再ヒ發生スルモノナリ

濾胞性ノ者ニテ鬚髯等ニ來タル者尋常性鬚瘡(Sycosis vulgaris)ハ頭部ニ來タルトハ稀レナリ

顔面[エクチエーマ]ハ殊ニ小兒ニ最モ多ク來タリフオルクスムント氏ハ之ヲ乳汁結痂(Milchkruste)ト名ケタリ之レ常ニ痂皮ヲ作ルヲ普通トスレバナリ

(イ)鼻孔及ヒ上唇ノ[エクチエーマ]ハ鼻加答爾ト併發スルヲ例トセリ大人ハ尋常性鬚瘡ト合併スルヲ多ク而シテ遂ニハ頤頰部等ニ蔓延ス

(ロ)眼瞼附近ノ[エクチエーマ]ハ高度ノ浮腫ヲ起ス

(ハ)耳ノ[エクチエーマ]ハ腫起甚シク其皸裂等爲メニ消失シテ非常ニ醜形ヲ呈シ病症ハ遂ニ外聽道(aussere Gehörgang)ニ侵入スルヲアリ耳輪後部乳頭突起ノ邊ニテハ皸裂ヲ起スヲアリ

頸部ノ[エクチエーマ]ハ肥滿シタル小兒或ハ大人ノ皮膚皸裂間ニ發生ス

肋骨部ノ者ハ多ク皮脂漏ヲ合併ス

乳房部ノ者ハ裂痕(Schründen)ヲ起シ疼痛ヲ感スル者多シ乳房ノ所謂[パヂエツト]氏[エクチエーマ](Paget'sche Ekzema)ハ往々癌ヲ誘起スル者ナルモ畢竟表面性蔓延セル表皮癌ニ外ナラス

陰部ノ[エクチエーマ]ハ實地家ノ屢々遭遇目撃スル所ニシテ就中陰囊[エクチエーマ](Ikz. scroti)多クハ濕潤性ニシテ慢性トナル者ヲ普通トシ時トシテ象皮様肥硬ヲ起ス陰股皸裂(Genitocruralfalte)ノ[エクチエーマ]ハ第一期ナル紅斑性[エクチエーマ]ニシテ肛門截痕部ト同シク是等ハ間皸[エクチエーマ](Ikz. intertrigo)ノ本トナル



ナリ肛門周圍ニハ往々痒症ノ結果トシテ慢性トナルヲ決シテ少  
 ナカラス皮膚肥硬シ皰裂及ヒ裂痕ヲ生ス陰莖ハ陰囊エクチエー  
 マノ際侵襲サレ特ニ陰囊ニ觸接(Berührung)スルヲ以テ下面(untere  
 Fläche)ヲ多シトス脛及ヒ陰脣ハ最モエクチエーマ様ニ罹リ易キ  
 ハ多言ヲ要セスシテ明カナリ

上肢ニ來タルエクチエーマハ關節ノ屈側ヲ犯カスヲ常トス手ニハ  
 諸種ノ職業等ノ影響ヨリエクチエーマノ起ルヲアリ是ヲ職業エ  
 クチエーマ(Gewerbeekzem)ト云フ老人ニテハ手背或ハ上肢ノ伸展  
 側ニ往々發生スルヲアリ手背ノ者ハ浮腫甚シク手掌ニ來タレハ  
 肥硬ヲ遺コスヲ稀ナラス而シテ職業性エクチエーマナレハ殆ト  
 兩側ヲ對等ニ犯カスヲ殆ト通例トス

下肢ノ者ハ下腿ノエクチエーマ殊ニ靜脈瘤ノ存在スルキハ鬱血皮  
 膚症トシテ來タルヲ忘ル可カラス是レ甚タ頑固ニシテ浸潤甚  
 シク象皮症サヘ起コシ又往々疣狀或ハ胼胝狀ヲ形成スルニ至ル

(Varizen-Schwielenähnlich)之ヲ疣狀エクチエーマ(Ekz. verrucosum)ト

云ヒ皮膚ハ稍紫色蒼白ヲ呈シ爰ニ同時ニ潰瘍ヲ來タスヲアリ

(Ulcera cruralis)下腿潰瘍之ナリ

此ノ如クエクチエーマハ其病症形狀ノ多様ナルノミナラス又其部位  
 ニ因テモ各特異ノ形ヲ現ハスモ尙診斷上及ヒ治療上ニ必要ナルハ其  
 原因ヲ知ルヲナリ此ニ因テ其變體或ハ發生ノ部位迷誤等ヲ氷解明了  
 ナラシムルノ利益アレバナリ左ニ其大要ヲ畧述セントス

原因ニ内外ノ別アリ

**内原因 (Innere Ursache)**

- (イ) 神經系統ノ異常 (Anomalien des Nervensystems)
- (ロ) 血液異常 (Blutanomalien)
- (ハ) 體質病 (Constitutionelle Erkrankungen)
- (ニ) 消化器障害 (Verdauungsstörungen)
- (ホ) 妊娠 (Gravidität)



(一) 氣管枝性喘息 (Asthma bronchiale)

(一) 神経系統異常神経性[エクチエーマ]ハ常ニ兩側對等(Symmetrisch)性ニシテ殊ニ手及ヒ指ニ多ク小水泡或ハ丘疹ノ發スルヲ著明ニシテ水泡ハ主トシテ集簇發生スル者多シ搔痒アリ且ツ知覺異常ヲ伴フヲ普通トス

(二) 血液異常ハ貧血[クロローゼ] (chlorose) 白血病 (Leukemie) 等ニ來タルコアリ

(三) 體質病萎黃病及ヒ特殊ノ腺病ニ來タル腺病性[エクチエーマ]ハ專ラ鼻孔上唇眼瞼耳及ヒ頭部ニ發シ他ノ腺病性容貌 (Scrophulöse Aussehen) ヲ呈スウンナ氏ハ腺病性[エクチエーマ]ヲ結核トシ且局所ノ結核性傳染ナリト見做セリ

(四) 消化器障害ハ特ニ消化不良慢性便秘ノ者ニ多シ

(五) 妊娠中ノ者

(六) 氣管枝喘息患者ハ幼キ時瀰蔓性[エクチエーマ]ニ罹リシ者多キハ

事實ナリ

外原因 (externe Ursache)

外因 { 寄生性 (Parasitär) 非寄生性 (nicht parasitär)

(一) 寄生性トハ一種ノミ微體 (Microorganismen) ガ[エクチエーマ]ノ原因タルコト何人モアリ得ヘシト信スレモ未タ一定ノ者ヲ證認シ得ス併テウンナ氏ノ皮脂漏性[エクチエーマ]ヨリ發見セシト云フ[コツケン] (Cokken) モ未タ全ク認定セラレザルナリ然レモ寄生性ノ者ナルベシトハ何人モ首肯スル所ナリウンナ氏ノ所謂皮脂漏性[エクチエーマ]トハ多クハ頭部ニ初マリ或ハ胸部或ハ又胸骨部肩胛骨腋窩肘窩陰股皺襞間等ニシテ皮脂漏ヲ合併スルヲ特有トセリ然レモ皮脂漏性ナル[エクチエーマ]ノ特有性ト云フ者ハ凡テノ専門家ノ一致シタル症狀ナラス唯治療上ニ關シテ寄生性ナルベシトノ疑ヲ置クヘキ必要ノ點ナリエスチル氏ハ次ノ如ク云ヘリ[皮



脂漏ノアル場合又ハ「エクチエーマ」比較的明割ナル環狀ニ花環ノ如キ配置ニテ赤色或ハ褐色ノ邊縁ニテ境サル、者ハ寄生性ノ者ト見做スベシ」ト又興味アル説ナリ

(二)非寄生性理化學的其他ノ諸刺戟ニテ「エクチエーマ」ヲ起コシ得ベシ摩擦、加壓、搔抓ニテ起リ殊ニ搔抓後「エクチエーマ」(Kratzkeim)ハ機械的ノ外ニハ微體侵入ノ門戸ヲ開キ或ハ有害物ヲ移植スル如キ關係アリ或ハ石礫特ニ洗濯曹達ノ如キ者ヲ使用スル者ハ手ニ「洗滌」(Ektachie)「イキ」(Ikt. lotium)ヲ起コシ皮膚ノ非常ナル濕害或ハ乾燥不充分ノキ、刺戟劑ノ藥劑、化學的材料、日光或ハ電氣等ハ所謂「大陽」(Ektachie)「イキ」(Ikt. solar)日光紅斑(Erythema solare)ヲ起コス「ア」リ皮膚分泌物ノ分解シテ、皮膚ヲ刺戟スル場合亞爾加里性ノ「尿酸」(Uraeus, Urin)或ハ隣接セル粘膜ノ加答爾或ハ他ノ皮膚病特ニ「瘙癢」ヲ伴ヘル皮膚瘙癢症、疥癬等ニ續發スル者アリ

診斷及ヒ類症鑑別 (Diagnose, differential Diagnose)

(一)濕潤セル「二」丘疹又ハ水泡發赤ヒル上ニ灰白色ノ鱗屑アリ而シテ其發赤ハ多ク限界明割ナラズシテ自然ニ周圍ニ移行シ消失スル「三」發疹ノ形狀多形ナル「一」即チ同時ニ諸種名稱ノ「エクチエーマ」ノ現存ヲ認ムル「一」及ヒ「四」瘙癢其他部位及ヒ原因等ニテ各其特異ノ點ヲ參酌スレハ殆ト誤診スル「一」ナシ鑑別ヲ要スレハ左ノ如シ

第一、丹毒、Erysipelas 此症ナレハ甚タシキ全身症狀アリ熱甚シク其發疹ノ境界ハ明割ナリ發赤特ニ鮮ヤカナリ其表面ハ決シテ濕潤セス且平滑ニシテ疼痛アリ側面ニテ見ルモ肉眼ニテ丘疹或ハ水泡等ヲ視ル「一」ナシ

第二乾癬(Psoriasis) 濕潤セス銀白色ノ鱗屑ニシテ此ヲ剝離セハ點狀出血性ノ底アリ發疹ハ明割ニ限局ス部位ハ伸展側ナリ

第三顏面匍行疹(Herpis faciae) 唯何等ノ自覺症ナクシテ僅カニ赤味アル皮膚ノ上ニ水泡ノ集簇スルヲ見ルノミ

第四斑狀寄生性匍行疹 (Herpes tonsurans maculosus) 圓キ輪形ノ境界明



劃ニシテ且ツ其邊緣ハ小サキ鋸齒狀ヲ爲ス落屑アリ然レモ濕フコ  
ナク發疹ノ中央ハ治癒シテ健康ノ觀ヲ呈ス且ツ寄生菌アリ

第五頭癬 (Tinea Marginalis) 明劃ナル境界ニテ孤線狀暗褐色ノ邊緣ヲ有  
シ其邊緣ニ丘疹或ハ小水疱ヲ認ムルヲ常トス而シテ中心部ハ病勢  
退行若ハ治癒ス腋窩或ハ陰股部ニ好テ發生ス

第六紅斑性狼瘡 (Lupus erythematosus) 圓形若クハ不定形ニシテ周圍ニ皮  
脂漏性ノ沈着物アリ烈シキ搔痒ナシ病症經過慢性ナリ中心部ハ癩  
痕狀萎縮ス

第七尋常性天疱瘡 (Pemphigus vulgaris) 水疱大ニシテ其水疱ハ弛緩性ナ  
リ其各水疱間ノ皮膚ハ健皮ナリ即チ約言セハ炎症々狀ナシ

第八疥癬 (Scabies) 蟲道 (Milbenngang) ノ痕跡即チ斜ナル黒點丘疹上ニアリ其  
部位ハ手指間腕關節窩前腋窩皺襞陰莖是レ特ニ注意スベシ腰部等  
ナリ即チ衣服等ニテ加壓ノ部位ニ多シ常ニ頭部及顔面ニ來タラズ

治療法 (Therapie) 治療法モ亦「エクチエーマ」ノ症狀 (Symptome) ノ多形

(Polymorphe) ナルニ從ヒ又原因 (Ursache) ノ多樣ナルニツレ (verschieden)  
非常ニ藥劑及ビ方法ヲ異ニセリ之ヲ會得シテ適當ニ處置セザレバ經  
過 (Verlauf) ヲ長クスルノミナラズ却テ病形 (Krankheitsbild) ヲ増悪 (Versch  
elimmern) スルモノナリ「エクチエーマ」治療ニ就キ機ニ應ジ變ニ處シ巧  
ミニ操縦 (Behandeln) スル者ハ實ニ皮膚病科ノ (Dermatologie) 専門家 (Spe  
cialist) トシテ耻ヅル所ナシ是レ經驗 (Erfahrung) ト學理 (Theorie) ト相俟テ  
進歩セザル可カラズ

治療法ノ第一義ハ内外因ヲ除去 (Beseitigen) スルコトナリ例之バ體質的消  
化器障害或ハ理化學的等ノ刺激ヲ去ラザル可カラズ  
何種ノ「エクチエーマ」ヲ問ハズ皮膚ノ諸變化ニ隨テ常ニ其處方ヲ變更  
撰擇セザル可カラザルハ已ニ反覆注意セル所ナリ以テ適當ナル藥劑  
(Medicament) 或ハ藥量ノ「プロセント」ヲ改正スルヲ要ス始メハ藥劑ノ適  
否ヲ試ムルノ目的ヲ以テ一局部ニ用ユルカ (örtlich) 或ハ少量ヲ處スベ  
シ假令ヒ多クノ人ニ適當 (ampassen) スル藥劑或ハ「プロセント」モ偶々個



人ノ特異性 (Idiosyncrasy) アルガ爲メ不測ノ失敗ヲ招クコトアレバナリ  
**内服薬** (Interne medicamente) 内臓疾病 (Innere Leiden) ニ對應 (indizieren) ス  
 ル藥劑例モバ肝油 (Lebertran) 燐劑 (Phosphorpräparat) 亞砒酸 (arsen) 及ビ麥  
 角 (Ergotin) 礦泉療法 (Brimmenkurzen) 等トス亞砒酸ハ唯慢性ノ者ニ適ス  
 ルナリ其處方ハ亞細亞丸トシテ用ユルヲ便トス

亞細亞丸

(1) 亞細亞丸 (asiatische Pillen)

亞砒酸

〇〇五

黑胡椒末

二〇

アラビヤゴム

適宜

甘草越幾斯及末適宜

右爲六十九一日二三回一丸宛食後服用 (Täglich 2-3 mal eine Pille  
 nach dem Essen) 漸次増量一日十九迄トス  
 或ハ法列兒水トシテ用ユ

(2) 法列兒水 (Sol. arenicosum. Fowleri)

亞砒酸加里

枸橼酸水

各五〇

右三回一日六一二十滴 (3 mal tägl. 6-20 Tropfen) 食後 (nach dem Essen)  
 漸次増量スベシ (allmählich steigern)  
 或ハ法列兒水注射 (Subcutane Injection)

右一十滴皮下注射

凡テ亞砒酸ハ食後ニ與フベシ上記三法中丸劑ヲ最モ輕便トス小兒  
 ニ用ユルモ危險ナク唯四分ノ一、一滴ヲ最初ニ用ユベシ其他イヒチ  
 フォールヲ試ムルモ可ナリ

(3) イヒチフォール (Ichthyol)

(註) イヒチフォールノ有効ナルハ硫黄ヲ含有スル點ナルベク小濃  
 厚度ニテハ角質形成ノ働キアリ (Keratoplastisch) 故ニ温疹劑ト  
 ナリ濃キ者ハ防脂漏劑トナリ血管收縮作用アリ殺蟲ノ効ア  
 ルモノトス



イヒチロール

各二〇、〇

蒸餾水

右三回一日十―二十滴 食後ビール或ハ酒ニ和シテ用ユ

イヒチロール

一二〇

甘草越幾斯及ビ末

適宜

右爲九十九一日三回二―三丸宛食後服用

**急性** エクナエーマノ局所療法 (Locale Behandlung acuter Ekzeme)

先ツ第一義ハ手ヲ附ケザルヲ可トス其外因障害ヲ除ケバ自カラ治ニ就クモノナリ其外因障害ノ普通ノ者ハ空氣 (Luft) 水 (Wasser) 石鹼 (Seife) 藥劑 (Medicamente) 摩擦 (Reibung) 皮膚分泌物ノ滯溜 (Stagnierende Hautsecretion) 等ヲ其最タルモノトス  
痂皮及結痂ノアル者ハ之ヲ除去セザル可カラズ然ラザレバ藥劑ハ直接 (direct) ニ働 (Wirken) カザルナリ其材料ハ阿列布油或ハ五%プロ―グイ液或ハ一%レゾルチン水ニテ蒸發翳法 (Dunstumschlag) 又五%硼酸

軟膏貼用 (applicieren) ニテ是レリ

「プロツイ」液 (Liquor burrowii)

鉛糖

二五、〇

明礬

五、〇

水

五〇〇、〇

右十倍ニ稀釋シテ用ユ

又急性ノ者ハ炎症甚シク所謂皮膚炎 (Dermatitis) ヲ起コシ居ルルハ五%プロ―氏液一%レゾルチン水或ハ鉛糖水ヲ屢々交換シテ冷翳法ト爲スカ或ハ油紙ニテ纏包シ蒸發翳法ヲ行フ散布藥 (Puder) トシテハ澱粉、滑石、炭酸「マグネシア」亞鉛華、或ハ水楊酸「ナトリウム」ヲ可トス但シ此使用前水ヲ以テ充分冷却スベシ搥粉劑 (Pasta) ハ炎症々狀ノ急劇ナラザルルヲ好トス

水楊酸「イヒチロール」搥粉 (Salicyl-ichthyolpasta)

水楊酸

一一〇

プロ―氏液



ワゼリン

五〇〇

亞鉛華

各二五〇

澱粉

イヒチヲール

二〇〇

右外用高度ノ痒痒アルモノニ好シトス

亞鉛華

三〇〇

阿列布油

二五〇

右外用

殊ニ余輩ノ簡便ニシテ稱用スル者ハ皮膚炎ニハ普通外科的ト同様氷  
囊等ニテ間斷ナク冷却スルカ或ハ患者堪ヘ難キキハ反對ニ堪ヘウベ  
キ熱キ湯ニテ罌法ヲ行フ此法ハ大學皮膚病科教室ニテ屢々實驗シテ  
奏効ヲ認ムル處ナリ  
濕潤セル者ハ散布劑ニ「デルマトール」ヲ加ヘタル者ヲ好トス  
デルマトール 二〇〇

ウ井ルソン氏  
軟膏

亞鉛華

一〇〇

澱粉

四〇〇

右外用

又我皮膚病科教室ニテハ好ムデ「ヘブラ」軟膏ヲ持續使用シ或ハ又「ウキ  
ルソン」軟膏ヲ用ユ

安息香酸

一〇〇

豚脂

三〇〇

亞鉛華

六〇〇

右外用

甚シキ痒痒アル者ニハ酒精ヲ以テ拭フモ可ナリ五%薄荷水一%水楊  
酸 $\frac{1}{2}$ %石炭酸ヲ加フレバ最モ効アリ又左方モ試用スベシ

水楊酸薄荷搽粉製劑 (Salicyl-mentholpasta)

水楊酸

一〇〇

薄荷

一、一、二〇〇



ラノリン  
ワゼリン  
澱粉  
亞鉛華

各一〇〇

右外用

「テエール」丁幾 (Tinct-Ruscii)

樺テエール油

五〇

酒精

エーテル

各七五

ラーペンデル精

〇二

右外用

(註)水楊酸ノ一〇〇乃至%二〇〇%ノ如キ濃厚度ハ角質剝離 (Keratolytisch)ノ効アリ稀薄ノ者ハ角質形成 (Keratoplastisch)ノ働キヲ爲スモノナリ

「テエール」ハ血管收縮ヲ爲シ發赤及炎症ヲ退消シ又制腐及ビ

搔痒緩和スルノ効アルモノト知ルベシ

**慢性**「エクサチエー」ノ**局所療法** (Locale Behandlung bei chron. Ekzeme)

慢性ノ者ニテ痂皮アル者ハ先ツ油或ハ加里石礮ニテ除去スベク濕潤セル者ハ散布劑或ハ搥粉劑等ニテ處置スベシ而シテ此濕潤或ハ痂皮等治癒セバ即チ落屑性「エクサチエー」(Eiz. Squamosum)ニ移行 (übergelien) スベシ爰ニ於テ初メテ「テール」劑ヲ用ユヘシ

「テエール」丁幾 (Tinc. Ruscii)

或ハ又

「テエール」精 (Theerspiritus) ヲ用ユ處方左ノ如シ

杜松子油 (öl Cadin)

「テエール」油

各一〇〇

酒精

二〇〇

右外用



或ハ  
二〇〇—五〇〇%「テエール」油軟膏  
或ハ

純「テエール」ヲ塗布スベシ  
此ノ如キ「テエール」劑ヲ用ヒテ刺戟症狀 (Reizerscheinung) ヲ起コス恐レ  
アレバ此ヲ塗布セシ後水楊酸搥粉劑或ハビツク氏硬膏即チ水楊酸石  
礮硬骨ナド貼布スベシ

水楊酸石礮硬膏

水楊酸石礮硬骨 (Salicylsäureplaster. Pickle)

水楊酸 一〇〇

單鉛硬膏 七〇〇

白蠟 (Cera alba) 一〇〇

藥用石鹼末 (Paris saipo medicus) 五〇

カムフル (Camphora)

阿列布油 各一〇

右綿布ニ伸ベ置キ使用ニ供ス

「テエール」浴

此「テール」劑ヲ塗リシ後直ニ半時間局所或ハ全身浴ヲ爲セバ最モ奏効  
確實ナリ之ヲ「テエール」浴 (Therbad) ト名ヅク此浴法ハ「ヘブラ」氏之ヲ創  
メラツサル氏稱用セルモノナリ温度ハ攝氏二十七—二十九度ヲ可ト  
ス而シテ後上記ノ「バスター」或ハ散布劑ヲ散布スベシ  
慢性ニハ此「テール」ヲ良劑トスレバ炎症アル者ニハ最モ禁忌ナリ而シテ  
最モ弛鈍性 (torpid) 頑固 (hartnäckig) ナル慢性ノ者ニハ最モ「ウキルキン  
氏軟膏」ヲ好トス四日ヨリ八日間位一日一二回宛持續シ其間洗滌 (Waschen)  
或ハ入浴 (Bade) 等ヲ禁シテ貼用スベシ然レバ必ス多少ノ刺戟  
或ハ皮膚剝離 (Schälung der Haut) ヲ起コスモ之ハ「ウキルソン」軟膏或ハ  
水楊酸「バスター」等ヲ貼布シテ治療スベシ特ニ此「ウキルキンソン」軟膏ハ  
寄生性「エクサチエーマ」ニモ効アリ

「ウキルキンソン」軟膏 (Ungentum Wilkinson)

「テエール」 一〇〇

ウキルキンソン軟膏  
Ung. Wilkinson  
soni



硫黃華

一〇〇

滑石

五〇

綠石鹼

二〇〇

豚脂

二〇〇

右精煉ス外用

又此變法トシテ左方アリ

杜松子油

各一〇〇

硫黃華

綠石鹼

ワゼリン

各二〇〇

白蠟

五〇

右外用

脂、漏性、エ、ク、チ、エ、ー、マ、ニ、テ、頭、部、或、ハ、胸、部、(Schorrhoea am Kopf und Thorax)ノ者ハ硫黃劑ヲ最良トス五—一〇、〇%軟膏或ハレゾルチン五%軟膏効

石鹼硬膏

アリ皮膚ノ唯甚シク肥厚セル者ニテ跟皮ノ如クナリシ場合ニハ水楊酸石鹼硬膏ヲ長ク貼布セバ遂ニ軟化治癒ニ赴クモノナリ

著者ハ嘗テ左右下腿ノ慢性エクチエーマニテ腓腸部ハ跟皮ヨリ肥厚セル濕潤セル者ヲ土肥教授ノ教示ニ因テ一〇%加里液汁ヲ數日間塗布シ即チ慢性ヲノ一タビ急性ニ變性セシメ濕潤性トナリシ後ヘブラ氏軟膏ヲ貼布シサシモ頑固ナリシ者約二週間ニテ全治退院セルヲ實驗セリ之ハ勿論發疹部位ニモ因リ又濫リニ施コスベキ方法ナラザルモ慎重ノ態度ニテ其場合ヲ參酌シ試ミルハ頗ル興味アラン

今各期ニ分テテ其治方ノ一般ヲ示セバ左ノ如シ

第一紅斑丘疹期 (Stadium erythematato-papulorum)

亞鉛華(或ハ滑石)

澱粉

各等分

右散布料トス



次硝酸蒼鉛或ハ「デルマトール」一〇・〇  
滑石 一〇〇・〇

右撒布料トス

若シ痒、痒(Ucken)甚シケレバ左方ヲ處シ塗布スベシ

チモール (Thymol) 〇・二五

酒精 一〇〇・〇

或ハ

石炭酸 二―四・〇或ハ薄荷二・五ヲ加ヘ

酒精 一〇〇・〇

註、陰囊及ビ顔面ノ「エタチエー」マニハ用ヒザルヲ可トス。

或ハ熱水沓法 (Heisse Wassermuschläge) 又ハ熱浴 (Heisse Bäder) モ奏効頗ル見  
ルベキ簡便法ナリ

第二丘疹水疱期 (Stadium papulo-vesiculosum)

撒布療法 (Puderbehandlung) 或ハ常ニ交換ス (Wechseln) ル處ノ温巻法

(Feuchte Umschläge) ヲ爲スベシ巻法料ハ一％レゾルチン三％硼酸水  
(Borwasser) 〇・一％チモール液等トス

第三糜爛期 (Stadium madidans)

温巻法或ハ軟膏貼布ヲ良トス五％硼酸一〇％ビスマート軟膏或ハ  
「デルマトール」軟膏或ハヘブラ氏軟膏等トス

第四結痂期 (Stad. crustosum)

油劑或ハ左方ヲ處ス可シ

水楊酸 二・〇

蓖麻子油 八・〇

阿列布油 一〇・〇

其他既記述ノ方法ニテ痂皮ヲ除去スベシ而シテ其ノ剝脱後ノ濕潤  
部ハ「デルマトール」硼酸「ヂキルソン」軟膏二％水楊酸「ワゼリン」等ヲ用  
ユベシ

第五落屑期 (Stad. squamosum)



水楊酸安息香軟膏

上段詳記セル方法ニ依ルベシ

各部位ノ特異療法 (Sonderbehandlung bei einzelnen Körpertheile)

頭部結痂ヲ除去スルニハ上段記載ノ要項ニ從ヒ除去スベシ急性ナレバ水楊酸安息香軟膏妙ナリ左方ノ如シ

水楊酸 一〇〇

安息香酸丁幾 (Zinctura benzoe) 二〇〇

ワゼリン 四七〇

或又左方ヲ試ムベシ

石灰水 (Ap. Calcis.) 各等分

阿麻仁油

慢性ノ者ナレバ一〇%硫黃軟膏「テエール」劑等ヲ可トシブルツクハ「ルド」(Burkhardt) 氏ハ結痂剝除ニ三%硝酸銀液ヲ塗布シ後「テエール」軟膏ヲ塗布スルヲ賞用セリ唯參考ニ資セン  
杜松子油

亞鉛華

各三〇

ワゼリン

二〇〇

右塗布

頭部ニハ殊ニ頭虱 (Pediculus capitis) ノ爲メ「エクチエー」ヲ發スルヲ多シ小兒ノ頭部「エクチエー」ハ殊ニ然リトス故ニ注意シテ其有無ヲ視ルベシ果シテ原因頭虱ナルヲ認メバ之ヲ除去スルヲ必要トス即チ廉價ニテ卓効アル者ハ石油トス (Petroleum) 又三百倍ノ昇汞醋酸 (Sublimat-essig) ニテ充分ナリ其髮ニ固着セル卵 (Nissen) ヲ取ルニハ「ヴェラトリ」ン醋ニ浸シタル櫛ニテ梳クベシ

顔面ニハ軟膏ヲ「リント」布ニ伸ベ或ハ假面狀 (Maskenartig) ニ爲スヲ好シトス小兒ノ顔面「エクチエー」ハ之ヲ便利トス然レモ小兒ハ時トシテハ爲メニ不安ヲ來ス「ア」リ此際ハ直チニ取り除クベシ

鼻腔 (Nasenhöhle) ノ者ニハ「ガラス棒」(Glasstab) ニテ搨粉劑或ハ軟膏ヲ貼布スルヲ可トス上唇皸裂ニハ「トラウマチ」(Traumatin) ヲ塗布



トラウマチ

被刺

スベシ

グッタベルカ

一分

クロ、ホルム

十分

右振盪シテ用ユ

或ハ硝酸銀棒ニテ擦過スベシ眼險 (Augenlid) ニハ黄降汞或ハ白降汞ヲ宜シトス或ハ左方ヲ處ス

硫黄レゾルチンバスタ (Schwefelresorcinpasta) 一名剝離膏 (Schälpaste)

レゾルチン

水楊酸

沈降硫黄

各四〇

澱粉

亞鉛華

ワゼリン

二〇〇

又ウキルキンソン膏等效アリ

手ノエクチエーマハ職業エクチエーマ (Gewerbeekzema) ニシテ治療

ニ時日ヲ費ヤスモノナリ左方ヲ處スヲ可トス

ペーリエウバルサム 一〇〇

水楊酸 一〇

ワゼリン 一〇

ラノリン

亞鉛華 各一〇〇

澱粉

又ビツク氏硬膏ヲ可トス

陰部ノエクチエーマナレハ先ツ其相互ノ觸接面 (Berührungsfäche) ヲ

互ニ隔離スルコトヲ忘ル可カラズ急性ナレバ二%イヒチロール慢性

ニハ二〇%ノ軟膏ヲ用ヒ又他ノウキルソン或ハ硼酸軟膏ノ如キ者ニ

二%ノ割合ニイヒチロールヲ調和セシ者最モ妙ナルベシ又白降汞或

ハタンニン五—一〇%軟膏モ有効アリ (Virksam)



其診斷名稱ヲ下スルハ各期ヲ定メ之ニ其部位名稱及ヒ急慢ノ形容調ヲ附セバ可ナリ例セバ

慢性頭部(急性)結痂「エクチエーマ」ナルキハ結痂「エクチエーマ」(Ektz. crustosum)ニ慢性(chronicum)ト頭部(capitis)ノ字ヲ附シ(Ektz. chronicum crustosum capitis)ト云フガ如シ

### 一一 傳染性膿疱疹 (Impetigo contagiosa)

本症ハ一千八百六十四年チルプリー、フオックス氏ノ始メテ唱道セシ疾病ナリ

本症ハ熱ヲ伴ヒ或ハ無熱(Fieberlos)ニテ薄キ被膜(Decke)ヲ有スル水泡急劇ニ發生シ而シテ忽チ膿疱ニ變ズ而シテ其水泡ハ融合(Confluen)セズ普通獨立(Isolirt)スル者ナリ但シ顔面ノ者ハ融合ノ傾キ多シ而シテ膿疱ハ自然(spontan)ニ破レ(zerplatzen)膿汁ヲシテ非常(intensiv)ナル黄色ノ結痂ヲ作ル其痂皮ハ恰モ糊着セル觀アリ之ヲフオックス氏ハ此症ニ特

有(Charakteristisch)ナリト云ヘリ皮膚ハ多クノ場合ニ稍發赤セルモノナリ膿疱ハ時ニ小中心臍(Kleine centrale Delle)ヲ呈ス周圍(Umgebung)ノ皮膚ハ異狀ナキヲ普通(normal)トス一二日後ニハ痂皮剝脱シテ更ラニ痕跡ヲ止メズ搔痒ハ殆トナキヲ普通トス罹病スル者ハ小兒ヲ多シトス部位ハ顔面及ビ手背ニ著シ粘膜ニ來タルト最モ稀有ナリ(schelten)而シテ流行性(epidemisch)タルト往々アリ

### 診斷

第一痘瘡ハ潜伏期(Incubationszeit)アリ水泡ノ周圍ニ炎症症狀ノ甚シキ者アリ又其結痂ノ時間永ク此ノ際劇シキ搔痒アリ且ツ中心臍著明(Delle deutlich)ナリ

第二「エクチエーマ」ナレバ各個ノ膿疱ハ融合シテ一面ニ痂皮ヲ作ル者ナリ其他搔痒アリ又何處カニ原發發疹(Primäre Eruptions)ヲ認ムルニ因テ鑑別シ得ベシ

### 治療法



亞鉛華バスター

亞鉛華「バスター」

亞鉛華

各等分二五〇

澱粉

ワゼリン

五〇〇

或ハ五%硼酸バスター

硼酸

五〇

亞鉛華

各二五〇

澱粉

ワゼリン

五〇〇

然レバ結痂ハ剝脱シテ癢痕ヲ遺サス治癒ニ就クヲ確實ナリ

### 三 匍行疹狀膿疱疹 (Impetigo herpetiformis)

本症ハヘブラ氏ノ命名セルモノナリノイマン氏 (Neumann) ハ膿毒性匍行疹 (Herpes pyaemicus) ノ名ヲ下セリ

本症ハ多ク妊婦ニ來タリ又産褥中 (Puerperium) ニ罹ル所ノ疾病ナリ集合性 (Gruppenförmig) ニ配列セル膿疱ハ遞次ニ發生シテ結痂ヲ形成ス此痂皮ヲ剝離セハ表皮ハ剝脱ス又時ニ稀有ナレモ増殖性ノ名アリアウスビッツ氏 (Auspitz) ハ増殖性匍行疹 (Herpes vegetans) ト云ヘリ此ノ如ク周圍ニ蔓延シテ全身ヲ犯カスニ至リ全皮膚表面ハ發赤腫脹シ膿疱或ハ結痂ヲ以テ被ハレ處々ニ皸裂ヲ生ズ

部位ハ初メ腹部鼠蹊部腋窩 (Achselhöhle) 大腿内側 (Innere Fläche d. Oberschenkel) トス口中及ビ齒齦 (Zahnfleisch) ニ白斑 (Plaques) ヲ生ズ發病ノ際ハ戰慄ヲ伴ヒ後ニハ弛張性熱型ヲ呈シ敗血症狀ヲ以テ遂ニ斃ルモノナリ

### 類症鑑別

第一輪廓狀天疱瘡 (Pemphigus circinatus) ハ原發疹ハ水疱ニシテ且ツ紅斑アル部ニ水疱發生ス彼レモ紅斑ヲ發スレモ其部位ニ膿疱ヲ發生スルヲナシ



第二紅彩狀、行疹 (Herpes iris) ハ多形性紅斑 (Erythema multiforme) ノ一症  
 狀ニ外ナラズ初メハ水疱ニシテ膿疱タルコトナシ  
 第三、行疹狀皮膚炎 (Dermatitis herpetiformis) ハ其多形性水疱ナルト痒痒  
 (Dihings) 豫後悪性ナルニ因テ區別シ得ベシ

#### 四 大水疱性皮膚炎 (Dermatitis bullosa)

此症ニ數フベキ者ハ左ノ三ナリ

- (1) 水疱熱 (Febris bullosa)
  - (2) 大人ノ急性天疱瘡 (Pemphigus acutus bei Erwachsenen)
  - (3) 汗疱 (Dysidrosis (Fox) Cheiropompholix (Hutchinson))
- 水疱熱トハ小兒ニ多クシテ熱性 (Eberhart) ノ前驅期 (Prodromalstadium) ヲ  
 リテ水疱ノ多數發生シ非常ニ痒痒アリ忽チ治癒シ通常二三週 (2-3 Wo-  
 che) ニ經過ス熱ハ水疱發生ト共ニ消失ス流行性ニ來ルコトアリ故ニ傳  
 染性 (Contagios) ト見做セリ

急性天疱瘡甚タ稀有ナリ前驅症ナク或ハ發熱ニ伴ヒ今迄健全 (intact)  
 ナル皮膚ニ水疱ヲ發生シ而シテ消退發生常ナク諸部ニ反覆發生ス熱  
 及ヒ水疱發生セハ二―四週中ニ消退シテ痕跡ヲ止メザルモノナリ  
 汗疱トハ急性ナル痒痒ヲ伴ヒ手掌足蹠 (Handteller, Fusssohle) 指趾 (Fing-  
 ern, Zehen) 等ノ皮膚ニ發生スル水疱症ナリ本邦ノ水蟲ト云フ者ナリ  
 部位ヨリシテ「ハッチンソン」(Hutchinson) ハ手疱 (Cheiro-Pompholix) ト名ツケ  
 タリ

(1) 及ビ(2)ハ自然ニ經過スル者ナレモ第三ハ實地醫ノ常ニ遭遇スル症  
 ナリ

#### 治療法

- (1) (2)ハ無刺戟ナル「ウキルソン」(硼酸軟膏等)ヲ貼布セバ可ナリ
- (3)ハ局部ヲ軟化 (erweichen) スルヲ好トスピツク氏硬膏或ハ蒸發療法  
 或ハ「テエール」塗布等ヲ宜ロシトス又純「テエール」ヲ塗布シタル上ニ「ビ  
 ック」硬膏ヲ貼布スルハ我皮膚科ノ處方ナリ



### 五 乾癬 (Psoriasis)

此症ハ遞次續發スル再發性ノ疾病ニシテ乾燥セル銀白色ノ光澤ナル鱗屑ヲ被ムリ其部ノ皮膚ハ限界明劃ニシテ多クハ圓形ニ發赤シテ隆起セリ其原發疹 (Primäreffloreszenzen) ハ赤色或ハ褐色ノ帽針頭大 (Stecknadelkopfgross) ノ丘疹ナルガ漸次周圍ニ環狀 (Ringförmig) ニ延大シ而シテ細クシテ (schmale) 赤キ縁 (Saum) ヲ見ルベシ鱗屑ハ凸面 (Convex) ヲ呈ス鱗屑ヲ剝離セバ點狀ニ出血スル底 (Punktförmigblutende Basis) アリ治癒 (heilen) スルハ中心 (Centrum) ヨリモ邊緣 (Rand) ノ赤色稀薄トナルハ症狀ノ停止 (Stillstand) ヲ示スモノナリ而シテ搔痒ハ全クナキモノナリ形狀或ハ蔓延狀態 (Ausbreitungsform) ヨリ左ノ種類ヲ區別ス

點狀乾癬 (Psoriasis punctata) トハ小ナル帽針頭大ノ初期發疹ヲ云フ

滴狀乾癬 (P. guttata) トハ點滴ノ大サニ至リシ者ヲ云フ

貨大乾癬 (P. nummularis) トハ貨幣大ノモノヲ云フ

糸廻狀乾癬 (P. gyrata) トハ其形ノ糸廻セルモノヲ云フ

環狀乾癬 (P. annularis) 中心已ニ治癒シテ病症周圍ニ尙進行シツ、アルモノヲ云フ

蛇行性乾癬 (P. serpiginosa) 多發疹ノ融合スルガ爲メ其形狀蜿蜒蛇行ノ如キ者ヲ云フ

全身乾癬 (P. universalis) ハ時々剝脫性皮膚炎 (Dermatitis exfoliativa) ノ狀ヲ呈シ全身ハ瀰蔓性ニ赤ク大ナル片板狀ノ鱗屑ニテ被ハレ輕度ノ熱及ビ

惡寒 (Frosteln) ヲ伴フアリ

部位

身體ノ伸展側ヲ犯シ殊ニ肘及ビ膝蓋ヲ固有占位トス萬一屈側ノ犯サル

ル、場合アリト雖凡之レ極メテ輕度ナリ軀幹頭陰部ハ往々罹病スルトアリ而シテ多クハ同時ニ諸部ニ發スルヲ常トス稀ニハ唯手掌足趾ノ

ミヲ犯スアリ此場合ニハ角質 (Hornschicht) ノ肥厚 (Verdickung) ヲ來タシ皸裂 (Klaffen) ヲ生ズ故ニ手掌足趾梅毒疹ト鑑別ヲ慎マサル可ラ



ス頭、部、乾、癬 (Psoriasis capilli) ニテモ髪ハ健全ニシテ犯サレズ兎角名ツクベキ程ノ變化ナシ爪ハ乾癬ナレバ先ツ爪孤(三三三)ニ小點ヲ發シ裂痕トナリ又小溝ヲ作り混濁シ遂ニ剝落スルモノナリ

年齢ハ六歳前ニ發生スルハ稀ナリ六歳後二十歳間ヲ多シトス而シテ生涯全ク持續スルコアリ爪或ハ其他ニテ搔痒セル部ニ乾癬ヲ發生スルコアリ普通乾癬患者ハ皆強健ノ者ナリ合併症トシテ (Complication) トシテ「エクチエーマ」ノ稀ニ來タルコアリ然シ之レ多クハ療法ノ不適當ヨリ惹起セルモノナリ

診斷

鮮明 (三三) 光輝 (glänzend) アル厚クシテ且ツ乾燥セル鱗屑限局發赤セル皮膚上ニアリ鱗屑ヲ剝離セバ點狀出血アリ又搔痒ナク濕潤セズ好ムデ伸展側ヲ犯カシ慢性經過ヲ取ル者ナルガ故ニ診斷容易ナリ

類症鑑別

第一慢性「エクチエーマ」發疹ノ限界明割(scharf)ナラズ多ク濕潤セリ

鱗屑ヲ被ムル場合ニテモ其色灰白色ナリ又甚シキ搔痒アリ屈側ニ好テ來タル

第二瀰蔓性皮脂漏 (Seborrhoea diffusa) ハ汚穢灰白色ノ脂肪性鱗屑ナリ頭部ニ來タレバ髪ハ脫毛ス特有ノ搔痒アリ

第三紅斑性狼瘡 (Lupus erythematosus) 灰白色ニシテ周圍ニ固着セル皮脂漏アリ深ク乳頭ニ侵入ス皮膚中心性萎縮(Central Atrophie)アリ顔面ニ好ムテ來タル

第四紅色苔癬 (Lichen ruber) 多形性燧樣光澤 (Wachsartig glänzende) アル中心臍ヲ有スル原發々疹ニシテ中央ニ鱗屑アリ鱗屑剝離ニ因テ出血ナシ

第五斑性寄生性匍行疹 (Herpes tonsurans maculosus) 急性ノ疾病ニシテ糠枇狀鱗屑アリ部位ハ好ムテ頸部トス劇シキ搔痒アリ

第六落屑性皮膚梅毒疹 (Syphilis cutanea squamosa) 銅色ノ浸潤アリ且ツ他ニ梅毒症狀ヲ認ムベシ



第七、手掌、足趾、梅毒性乾癬 (Psoriasis syphilitica palmaris et plantaris) 境界弧線狀ニシテ鱗屑アリ赤褐色ノ浸潤セル邊縁ヲ有ス驅梅毒療法ニ因テ反應ヲ示ス (Reaction)

治療法

内服トシテ亞砒酸ヲ用ヒ沃度加里ヲ漸治増量シテ一〇、〇一日量トス「イヒチフォル」モ亦試ムベキ價値アリ非常ニ蔓延シタル者ハ殊ニ内服ヲ第一着トスベシ外用トシテ先ツ炎症症狀或ハエクチエーマ等ヲ治療シ鱗屑ハ加里石鹼或ハ綠石鹼ニテ除去スベシ而シテ之ニ對スル妙藥トハ「クリザロビン」(Chrysarobin) 焦性沒食子酸 (Pyrogallussäure) 「テール」白降汞トス殊ニ左方ヲ賞用ス

「クリザロビン」トラウマチチン

「クリザロビン」 一〇〇

「トラウマチチン」 一〇〇

或ハ又一〇%「クリザロビン」軟膏ニテモ可ナリ唯塗布スル際ハ其發疹ノミニ塗り健康部ヲ避クベシ之レ皮膚炎ヲ起セバナリ又褌衣ヲ汚染シテ容易ニ脱セザルコトヲ忘ル可カラズ若シ皮膚炎ヲ起セバ直チニ (Solort) 止ムベシ又タ結膜炎ヲ起スヲ以テ頭部、頸部、顔面等ハ之ヲ用ヒザルヲ宜シトス

沒食子酸 二〇〇

「ワゼリン」 二〇〇

或ハ

沒食子酸 一〇〇

「シエルラック」 五〇

無水酒精 一五〇

其他「テール」丁幾「テール」酒精或ハ「ウキルキンソン」軟膏等トス此ヲ用ユルキハ尿ノ蛋白ニ注意セザル可ラズ又此「テール」類ハ松屬毒疱瘡 (Acropicea) ヲ起コス



白降汞ハ顔面及頭部ニ用ユルニ便ナリ  
蔓延シタル乾癬ニハ一處方ニ定限セズ左ノ如クスルヲ宜トス毎日入  
浴シ石鹼ニテ洗滌シ後「テール」丁幾ヲ塗リシ儘半時間或一時間再ビ入  
浴シ之ヲ乾カシテクリザロピントウマチチンヲ病皮ニ塗布スベシ其  
他「ナフトール」軟膏モ試ミテ可ナリ

「ナフトール」軟膏 (Naphtholsalbe)

「ナフトール」

五、一〇〇

綠石鹼

三〇〇

「ワベリン」

六〇〇

右外用

### 六、ヘブラ氏紅色糠秕疹 (Pityriasis rubra-Hebra)

或ハ慢性剝脱性皮膚炎 (Dermatitis exfoliativa chronica)

此症ハ初メニ稍全身症狀 (Allgemeinerscheinungen)ヲ以テ體ノ一部ニ發疹

シ忽チニシテ全身ニ蔓延スル所ノ發赤 (Röthung)ヲ來タシ其皮膚ニ觸  
ルレバ熱ス然レモ浸潤ハ全ク缺如ス而シテ其皮膚ハ多クハ大板面様  
ノ落屑ヲ起シ來ル其他ノ何等異常發疹等ナシ頭髮脫落 (Defluvium Cap-  
illorum)ヲ來タシ又爪ノ變性ヲ來タス然レバ光澤ヲ失ヒ萎縮ス鱗屑ハ  
再生スルヲ速カニシテ又多量ナリ患者更衣ノ際ナド其近傍ノ床上ハ  
落屑ニテ滿サル程ナリ皮膚ハ乾燥シテ且ツ緊張ス故ニ患者ハ皮膚  
ガ狭小トナリシガ如キ感 (Gefühl)アリ痒痒ハ普通僅少 (serius)ナレモ時  
ニ又甚タシキヲアリ「エクチエーマ」皸裂淺表 (oberflächlich)ノ淋巴腺腫大  
ヲ伴發ス初期ニ全身症狀著明ナラザル (unbedeutend)モ漸次時日ト共  
ニ増進シ脱力羸瘦 (Inkräften, Consumption)シテ遂ニ死亡 (Sterben)ス然レ  
モ死亡ノ直接原因 (Directe Todesursache)ハ肺―腸結核ヲ視ルヲ多シト  
ス此疾病ハ實ニ稀有ニシテ甚タ慢性ノ經過ヲ取ルモノナリ  
唯瀰蔓性發赤ノミニシテ他ニ何等ノ發疹ナク落屑ノ甚シキヲ特兆ト  
ス



類症鑑別

第一、全身乾癬 (Psoriasis universalis) ヲ精査セバ乾癬特有ノ獨立セル發疹ヲ何レカニ認ムベシ

第二、葉狀天疱瘡 (Pemphigus foliaceus) ハ水疱アリ汚穢脂肪性ノ痂皮必ズ糜爛セルカ或ハ分泌物多キ肉芽 (Franklinende) 性ノ底上ニアリ

第三、全身エ、ク、チ、ム、ト、マ、 (Ekz. universalis) ハ濕潤シ水疱或ハ結痂等アリ

治療法

強壯滋養 (Kräftige Ernährung) ニ就テ特ニ注意スベシ

内服藥トシテ亞砒酸、規尼涅等ナリ

外用トシテハ溫浴或ハ「テエール」浴ヲ行フベシ「テエール」酒精ヲ塗布シ三十分間浴中ニアルベシ而シテ浴後水楊酸硫黃「バスタ」ヲ貼用シ常ニ皮膚ニ塗脂スルヲ可トス (Einfetten)

水楊酸 一〇

沈降硫黃

五〇

ワゼリン

亞鉛華

一〇〇

澱粉

尙爰ニ附記スベキ同症狀ニテ豫後佳良ナル一層稀有ナル症アリ急性剝脫性皮膚炎 (Dermatitis exfoliativa acuta) ト云フ其症狀急性ニ來タルノミナリ其名ヲ記憶セバ可ナラシ

七、紅色苔癬 (Lichen ruber)

苔癬 (Lichen) ナル字意ハ骨テ凡テノ丘疹 (Papell) ヲ指名セリ「ヴイラン」 (Willan) 然ルニ「ヘブラ」氏ハ之ニ次ノ定義ヲ下セリ原發ノ形狀ノ儘ニシテ敢テ水疱或ハ膿疱等ニ變化セザル結節 (Knötchen) ヲ云フト

紅色苔癬ヲ分ツテ左ノ二トス

(1) 扁平紅色苔癬 (L. ruber planus)



(2)尖圭紅色苔癬 (*L. ruber acuminatus*)  
而ノ明了ナル區別ハ中々困難ニシテ同一患者ニ同時ニ兩症ノ發生シ得ルコトアリ

扁平紅色苔癬 ウイルソン (Wilson) ノ普通形狀ハ扁平ニシテ中心稍陷没シ多角形 (Polygonale) ニシテ粟粒大 (Mischkongross) ヨリ豌豆大ニ達シテ蠟様ノ光澤ヲ有シ蒼白或ハ褐赤色ヲ呈スル結節ナリ此結節ノ周圍ニハ細キ赤キ邊縁ヲ有ス而シテ結節中央ニ小鱗屑ヲ被ムルコト往々アリ結節ハ各個孤立セズ常ニ環狀ニ象眼様 (Mosaikartige) 或ハ線條 (Streichen-förmig) ニ集簇シテ皮膚乳頭ニ相當シテ配列スルモノナリ身體大部分ニ發生セバ結節融合シ皮膚ハ肥硬シテ褐赤色トナリ恰モ獸革ニ觸ル、ノ感アリ機械的刺戟ニ因テ發疹ヲ惹起セシムルコトアリ極痒ハ普通甚シ  
部位ハ初メ四肢ノ屈側(肘窩、膝脰)及ヒ龜頭 (Transpennis) ヲ犯カシ次テ軀幹トス其蔓延狀態ハ時ニ對等 (Symmetrisch) ナルコトアリ手掌足趾ニ來

タレバ角質ノ甚シキ肥硬ヲ起コス  
疾病ノ進行ハ徐々ニシテ癩痕 (Narbe) ヲ殘コシ或ハ其痕ナク且ツ色素沈着 (Pigmentierung) ハ長ク消失セザルモノナリ

類症鑑別

第一、丘疹性「エ、ク、チ、エ、ト、マ」炎症々狀アリ而シテ水疱或ハ膿疱ニ移行ス (Ubergelien) 濕潤アリ又決シテ蠟様ノ光澤ナシ  
第二、點狀乾癬 隆起少ナク銀白色鱗屑アリ鱗屑剝離ニテ點狀出血アリ疹ハ多ク圓形ナリ極痒僅少ニシテ伸展側ニ來タルコト多シ  
第三、梅毒性丘疹 其色銅色ナリ又陷没ナク極痒ナシ驅梅毒療法ニ反應ヲ呈スベク其他梅毒症狀アリ  
第四、腺病性苔癬 (Lichen scrophulosorum) 丸キ丘疹性ノ隆起ナリ部位多ク軀幹 (Rumpf) ニシテ極痒ナク其他體質ヲ檢セバ腺病性ナルコトヲ認ムベシ

尖圭紅色苔癬ハ赤キ播種狀ノ圓錐狀 (Konisch) ノ結節ニシテ肥厚シ



光澤アル表皮ヲ其顛頂(Spize)ニ戴クモノナリ故ニ皮膚ヲ輕擦セバ一種鱗ノ如キ觸感アリ此ノ如キ發疹漸次(immediate)増生シテ互ニ融合シテ圓板ヲ作り全身(universal)ニ蔓延シ遂ニハ爪マデヲ犯カス然レバ裂痕ヲ呈シ混濁ス

部位ハ軀幹及關節屈側(Gelenkbeuge)ヲ好ムデ犯カス

類症鑑別

第一扁平苔癬トハ其形狀ヨリ容易ナリ

第二毛囊紅色糠秕疹(Pityriasis rubra pilaris)毛囊ニ一致セル赤キ浸潤性丘疹ナリ

治療法

刺戟原因タル毛織物革類ノ衣服(Wollene, lederne Kleidung)ハ避クハシ内服ニハ亞砒酸ヲ良シトス皮下注射ハ一層妙ナリ然シ數週持續後ニ初メテ効能ヲ示スナリ通常六週後ニ奏効ヲ認ム

外用ニハウシナ氏ノ昇汞石炭酸軟膏ヲ最モ有効トセリ

昇汞石炭酸軟膏 (Sublimatcarbolsalbe)

昇汞 〇・二

石炭酸 四・〇

ワゼリン 九〇・〇

「ライスチコー」(Leisikow)ノ改正セル方左ノ如シ

亞鉛華 二五・〇

ワゾーゲン 二二五・〇

石炭酸 一〇・〇

昇汞 〇・三—一・〇—二・〇

右軟膏

其他銳匙ニテ搔抓シ或ハ壞疽ニ導キ脱落セシムルナリ

八、腺病性苔癬 (Lichen serophulosorum)

或ハ丘疹腺病性皮膚結節症 (Scrophuloderma papulosum)



或ハ帶紫色苔癬 (Lichen Iridus)

此症ノ特兆ハ集簇性ニ發生スルコナリ粟粒大ヨリ帽針頭大ニシテ扁平隆起スル稍抗抵アル褐赤色ノ結節ニシテ多ク鱗屑ヲ其尖頂ニ戴ク (tragen) モノナリ長ク存在セバ自然ニ吸收 (Resorption) セラル、ヲ普通トスレモ又膿疱性、腺病性、皮膚結節症 (Scrophuloderma pustulosum) ニ移行スルモノアリ部位ハ軀幹中下腹背部ニ屢々發生シ後ニハ又四肢 (Extremitäten) ニモ來タリ好ムテ毛囊 (Hairfollikel) ニ一致ス

類症鑑別

形狀部位ニ因テ診斷ヲ下シ得ルモ尙其他ノ腺病性症狀ニモ注意スベシ腺肥大骨肺疾患等ナリ

第一、小丘疹性梅毒疹、ハ銅色ニシテ多ク胸背ノ側部ニ生ズ其他梅毒症狀アリ  
第二、扁平紅色苔癬、ハ多角形ニシテ其色赤ク中心陥沒セル扁平結節ナリ

治療法

腺病ニ對スル療法ヲ第一トス即チ滋養物其他空氣ノ清潔海氣療法或ハ礦泉浴又沃度鐵舍利別亞砒酸等ヲ用ヒ外用ニハ一週二回綠石鹼ヲ塗擦シ或ハ肝油ヲ塗布スベシ

九、初生兒剝脫性皮膚炎 (Dermatitis exfoliativa infantum)

此症ハ一千八百七十八年「リッテルスヘイン」(Rittershain)ノ初メテ記載セル者ナリ  
生後一週後ノ乳兒ノ口角ヨリ瀰蔓性ナル紅斑ヲ發シ皮膚乾燥且裂痕ヲ爲シ小サキ鱗屑ヲ起コシ次デ滲出液ノ爲メニ表皮 (Epidermis) ハ高ク膨隆ス遂ニハ表皮剝離シ結痂ヲ形成スルコアリ口中ニ往々淺在ノ潰瘍 (Geschwüre) ヲ認ムルコアリ續發症 (Nachkrankheiten) トシテ癩 (Furunkel)、「エクチエマ」ノ發スルコアリ



部位ノ中上肢殊ニ手ヲ多シトシ胸及ビ足之ニ次ク稀有ノ疾病ナルモ亦流行性 (epidemisch) ナルヲアリ一週間ニテ轉歸ヲ取り續發症ナキモ過半ハ死亡スルモノナリ

類症鑑別

- 第一、小兒紅斑 (Erythema neonatorum) 生後直チニ存在シ滲出物ナク消失スルナリ
- 第二、天疱瘡 ハ水疱ヲ作り其水疱各個間ノ皮膚ハ健全ナリ而シテ續生スルモノナリ
- 第三、瀰蔓性「エクトエトマ」 濕潤小水疱搔痒アリ
- 第四、丹毒 ハ熱シタル疼痛且ツ緊張ナル皮膚ニテ發赤部ノ境界明劃ニシテ高熱アリ

治療法

適當ナル營養ヲ第一トシ乳母或ハ母ノ乳ヲ與ヘ皮膚ハ塗肪 (einfetten) 或ハ散布 (Pudern) シ又温浴 (Warme Bäder) ヲ爲サシムベシ痂皮ヲ作りシ

者ハ其除去法ヲ爲スベシ

十、頭部乳頭皮膚炎 (Dermatitis papillaris capillitii)

此症ハ一千八百六十九年カボジ (Koposi) 氏初メテ記述セル者ナリ項部 (Nacken) 及髮際部ニ大小不定ニシテ肥硬セル表皮ヨリ被ワル、腫瘍 (Geschwülste) ナリ其表面ニ多數ノ皺溝アリ特兆ハ毛莖ガ第一此症ニ關係セザルヲナリ故ニ鬚瘡ノ如ク膿疱中ニ毛髮ハ貫通シ居ラズ出血スルハ是ヲ切ルルキノミ生ズ

類症鑑別

鬚瘡ハ其結節ノ中央ヲ毛髮ノ貫通スルヲ特兆トス又初メヨリ膿疱ヲ作り拔毛容易ナル者ナリ

治療法

單一ニシテ腫瘍各個ヲ剪除スベシ若シ不可能ナレバ水銀硬膏ヲ貼用スベシ然レバ吸收シテ治癒ス



### 十一、皮脂腺ノ分泌障害及ビ單純炎症 (Secretionsstörungen und einfache Entzündungsprocessen der Talgdrüsen)

#### (1) 皮脂漏 (Seborrhoe, Schmeerfluss)

皮脂漏トハ皮脂腺ノ分泌増進セルヲ云フモノニシテ分泌物 (Secret) ノ性質 (Beschaffenheit) ニ因テ左ノ如ク區別セリ

(イ) 油性皮脂漏 (Seb. oleosa) トハ分泌物油様ニシテ一種ノ光澤アル皮膚ヲ云ヒ

(ロ) 乾性或ハ糠枇性皮脂漏 (Seb. sicca od. furfuracea od. pityrodes) トハ分泌物乾燥シテ灰白ナル鱗屑ヲ有スル皮膚ヲ云フ

皮脂漏ハ初生兒ニハ生理的 (Physiologisch) ニアリ病的 (Pathologisch) トシテハ先天性疾患タリ然レモ普通後天性 (Erworbene) ニシテ頭部、顔面、胸部、肩胛骨間、包皮其他ニ多ク見ル者ナリ此中實地ニ必要ナルハ頭部及顔面皮脂漏ナリ

#### 頭部皮脂漏 (Seb. capillitii)

大人及ビ小兒ニモ來タル多少脂肪性汚穢黄色鱗屑ニシテ初メ限局セルモ後瀰蔓トナル毛髮ハ初メ脂様ノ光澤アリ常ニ清潔ニ梳ラザレバ容易ニ粘着ス而シテ病症持長セバ毛髮光澤ヲ失ヒ漸次糠枇性禿髮トナル (Alopecia pityrodes) 時ニハ脱毛部ニ篩狀ノ小孔ヲ認ムルヲアリ是レ皮脂腺ノ擴張セルモノナリ所謂糠枇頭ハ (Sicca) ニシテ爲メニ往々壯年者ノ脱毛スルヲ見ル

#### 顔面皮脂漏 (Seb. faciei)

好ムデ來タルハ鼻、頤及ビ前額部ナリ皮膚ハ脂膩アリ光澤アリ時ニ又充血性 (hyperämisch) ナリ皮脂腺 (Talgdrüsen) 口ハ擴大セリ痤疮 (Acne) 面皰 (Comedo) 酒渣鼻 (Acne rosacea) ハ往々合併スルヲアリ而シテ此顔面皮脂漏ハ普通春期發動 (Pubertät) ニ伴發ス殊ニ淺黒キ人ヲ屢々犯カスモノナリ而シテ多少ノ搔痒アリ  
其充血著明ナル皮脂漏ハ充血性脂漏 (Seb. congestiva) ト云ヒ貧血ノ娘 (Mén)



(dchen) 及ビ男子モ多少小鱗屑ヲ伴フキハ顔面糠枇症 (Pityriasis faciei) ト云ヒ又一局部ニ限ラズシテ全身ニ來タルコアリ而シテ衰弱シタル者或ハ大病後此形ヲ來タスコアリ此症狀ヲ衰弱糠枇疹 (Pityriasis tabescentium) ト云フ殊ニ此全身脂漏者ハ初生兒ニ來タルコヲ特有ナリト云之レ寧ロ脂肪性魚鱗 (Ichthyosis sebacea) ト云フヲ適當トス其他皮脂漏性「エクタエーマ」ニ關シテハ上段「エクタエーマ」ノ條下ニ記セリ

診斷法類症鑑別

- 第一、**「エクタエーマ」** 濕潤水泡結痂等アリ
- 第二、**紅斑性狼瘡** 限局セリ而シテ皮脂漏性痂若固着シ且ツ毛囊ニ突起狀ヲナシ侵入セリ皮膚ニ中心性陷凹アリ癩痕アリテ其面平滑ナリ
- 第三、**乾癬** 限局シ光澤アル乾屑ナリ頭髮脫落ナシ何處カニ乾癬ノ原發疹ヲ認ムベシ

治療法

第一着ニ (Vor allem) 内服特ニ婦人科病 (gynäkologische Leiden) ヲ治シ便秘

(Opstipation) アレハ常ニ之ヲ整正セザル可カラズ

局部ハ皮脂ノ附着ヲ除キ分泌ヲ制止スルヲ目的トス第一適應法 (erste Indication) ハ綠石鹼加里石鹼精其他軟骨類ヲ用ヒ第二適當ナルハ硫黃「レゾルチン」水楊酸酒精其他トス頭面部皮脂漏ヲ處置スル方法左ノ如シ初メ毎日一二回後チ一週一二回綠石鹼ト温水ニテ洗滌シ毎夕五%ノ水楊酸ヲ調和シタル或ハ單純ノ二—一〇%ノ硫黃或ハ「レゾルチン」軟膏ヲ塗擦スベシ此塗擦ハ髪ニ施コス者ニアラズ能ク皮膚ニ摩リ込メバ足レリトス或ハ又左方ヲ處シテ翌日之ヲ拭ヒ取リ一〇%硫黃軟膏ノ塗擦スルヲ可トス

水楊酸

五、〇

阿列布油

一〇〇、〇

蓖麻子油

一〇〇、〇

「ベルガモット」油

六滴(或ハ薔薇油一滴)

而シテ夜間塗擦後頭巾ノ類ヲ戴ケバ尙妙ナリ此ノ如クシテ鱗屑脂漏



輕減セルヲ認定セバ水楊酸ヲ去リ唯單純ナル硫黃劑ヲ用ヒ或ハ左ノ「レゾルチン」精(頭髮精)ニ改ム

「レゾルチン」

二〇—五、〇

蓖麻子油

一〇、〇

酒精

九〇、〇

「ペーリク」ウバルサム」

〇、五

又左ノ單寧精 (Tanninspiritus) ヲ用ユ

單寧酸

一〇、〇

「アルコール」

八〇、〇

安息香酸

五、〇

而シテ婦人等ハ日中上記兩水劑ヲ塗リ夜間ハ硫黃軟膏ヲ塗擦スベシ而シテ四日目位ニ一回綠石鹼或ハ加里石鹼ニテ充分軟膏ヲ洗滌シ後乾拭再ビ反覆同處置ヲスベシ

註著者ハ五歳ノ男子頭部ノ油性頑固ニシテ且ツ蔓延セシ皮膚脂

漏ニ一〇%硫黃軟膏ニ五%ノ割合ニ「レゾルチン」ヲ加ヘタル者ヲ二ヶ月間持長シ始メテ奏効セルヲ實驗セリ

顔、皮、脂、漏、ヲ、處、ス、ル、ハ、左、ノ、如、ク、ス、ベ、シ、夕、刻、石、鹼、ニ、テ、洗、滌、シ、塗、劑、五、一、〇、%、硫、黃、軟、膏、或、ハ、硫、黃、バ、ス、タ、ヲ、夜、間、塗、布、ス、ヘ、シ

硫黃「バスタ」 (Schwefelpasta)

沈降硫黃

四、〇

ワゼリン

二〇、〇

亞鉛華

澱粉

各一〇、〇

而ノ日中ハ「レゾルチン」精ヲ塗ルベシ  
使用スル石鹼及ビ酒精ハ餘計ニ塗ルヲ要セズ甚タシク炎症ヲ呈シ來  
タレバ之ヲ廢スルヲ勿論ナリ  
其他左方モ試ムベシ  
抱水クロラール 五、〇



蒸餾水

五〇〇

酒精

四〇〇

或ハ

「イヒチヲール」五—一〇%ノ軟膏或ハ溶液トシテ用ユ

然レモ如何ナル藥劑モ須ラク持長シテ月餘ヲ耐ユル者ト思フベシ然レバ硫黃軟膏ニテ治療スルヲ疑ヒナシ

### 皮脂過少症 (Astenosis cutis)

此症ハ皮脂分泌ノ過少ナル爲メ皮膚ノ乾燥ヲ來タシ粗糙トナリ鱗ニ觸ル、ノ感アリ而シテ落屑ヲ起シ往々皸裂ヲ生ズ殊ニ手及ビ顔面ニ多ク稀レニ全身性ニ來タルコアリ老人或ハ虛弱家等ニ來タリ下婢洗濯屋諸種職工等多ク罹病スルヲ常トス

### 治療法

先ツ諸障害ヲ除キ軟膏類ヲ澤山塗布スヘシ「グリスリン」ノ濃厚ナル者

ハ乾燥セル皮膚ニハ却テ害アリ

### 尋常性痤瘡 (Acne simplex s. vulgaris)

此症ハ油性脂漏ニ罹リシ者ニ多ク認ムル所ニシテ皮脂腺口ニ空氣中ノ汚物附着シ爲メニ腺口閉塞シテ豌豆大ニ達スル發赤シ且ツ加壓ニ(Druck)ニテ稍疼痛アル結節トナル此結節ハ痤瘡ナリ此中央ニ黒點アリ是ヲ點狀痤瘡 (Acne punkata) ト云ヒ黃膿色様トナリ或ハ眞ノ膿胞トナル是ヲ膿疱性痤瘡 (Acne pustulosa) ト云ヒ時トシテ甚シキ炎症性浸潤ヲ呈スルヲ硬固性痤瘡 (A. indurata) ト云フ又其孤立シ散播シ或ハ融合スルヤ否ニ因テ播種狀痤瘡 (A. disseminata) 或ハ融合性面皰 (A. con-fuens) ト名ツク然レモ通常諸形症同時ニ發生シ又面皰ト混生ス而シテ實ニ此痤瘡ノ多クハ此面皰アル爲メニ發生スル者ナリ春期發動ノ時殊ニ淺黒キ人ニ多シトス頗ル慢性頑固ノ症ナリ而シテ長ク存在スルハ皮膚ハ暗褐色ヲ呈ス稀レニ痤瘡ノ膿疱後ニ色素斑 (Pigmentflecke) ヲ



遺コスヲアリ色素性瘡瘡 (A. pigmentosa) ト云フ  
部位、皮脂腺ノ存スル處ハ何レヲ問ハズ發生スル者ナレモ殊ニ顔面前  
額及ビ背部ヲ最モ多トス時ニ瘡瘡膿疱中ニジモン氏ノ所謂毛囊蟲  
Acarus folliculorum) ヲ見ルコトアリ

其他衰弱性瘡瘡 (A. chacheticorum) 或ハ一名膿疱性腺病皮膚結節症 (Sero-  
phuloderma pustulosum) ナル者アリ腹部及ビ背部ニ發生シ弛緩 (schlaffe) ナ  
ル結節ナリ其頂點ニ小膿疱アリ膿疱乾燥シ結痂ヲ生シ其下ニ小潰瘍  
ヲ形成スルモノアリ

診斷

顔面及背部ニ多ク而シテ面皰ヲ伴ヒ黒點或ハ膿疱ヲ有スルハ特兆ナリ  
類症鑑別

第一、痘瘡 (Variola) 之レ一般症狀アリ且ツ中心性臍沒アリ  
第二、膿疱性梅毒疹之レ甚シキ浸潤ト銅色アリ全身ニ發生ス手掌足蹠  
ニモ亦來タルコトアリ其他梅毒症狀アリ

治療法

務メテ其原因ヲ求メ之ヲ除カザル可カラズ例セバ消化不良 (Dyspeptic)  
便秘生殖器異常或ハ沃度臭素劑服用等ナリ此二藥ノ爲メニ發生スル  
ヲ即チ沃度臭素瘡瘡 (Bron-jodacne) ノ名アル所以ナリ

内服、  
イヒチヲール  
各二〇〇

蒸餾水  
右一日三回十—二十滴宛食後服用  
或ハ又

イヒチヲール  
一二〇〇  
甘草越幾斯適宜

右爲九十九每日三回二—三粒食後  
而シテ一日二、〇迄高ムルコトヲ得  
外用ニハ先ヅ面皰ヲ除キ膿疱アレバ加壓或ハ尖及刀ニテ開口排膿ス



ベシ毎日大理石石鹼或ハ細砂又輕石ノ如キ者ニテ摩擦シ乾燥セバ一〇%硫黄軟膏或ハ「バスタ」ヲ塗ルベシ頑固ナル者ハ「ナフトール」硫黄軟膏或ハ「アルカリ」性硫黄混劑又ハ硫黄石鹼精ヲ用ユベシ

ナフトール

四〇

沈降硫黄

二〇〇

綠石鹼

各一〇〇

ワゼリン

(2) アルカリ性硫黄混劑 (Alkalische Schwefelmischung)

硫黄

グリセリン

酒精

各五〇

エーテル

炭酸加里

(3) 硫黄石鹼精 (Schwefelsteinspiritus)

硫黄

一〇〇

加里石鹼

四〇〇

此等ヲ塗布セバ灼熱ヲ起コセモ終夜忍耐スベシ而シテ日中ニ「コールクリーム」或ハ「ラノリンクリーム」ヲ塗り散布スベシ

「コールクリーム」 (Englisch. Cold Creme)

椰子油

一〇〇

薔薇油

〇・一

「ラノリンクリーム」 (Lanolincime)

ラノリン

一〇〇〇

固形パラフィン

二五〇

バニリン

〇・一

薔薇油

一滴

而シテ月餘毎夕硫黄石鹼ニテ洗滌スルヲ怠ル可カラズ  
尙次方ヲ試ミテ可ナリ一〇—三〇%イヒチロール液軟膏バスタ又沃



度「グリスリン」ヲ毎日二回刺戟ヲ來タス迄用ユベシ

沃度末

沃度加里

グリスリン

各五〇  
一〇〇

又水銀硬膏ハ硬固性瘰癧ニ用ヒテ効アリ又我皮膚科教室ニテハ「クムメルフェルド」氏洗滌水 (Kummerfeld'sche Waschwasser) ヲ用ユ

「クムメルフェルド」洗滌水

沈降硫黃

一二〇

カンフル

一〇

アラビアゴム

六〇

薔薇水

一〇〇〇

石灰水

一〇〇〇

此洗滌水ヲ放置セバ沈澱ス日中ハ此清澄ノ液ヲ塗布シ夜間ハ其沈澱ノミ塗布スベシ

日中婦人等ニテ希望セバ化粧料 (Schminke) トシテ軟膏或ハ粉料ヲ與フベシ

化粧粉 (Schminkepulver) ハ純粹ノ滑石劑或ハ之ニ亞鉛華、硝蒼、炭酸「マグネシア」等ヲ加ヘシ者ナリ硬度ヲ附セントセバ柯々阿酪五—一〇%ヲ加フベレ赤味ヲ附スルハ—二%カルミンヲ加フベシ之ヲ單ニ皮膚ニ塗擦スルモ可ナレモ先ヅ塗後シタル後ニ塗ルニ若カズ其塗油ニハ「ラノリン」クリームヲ宜シトス例セバ左ノ如シ

(1) 赤色化粧粉 (rothes Schminkepulver)

カルミン

〇五

滑石

五〇〇

右塗油後塗擦

(2) 白色化粧粉 (weisses Schminkepulver)

亞鉛華

一〇〇

滑石

三〇〇



炭酸マグネシア 三〇

右同上

(3) 白粉 (weisse Pulver)

亞鉛華 二〇〇

滑石 三五〇

炭酸「マグネシア」 三〇

右同上

化粧膏 (Schminkealbe)

(1) 赤色化粧膏 (rothes Schminkealbe)

カルタミン 一〇

滑石 一〇

スベルマチン 一〇〇

甘扁桃油 二〇〇

(2) 化粧膏

次硝酸鉛 一〇〇

滑石 五〇

ベルガモット油 一〇

軟膏 三〇〇

脂肪ノ多キ皮膚ニハ用ユ可カラズ

### 酒渣鼻 (Acne rosacea, Kupferfinne)

此症ハ鼻頬稀レニハ頤及ビ前額等ノ皮膚ニ鮮紅或ハ暗赤色紫紅或ハ蒼白ナル色ヲ以テ瀰蔓性肥硬或ハ結節ヲ來タスモノナリ皮膚ノ擴張セル血管ハ多少肉眼ニ目撃スベシ皮脂漏ハ必ズアリ瘰癧モ往々伴發シ居レルヲアリ便宜上分ツテ動脈性ト靜脈性トス  
動脈性ハ鮮紅ニシテ皮膚滑澤ナリ  
靜脈性ハ紫紅色ニシテ肥硬シ多クノ膿疱性硬固性瘰癧ヲ伴發セリ而シテ高度ニ達セバ有莖或ハ廣底ナル軟キ結節トナリ或ハ瘤トナル是



レ鼻瘤 (Rhinoptyma) ナリ而シテ動脈靜脈性ヲ劃然ト區別シ得ズ其間ニ幾多ノ移行症狀アルモノナリ

疾患ハ遅々トシテ發赤ヲ以テ初マリ病初ハ唯食後或ハ温度變換等ノ際ニ着明トナルモ漸次進行シテ常住ノ發赤トナルモノナリ

診斷類症鑑別

- 第一唯鼻瘤ハ鼻肥硬症 (Rhinaskleroma) ト誤診スルコトアレモ鼻肥硬症ハ非常ニ堅ク又鼻腔内ヨリ發病スル滑澤光輝アル腫瘍ナリ
- 第二葉狀狼瘡ナレハ狼瘡性結節アルヲ以テ容易ナリ
- 第三紅斑性狼瘡ハ中心ニ癩痕形成アリ

治療法

先ヅ内臟病婦人科病ヲ診シ又嗜酒ヲ禁ズベシ  
内服、イチヒロール液或ハ丸劑トシテ與フ

外用、動脈性ナラバ夜間 (Nachts) 一〇% 硫黃劑或ハ五—一〇% イヒチロール液、軟膏、コロヂュームヲ用ヒ日中 (am Tage) コルトリーム散

布藥等トシ炎症アレバ水楊酸 pasta ヲ用ユベシ靜脈性ハ二〇—五〇% イヒチロール或ハ剝離膏 (Schälpaste) ヲ用ヒ皮膚肥硬甚シケレバ水銀硬膏或ハ沃度、グリスリンヲ好トス鼻瘤ノ結節ハ外科的ニ切除 (Exstirpieren) スベシ兩性ヲ論ゼス縱横ニ亂切 (Scarification) ヲ爲シ過「クロール」酸鐵ヲ塗布シ同時ニ脈管ヲ收縮セシムベシ尙、電氣燒灼 (gavanocautisch) 烙白金 (Paquelin) ニテ血管ヲ挫滅スルモ宜シ又左方モ推賞 (empfehlen) スベシ

鼻液

〇・1

グリスリン

一〇・〇

コロニン水

一〇・〇

薔薇水

七〇・〇

右塗布

食物中脂肪ノ多キ牛乳或ハ酒類ヲ禁ズベシ



痘瘡様瘡 (Acne varioliformis)

此症ハ頭部前額及ビ前部髪際稀ニハ項部顔面頸部及ビ胸部ニ發スル扁平 (Pach) ニシテ集簇狀 (Gruppenweise) ニ配列セル褐赤色 (Braunrot) ノ結節ニシテ遂ニ膿疱トナル者ナリ膿疱乾燥セバ中心陥没 (einsinken) セル結痂ヲ作り治愈後 (Heilung) ニ瘢痕ヲ殘コス此中心陥没ノ痘瘡ニ似タルヲ以テ命名セシ所以ナリ此症ヲ見ルヲ稀ニシテ三、四十歳ノ者ヲ犯カスト多シ

診斷類症鑑別

第一、痘瘡ハ部位一定セズ且全身症狀アリ  
第二、膿疱性梅毒疹甚シキ邊緣浸潤 (Starke Randinfiltration) アリ其他梅毒症狀アリ

治療法

一〇%硫黄軟膏或ハ五—一〇%レゾルチン軟膏ヲ用ユ或ハ單ニ硼酸軟膏ヲ用ユ

註此症ニ似タレハ全身ニ散播シ壞死及ビ瘢痕形成ヲ起ス瘡瘡ニ似タル發疹アリベック氏 (Böck) ハ壞死性瘡瘡 (Acne necrotica) ト云ヘリ

又カボジ一氏ハ頭部顔面其他ニ發生スル急性蕁麻疹様ニシテ非常ノ搔痒アリ之ヲ搔抓シテ必ズ瘢痕ヲ殘コス者ヲ蕁麻疹様瘡瘡 (Acne urticata) ト云ヘリ

尋常性鬚瘡 (Sycosis vulgaris od. non parasitaria)

此症ハ毛囊ノ炎症ニシテ必ズ毛ガ其中央ヲ貫通スル所ノ小膿疱ヲ發生スル者ナリ此膿疱ハ散在 (Zerstreut) セルヲアリ或ハ集簇シ又融合スル者アリ其周圍 (Umgebung) ニハ炎症浸潤全ク存セザルカ或ハ存スルハ毛極メテ僅少ナリ稀レニ結節形成ヲ認ムルヲアリ毛囊盡ク化膿セバ毛ハ弛緩シテ遂ニ脱落ス病症蔓延ハ徐々 (langsam) タリ而シテ再發シ易キ者ナリ (recidiv) 又「エクチエー」ヲ周圍ニ惹起スルヲ多シ  
部位、鬚、眉毛ニシテ頭部ハ實ニ稀有ナリ普通上唇部ニ發病スル者ヲ



多シトス

診断

毛ノ貫通 (durchbohren) スル小膿疱ニシテ上唇ニ發病シ經過 (Verlauf) ノ徐々ナルコニテ明カナリ

類症鑑別

第一、寄生性鬚瘡 (Sycosis parasitaria) 是レ急性ノ疾患ニシテ再發 (Recidive) ナシ頭部等ニ同時ニ寄生性匂行疹ヲ認ムルコト屢々ナリ深部ナル浸潤結節及ビ化膿 (Eiterungen) アリ觸接傳染性ナリ  
第二、結節性梅毒疹 (Syphilis cutanea nodosa) 疼痛アリ銅色ニシテ浸潤アリ潰瘍ヲ形成ス又水銀及ヒ沃度劑ニ反應ヲ呈シ且ツ其他梅毒症狀アリ  
第三、鬚瘡様、エクサチエトマ (Ektz. Sycosiforme) 是レハ膿疱皆毛ニ一致セズ且ツ搔痒アリ發赤アリ

治療法

鼻加答兒ニエクチエーマノ原因タルコトアルヲ以テ之ヲ治セザル可カ

カラズ

毛ハ短ク剪去シ痂皮アレバ軟化シテ是ヲ取り毛抜ニテ抜毛シ後レゾルチン、硫黄水楊酸、バスタ、或ハナフトールバスタ又硫黄タンニンバスタヲ塗布スベシ

單寧酸 五、〇

硫黄華 一〇、〇

ワゼリン 五〇、〇

亞鉛華 各一七、五

澱粉

又ウキルキンソンヲ塗布シ皮膚ヲ全ク剝離セシムベシ  
又土肥教授ハ左方ヲ處シ奏効ノ著明ナルヲ示教セラレタリ

赤降汞 二、〇

亞鉛華 各二五、〇

澱粉



豚脂

五〇〇

### 十二 火傷凍傷 (Verbrennungen und Erfrierungen)

#### 火傷 (Combustio-Verbrennung)

其温度ノ高低ニアラズ其熱ノ持續時間ノ長短如何ニ關シテナリ  
而シテ火凍傷ハ共ニ慢性皮膚炎ニ外ナラズ

(1) 紅斑期 (Stadium erythematosum) 皮膚赤ク腫脹シ疼痛アリ暫時ニシテ色素沈着ヲ遺コシテ諸症消退 (Verschwinden) ス普通ハ第二期ト合併スル者ナリ

(2) 水泡期 (St. bullosum) 大ナル弛緩性水泡ニシテ透明 (klar) ナル膠様内容ヲ有シ發赤セル皮膚面上ニアリ内容吸収セラレ或ハ水泡破潰シテ結痂シテ治愈ニ就クモノナリ

(3) 壞疽期 (St. necroticum) 固着セル (festhaften) 白黄黑色ノ濕潤或ハ乾固炭化セル痂塊ヲ生ジ境界線 (Demarkationslinie) 出來テ脱落 (Abstossen) ス其痂塊 (Sch-

03) ノ深キト廣キトニ從ヒ後チニ多少牽引性ノ瘢痕ヲ殘コス者ナリ  
診斷及類症鑑別ハ記載ヲ要セズシテ明カナリ

#### 治療法

必要ノ場合ニハ興奮劑 (Exciantia) ヲ與フベシ  
外用 第一第二期ノ火傷ナレバ水泡内容ヲ出シ皮膚ヲ〇.六%食鹽水或ハ三%硼酸水ニテ清潔ニナシ或ハ左方ヲ處ス

石灰水

各二〇〇

亞麻仁油

〇.〇四或ハ薄荷

二〇〇

(チモール)

又石灰亞鉛華<sub>2</sub>バスタ<sub>2</sub>ヲ用ユ

亞麻仁油

各一〇〇

石灰水

亞鉛華

白燧



チモール

〇〇五

或又重軽症ニ沃度ホルム糊ヲ用ヒ屢々中毒症ヲ起スヲ以テ寧ロ用キザルニ如カズ「クレヲリン」(Creolin)「ライロフエン」(Eutrophen)或ハ「硝査」デ「ルマトール」ヲ用ユベシ

其他ノ藥品ニ「コロヂューム」(Traumatin)「冷褌法」(Brovier's method)或ハ「硼酸軟膏」等トス

**凍傷**(Congestio-Errierung)已ニ知ル如ク身體末梢部ニ來タリ或ハ貧血ノ

者且ツ坐位睡眠者等ヲ好ムデ犯カスモノナリ亦三等ニ區別セリ  
(1)紅斑期 即チ血管收縮(Vasoconstriction)ノ爲メニ貧血ヲ起シタル後

血管擴張(Vasodilatation)來タリ發赤鬱血(Sanung)及ビ浮腫續生ス此ノ如キ病症限局ノ部位ヲ發生セバ爰ニ凍瘡(Frostbeulen-Periönies)ヲ發ス

凍瘡ハ紫色ヲ帶ビタル浮腫性ニ隆起セル斑ニシテ表皮ハ菲薄トナリ搔痒及ビ疼痛アリ夏期ハ多ク消退シ冬季ハ再ビ發生ス其好發部位ハ手足ナリ其續發症トシテ膿潰或ハ血管擴張ヲ惹起スルコトアリ顔面ハ

寒冷(Kälte)ニ長ク犯カサレタル人ニハ血管擴張(Gelässerweiterung)即チ

紫色ヲ呈ス(Rosacea)手足モ冬季(im Winter)潮溼性ニ加壓シテ消退スル處ノ帶紫色ノ發赤浮腫アリテ常ニ冷ユル感覺ヲ有ス之レ殊ニ貧血性ノ處女ニ多ク見ル所ナリ

(2)水泡期 透明或ハ血液性(hämorrhagisch)内容(Inhalt)ヲ有シ其間深入ノ膿潰ヲ來タスコトアリ

(3)壞疽期 帶紫色ニシテ冷タク感覺全ク缺如ス稀ニハ水泡ヲ作ルモノアリ

### 治療法

豫防法(Prophylaxis)ハ貧血ヲ防ギ暖衣ヲ着シ諸種ノ壓迫ヲ避クベシ

急性凍傷ハ注意シテ雪或ハ冷水ヲ以テ摩擦シ漸ク知覺等恢復シテ室ニ入レ漸次温ムル方針ヲ取ルベシ

局所ハ處置ハ四肢ナレバ其部ニ提舉(Suspension)法ヲ施スコト必要(Wich-  
[註]ナリ凍瘡ニハ一〇%「イヒチ」アルコールコロヂューム「カムフル」ラノリ



シ「或又足部ニハ沃度丁幾」コロヂューム「テルヘンチンコロヂューム」ヲ  
 塗布シ又ル「ゴール氏液」ヲ塗布スルモ可ナリ又我教室ニテハ簡便ナル  
 「ヲ以テ」屢々「ビツク」硬膏ヲ貼用セリ  
 或左方ヲ處セリ

沃度丁幾

二〇

石炭酸

一〇

單寧酸

二〇

ラノリン

三〇〇

或又

苛性加里

〇五

グリスリン

各三〇〇

酒精

蒸餾水

一〇〇〇

右浴後ノ塗布料トス

唯瀰蔓性腫脹及ビ發赤ニハ極熱キ局所浴ヲ少時間宛反覆施行シ又按  
 摩等ヲ試ムベシ

### 癬 (Furunkel-Blutschwär)

本症ハ急性ノ皮脂腺及ビ毛囊ノ周圍ニ起ル結締織ノ炎症ニシテ其中  
 心組織ハ壞疽ニ陥キル者ナリ即チ毛囊周圍蜂窠織炎(Perifolliculäre Phleg-  
 mone)ニ外ナラズ限局セル五厘貨大以上ノ隆起セル疼痛アル浸潤ニシ  
 テ皮膚發赤シ漸次尖銳(Spitze)トナリ中央黃色ヲ呈ス此所ヨリ數日後  
 ニ膿ヲ排泄シ遂ニ壞疽組織栓(necrotische Gewebspfropf)ヲ出シテ速カニ治  
 愈ニ就クモノナリ癬ハ孤立シ(einzeln)或ハ多數(Multiple)ニ發生ス而シ  
 テ癬ノ持續的發生スルキハ癬症(Furunkulosis)ト云フ  
 部位ハ項(Nacken)背(背脊(Gesäss))腋窩(Achselhöhle)及ビ外聽道(äußere Gehörgang)  
 トス然レモ皮脂腺及ビ毛髮ノアル部位ニハ發生シ得ルコトハ勿論ナ  
 リ



### 診断

硬固ナル限局疼痛性尖頂ヲ有スル浸潤ニシテ其頂點ニ黄色點アルヲ以テ類症鑑別ヲ要セズ明カナリ

### 治療法

其原因ヲ知リ之ヲ治スルヲ必要ナリ糖尿病或ハ小兒ノ下痢等(Diarrhoea)ヲ診スベシ

豫防法ニハ身體ヲ清潔ニナシ務メテ入浴スベシ

内服ニハウシナ氏ハ硫酸カルシウム $\text{CaSO}_4$ ヲ賞用セリ

外用ニハ水銀硬膏貼用或ハ切開ニテ治愈ス多發(multiple)ノ瘡ニハ昇

汞浴(Sublimbäder)  $(0.5-1.0\%)$ 或ハ赤酒色ノ程度ニ過滿俺酸加里

ヲ加ハタル浴ヲ可トス又初期ニハ $2\%$ ノ石炭酸ヲ浸潤ノ中點ニ注射

(Injection) スルモ宜ロシ我教室ニ於テハ最モ簡便又タ奏効確實ナルハ

ピツク氏硬膏ヲ持續貼布スルニアリトセリ

### 瘡 (Carbunkel-Anthrax)

瘡ハ瘡ノ集合體ト見做セバ可ナリ硬固ニシテ丹毒様ニ發赤シ劇痛アリテ周圍ニ蔓延スル浸潤ニシテ其浸潤ハ瀰蔓性ニ健康部ニ移行スルモノナリ此浸潤ノ中央ニ多數ノ膿點(Eiterpunkt)及ビ膿疱アリテ膿汁ヲ泄ラス皮膚ハ薄クシテ漸次閉孔シ遂ニ壞疽ニ陥リ膿汁及ビ壞疽織片ヲ多量(grosse Menge)ニ排泄ス(entleeren)而シテ其跡ニ良好ナル肉芽性深蝕(tiefereifende)ノ潰瘍トナリ遂ニ線狀ノ癩痕ヲ形成ス脾、脫、疽、傳、染、ニ因スル瘡ナレバ初メ赤クシテ浸潤甚シキ丘疹ニシテ漸次漿液出血性水泡黑色トナリ遂ニ變形シ是ガ破潰セバ其周圍ニ新タニ此ノ如キ水泡ヲ發生シテ浸潤ハ非常ニ速カニ周圍ニ進行スル者ナリ  
全身症狀ハ病症ト平行シテ輕重アルヲ普通トス又高熱戰慄ヲ伴ヒ重症ヲ示スコアリ  
部位ハ項、背、頰、唇、頸部等ヲ多トス



診断及ビ類症鑑別モ敢テ必要ナラズ病症ハ縮ト誤ルコトアルモ暫時ニシテ上記ノ特兆ヲ示スヲ以テ容易ナリ

治療法

病初ハ水銀劑ト共ニ温療法ヲ施コスヲ可トス最モ外科的療法ニ因テ處置スルヲ宜ロシトス

丹毒 (Erysipelas-Rose-Rothlauf)

此症ハ全身症狀惡寒戰慄嘔吐ヲ以テ初マリ必ズ極少ノ見得ベカラザル皮膚創傷(Wunde-Verletzung)ニフエルアイゼン氏連鎖菌ノ傳染ニテ起ル炎症ナリ特ニ粘膜ヨリスルヲ多トス皮膚ハ鮮紅ニ熱シ緊張(espant)浮腫浸潤アリ疼痛アリ其發赤ハ境界明劃ナリ逐次蔓延スル際常ニ體温上昇ヲ伴フ而シテ全身ヲ伴倚ス之ヲ倘伴性丹毒(Erysipelas migrans)ト云フ稀ニハ蔓延セズ處々ニ發スルコトアリ不正丹毒(Erysipelas erraticum)ト云フ病症消退(Rückgang)ニ傾ク所ハ邊緣不明トナリ發赤緊張消失シ皮膚ニ

襞ヲ生シ落屑ヲ初ム最モ甚シキ炎症ナレバ水疱及結痂形成トナル之ヲ(Erys. vesiculosum, bullosum, crustosum)ト云ヒ合併症トシテ浮腫甚シク且ツ虛弱ナル者ハ壞疽ヲ來タス壞疽性丹毒(Erys. gangrenosum)ト云フ再發ハ稀ナラザ(nicht selten)ルノミナラズ習慣性(habituelle)トナル者アリ而シテ組織ノ増大(Hypertrophie)ヲ來タシ其結果トシテハ象皮病(Elephantiasis)ヲ起コスヲ常トス

部位體ノ孰レノ部分ヲ問ハザルモ顔面殊ニ鼻腔ノ「エクチエー」ヨリ發スル者多シ頭部ニ蔓延セバ腦膜炎(Meningitis)ノ危險(Gefahr)アリ陰囊ニ來タレバ壞疽ノ豫防ヲ務ムベシ尙ホ注意ヲ要スルハ咽頭(Larynx)喉頭(Larynx)ノ丹毒ナリ

診斷

上記諸症ノ熱急性發疹ノ性状ヨリ觀察セバ敢テ難キニアラズ

類症鑑別

第一、紅斑、全身症狀ナク浸潤又疼痛ナシ



第二急性<sup>エ、ク、チ、エ、ー、マ</sup>特記スベキ程ノ全身症ナク濕潤アリ側面ヨリ見レバ往々小水疱及ビ丘疹アリ丹毒ノ如ク境界明確ナラズ又浸潤甚シカラズ

### 治療法

丹毒ハ治期ハ多ク自然的ナルヲ以テ唯其苦痛ヲ輕快セシ(erleichtern)ムルニテ足レルコアリ而シテ必ず微小ナル創傷アルヲ以テ之ヲ精査シ處置スベシ  
豫防法トシテ制腐處置ヲ小サキ創傷ニテモ爲スベシ  
全身療法ハ安臥(Bettlig)セシメ清冷ナルコヲ務メ便通ヲ正クシ頭部ニ氷嚢ヲ置クベシ  
内服ニハ稀鹽酸又下熱劑或ハアルコールヲ與フルモ可ナリ  
局部冷罨法五%ブローウ<sup>ー</sup>氏液及ビ一%レゾルチン<sup>ン</sup>液等ヲ良トス爰ニ注意スベキハ軟膏類ヲ塗布スルニハ必ず健康部ヨリ患部ニ向ツテ施コスベシ最モ効アルハ二〇—五〇%ノイヒチヤール<sup>ル</sup>液(Lösung)或ハ軟

膏<sup>バスタ</sup>コロヂエーム<sup>ム</sup>ヲ可トス殊ニコロヂエーム<sup>ム</sup>ヲ便利トス

イヒチヤール 四、〇

コロヂエーム 二〇、〇

又レゾルチン<sup>ン</sup>一〇—五〇%軟膏或ハバスタ<sup>ト</sup>シ又左方モ試ムベシ

單寧酸 各二、〇

カムフル 各二、〇

エーテル 一五、〇

右毎三時塗布 (Aufpinseln)

其他疼痛アレバ三%石炭酸溶液ヲ病竈ヨリ二センチ距タリ其周圍ニ皮下注射スベシ或ハ絆創膏ヲ以テ五センチ距タリ纏絡シ又外科的ニ亂切スル等ナリ實地家ハ此<sup>レ</sup>イヒチヤール<sup>ル</sup>ヲ使用シ且絆創膏纏絡(Uberlegen)ヲ併用スル<sup>コト</sup>最モ妙ナリ



## 第二章 皮膚血行障害(Circulationsstörungen der Haut)

## 紅班(Erythem)

單純紅班(Erythema simplex)トハ浮腫ナキ者ヲ云ヒ小班點ノ者ハ特ニ名ケテ薔薇疹(Roseola)ト云フ紅班點密生セルキハ猩紅熱様紅班(Erythema scarlatiniforme)ト云フ初生兒ノ全身ニアル赤味ハ初生兒紅班(Eryth. neonatorum)ト名ヅケ漸次黃色ニ移行スル生理的ノ者ナリ

壓(Druck)撞突(Stoss)摩擦(Reibung)ニテ限局シタル外傷性紅班(Eryth. traumaticum)ヲ生ズ

太陽及ビ電氣光線(Elektrische Licht)ノ越紫光線(Ultravioletten Strahlen)ノ働ニ因テ起ル者ヲ太陽紅班(Eryth. solare)ヲ云ヒ往々「エクサチエーマ」及ビ水泡形成ニ移行スルモノナリ

精神感動(Psychische Erregung)ニ因テ忽チ發シ忽チ消退スル皮膚發赤ハ精神的紅班(Eryth. psychicum)ト云ヒ又飛散性紅班(Eryth. fugax)ト云ヒ通常

顔面ニ來タルヲ多シトス

其他直接外部刺戟或ハ血行ニテ來タル紅班アリ即チ皮膚刺戟劑及ビ規尼涅「アンチピリン」「バルバルサム」等ノ藥疹是ナリ之ヲ中毒性紅班(Eryth. venenise)ト云フ

諸種内臟器病或ハ傳染病經過中發赤スルヲ内臟病性紅班(Eryth. morbis internis)ト云フ

單純紅班ハ揮散性(Hectisch)ナルト炎症々狀ノ欠乏シ(Vehel)及ビ落屑ナク又加壓ニテ消退スルヲ特兆トス

## 多形滲出性紅班(Erythema exsudativum multiforme)

此症ハ急性ニ殆ント常ニ手背足背ニ多少密生セル豌豆大ノ隆起セル赤色ノ無痛斑ナリ指壓ニテ其色消退ス周圍ハ鮮紅色ニノ中央ハ暗赤色トナル下腿ニ生セシ者ハ殊ニ暗赤色ナリ全身ニ蔓延スルコトハ稀レナリ亞急性ノ發病モ亦然リ中心治愈シテ周圍ニ蔓延スル者ハ環狀紅



班、迂廻狀紅班、圓樣紅班ト名ツク(Eryth. annulare, gyratum, figuratum)斑點小  
 ニノ少シク隆起セバ丘疹性(Eryth. papulatum)紅班ト云フ班上ニ水疱ヲ形  
 成セバ水疱性紅班ト云フ(Eryth. bullosum)ト云フ是最モ稀有ナリ又搔痒  
 甚シキヲ蕁麻疹性紅班(Eryth. urticatus)ト云フ此症ノ特種トノ二種アリ  
 虹彩膜狀匐行疹(Herpes iris od. circinatus)或ハ(Eryth. exsud. vesiculorum)ト云フ  
 (1) 虹彩膜狀匐行疹トハ發赤セル中心ヲ繞リテ多數ノ集中性(Concentri-  
 sc)配列セル水疱環ヲ作ルモノナリ而シテ普通隆起セル紅班ノ同時ニ  
 發生シ居ルヲ及ビ手背ニ水疱環ノ占居スルヲニテ此症タルヲ知ルベ  
 シ而シテ水疱ハ速カニ乾固スル者ナリ  
 (2) 結節性紅班(Eryth. nodosum)モ亦多形滲出性紅班ノ別症ナリ人ニヨリ  
 別種ノ疾患ト見做ス此症ハ全身症狀往々甚シク熱發及ビ關節痛ヲ以  
 テ多ク下腿(Unterschenkel)ニ瘤(Beule)ヲ生シ恰モ打撲瘤(Contusionbeule)ニ似  
 テ多少圓形ニ隆起シ加壓、疼痛アリ其色多ク紫紅色ニノ加壓ニテ消退  
 セス其大サハ手拳大ニ達スル者アリ浮腫性邊暈(Oedematösen Hof)ニテ取

圍メリ多クハ少壯ノ衰弱人ヲ犯カス下腿ノ外ニハ軀幹顔面及ビ粘膜  
 ヲ襲フヲアリ多形滲出性紅班ト併發スルヲ多シ此症ハ輕度ノ全身症  
 アリ普通數日間ニテ治愈スルモ又新タニ續發スルヲ以テ經過長シ多  
 クハ幼年者ヲ犯シテ又秋季ニ多ク發生ス粘膜ニ丘疹性隆起ヲ來タス  
 ヲアリ稀有ナレモ合併症トシテ皮膚出血關節炎(Gelenkentzündungen)漿  
 液膜ノ炎症等ヲ起ス

診斷

隆起セル赤班ニシテ加壓ニテ消失ス急性ナル發生及ビ迅速ノ消退ト  
 手足背ノ部位等ヲ以テ容易ナリ

類症鑑別

- 第一、エ、ク、チ、エ、ト、マ、ハ濕潤、落屑或ハ結痂形成等アリ
- 第二、天、泡、瘡、大ナル散在性ノ弛緩水疱ナリ
- 第三、蕁、麻、疹、發疹多クハ蒼白色ニシテ搔痒甚シ
- 第四、痒、疹、(Prurigo) 皮膚ニ小結節アリ痒疹橫痂(Prurigohubonen)アリ搔痒劇



甚ナルト慢性ニ幼年ヨリ發病スルヲ常トス  
第五、丘疹性梅毒疹、銅色ニシテ加壓消失セズ手掌足趾ヲ犯カシ其他梅毒症狀アリ

第六、水疱性寄生匍行疹、顔面頸部ヲ多シトス中心性落屑アリ搔痒甚シ  
**治療法**

**對症療法**(symptomatisch)ニシテ熱アレバ下熱劑ヲ與ヘ局所ニハ清涼膏(Kühlsalbe)ヲ貼用スベシ

無水ラノリン 五、〇

安息香亞鉛 一〇、〇

醋酸鉛水 一五、〇

或ハ

無水ラノリン 五、〇

ウキルソン氏軟膏 一〇、〇

石灰水 一五、〇

或ハ結節性紅斑ニハピツク氏硬膏等モ可ナリ

### 蕁麻疹(Urticaria-Nesseln)

本症ハ小發疹ノ集合發生セル者ナリ一發疹(Quaddel)ノ直徑ハ殆ド六厘以上ニシテ皮膚隆起シ其色澤白色陶器ノ如ク稀レニ赤色ノ者アリ急性ニ發生シテ落屑ナク速カニ消失ス搔痒ハ必發症候ナリ時ニ丘疹ヲ形成ス故ニ丘疹性蕁麻疹(Urticaria papulosa)又蕁麻疹性苔癬(Lichen urticatus)ト云ヒ稀レニ水疱形成ヲナス之ヲ大小水疱性蕁麻疹(Urticaria vesiculosa & bullosa)ト云フ其色形大小等ニ因テ區別スル次ノ如シ即チ白色蕁麻疹、陶器色蕁麻疹、赤色蕁麻疹、巨大蕁麻疹、環狀蕁麻疹、迂廻狀蕁麻疹、圖畫狀蕁麻疹(Urticaria alba, porcellanea, rubra, Riesenurticaria; annularis, gyrata et figurata)ト云フ其經過ヨリシテハ急性慢性ヲ別ツ急性トハ一時性(Vorübergehend)ニシテ屢々再發スルヲ云フ慢性トハ年々發作シ往々全身ニ蔓延シ頑固ニシテ容易ニ治シ難キモノヲ云フ間歇性蕁麻疹(Urt. intermittens)トハ「マラリア」ノ假面ヲ呈スルモノヲ云フ又發疹素因アル者ハ人工蕁麻疹



(Urt. facticia) ヲ容易ニ刺戟等ニテ發疹セシムルヲ得ルモノナリ粘膜ノ伴發スルハ唯巨大蕁麻疹ノキ浮腫性腫脹トシテ現ハル、ノミ尙此他ニ稀有ノ蕁麻疹ニテ左症アリ

色素性蕁麻疹 (Urticaria pigmentosa) トハ「ベングステル氏 (Sengster) ノ稱ヘシ所ニシテ各個發疹ハ甚ダ永ク存在シ或ハ同所ニ反覆 (wiederholen) 發生 (aufreten) シテ褐赤色ノ色素ヲ殘コス通常幼年ノ者ヲ犯カスト雖モ間々大人ニ來ル

部位ハ軀幹次ニ四肢稀ニ顔面ニ來タルモノナリ

診斷ハ色素沈着班ト共ニ發疹ノ存在スルヲ本症ノ確證タリ永キ經過中ニハ腫脹シ且ツ其表面發赤ス搔痒ハ時ニ缺如スルヲアリ而シテ色素沈着ハ輕度ニ皮膚面ヨリ隆起ス又精神感動例之ハ笑ヒ啼キ (Lachen, Weinen) 或ハ劇働等ニテ發赤腫脹ノ起來スルヲアリ此點ニ注意スベシ此蕁麻疹ニ罹ル人ニ固有ナル「(Eigentümlichkeit) ハ蕁麻 (Sらぐさ) ノ如キ者ニテ局部刺戟ヲ與フレバ發疹ノ來タルヲナリ

小兒ノ一、二歳ニ來タル者ハ特ニ丘疹性蕁麻疹 (Urticaria papulatum) ニシテ往々痒疹ノ前驅タリ大人ニハ天疱瘡ノ下地タルヲアリ

### 診斷

何ヲ以テモ説明シ得ザル搔痒ハ已ニ蕁麻疹ノ豫診ヲ喚起セシム人工ニテ蕁麻疹ノ發生スルヤ否ヤ常ニ試ムベシ若シ現存ノ疹ヲ視バ明了ニ診斷シ得ベシ

**類症鑑別** ノ必要ハ多形滲出性紅班ナレモ此ハ常ニ周圍赤色中央

暗赤色ニシテ搔痒僅少ニ其部位ハ殆ド常ニ手背タレバナリ

### 治療法

先ツ其搔痒ヲ除キ去ルヲ第一ナリ原因モ内外アリ蟻虫ノ爲メカ消化器障害ノ爲メカ或ハ嗜好品又藥劑等ニテ來タルヲアリ普通ハ左方ヲ處スベシ温泉療法ハ最モ効アリ

内服、急性ノ場合ニハ水楊酸曹達三、一六、〇一日量トシテ内服セシメ或ハ「アンチピリン」二、一三、〇ヲ與ヘ又亞砒酸沃度加里、或ハ「アトロピチ」



丸ヲ與フベシ

硫酸アトロピチ 〇〇一

甘草越幾斯及ヒ末 適宜

右爲二十九毎日一—三回一二九宛食後服用

搔痒ヲ制スルニハ

薄荷 三—五〇

酒精 一〇〇〇

或又三%石炭酸精モ可ナリツイダール氏ハ左方ヲ賞用ス

抱水(クロラール) 三〇

杏仁水 五〇〇

蒸餾水 二〇〇〇

### 急性限局性浮腫(Oedema cutis circumscriptum acutum)

此症ハ多ク急劇ニ身體ノ何レヲ問ハズ梅毒(Pfaumen)乃至手拳大 Faust-  
tlossノ限局セル腫脹ナリ學者ニ因テハ之ヲ蕁麻疹ノ變症ト見做ス者

アリ腫脹ハ概シテ二—一〇[センチ]直徑(Durchmesser)ヲ有ス其色ハ敢テ健  
皮ト異ナラス或ハ蒼白ナルコアリ患者ハ皮膚緊張ノ感アリ時トシテ  
搔痒アリ其發疹消失ハ迅速ナリ比較的酒客(Potator)ノ之ニ罹ル者多シ

診斷 特記スベキコナシ

### 治療法

規尼涅アンチピリン等ノ内服ヲ可トシ其局部ニハ水楊酸石礮或ハピ  
ツク氏硬膏ヲ貼付シテ足レリ

### 先天性表皮水疱症(Epidermolysis bullosa hereditaria) (Köhner)

本症ハ稀有ニノ發疹等前驅ナク直チニ水疱ヲ形成スル者ナリ而シテ比  
較的( relatif)兄弟ヲ犯カスト多ク而シテ機械的(mechanisch)ノ働ニテ水疱ヲ形  
成スル先天性傾向(angeborene Neigung zur Blasenbildung)ヲ有スル者ナリ故ニ  
「ツボン」釣、足駄ノ鼻緒、帶等ノ摩擦ニテ生シ又指ニテ摩擦スルモ亦然リ  
化學的作用ニテハ發生セズ殊ニ輕少ノ加壓ニテ生ズ時ニハ手足ニ限リ



發生スヘキコアリ發汗過多症(Hyperidrosis)又皮膚爪等ノ削消ヲ合併スルコアリ皮膚ハ菲薄トナリ光澤ヲ有ス殊ニ脛骨前面等ヲ見レバ最モ著シ  
**診斷**  
 必ズ輕少ノ加壓ニテ生シ自然ニ發生セズ炎症々狀ナク又瘙痒ナシ以テ類症鑑別ヲ要セズ

**治療法**

皮膚ニ塗油スレハ比較的良好ナリ其他亞砒酸内服或ハ注射ヲ試ムベシ然レモ奏効ヲ認ムヘキ者ナク唯適應療法ヲ行フノミ

註本症患者皮膚病科ニ入院セシモノニ就テ土肥教授ノ下ニ於テ井澤量治氏研究セリ詳細報告ヲ見ルノ期アルヘシ

**藥疹 (Arzneiexantheme)**

藥疹トハ内服或ハ皮下注射ニテ或ル一種ノ發疹ヲ來タスヲ云フナリ而シテ其發生病理ハ須臾ク措テ論ゼザルモ之ヲ要スルニ各人特異性(Di-

osynkrasie)アリテ其用量ノ多少ニ關セズ發疹ヲ來タス者ナリ其發疹ノ種類形狀ハ藥料ニ因テ差アレモ左ノ狀態ヲ爲スト見做セバ庶幾ラン紅班ノミノ者アリ蕁麻疹様ノコアリ水腫様腫脹トナリ又大、小水疱性トナリ皮膚溢血紫斑將又色素沈着ヲ殘コスモノモアリ限局性ノコアリ瀰蔓性ノコアリ發熱嘔吐惡心等ヲ伴フコアリ藥物ノ多數ハ治療用ト否トヲ問ハズ發疹ヲ來タス者多クレゾリン(Lysin)ハ四百二種ノ藥料中二百四種ノ皮膚ニ變化ヲ起ス者ヲ數ヘタリ實ニ五〇、七%ニ相當ス豈ニ驚カザル可シヤ今普通使用ノ藥劑ヲ發疹形狀ノ下ニ綜合セバ左ノ如シ

**藥疹一覽小表**

蕁麻疹様發疹

亞砒酸 水楊酸 「アンチピリン」 苦扁桃 吐酒石 水楊酸ナト  
 リューム 砒石 臭素劑 規尼涅 實菱答利斯

座瘡



石炭酸 肝油 阿片「モルヒネ」 珊瑚尼涅 臭素劑 沃度劑  
猩紅熱様發赤

規尼涅 「ザロール」 「ズルホナール」 水劑(内服) 水楊酸ナトリユ  
ーム 砒石

紫班

規尼涅 「ザロール」 「ズルホナール」 「フェナチエチン」 水楊酸 水楊  
酸ナトリユーム 「クロ、ホルム」 沃度劑

落屑

規尼涅

大水泡

「ズルホナール」 「アンチピリン」 砒石 水楊酸 水楊酸ナトリユ  
ーム 砒石 規尼涅 沃度劑

小水泡

砒石 安息香酸 安息香酸ナトリユーム 水楊酸 吐酒石 砒石

臭素劑 規尼涅 肝油 沃度劑 珊瑚尼涅

丹毒狀發疹

沃剝 「ヨードチリン」

天疱瘡様

「フェナチエチン」 「アンチピリン」

溢血班

「フェナチエチン」

紅班

水楊酸 「アンチピリン」 「ミグレニン」 單寧酸 「サルピリン」 硝  
酸銀 砒石 安息香酸 安息香酸ナトリユーム 石炭酸 水楊  
酸 水楊酸ナトリユーム 吐酒石 「アトロヒチ」 「ペラドンナ」  
臭素劑 抱水「クロール」 規尼涅 「コバイヲバルサム」 實菱蓉  
利斯 沃度劑 沃度「ホルム」 吐根 水銀 「ホミカ劑」 「ストリヒ  
ニーチ」 阿片 「モルヒネ」



膿疱疹

硝酸 水楊酸 水楊酸ナトリウム 吐酒石 砒石 沃度劑  
麻疹様疹

水楊酸 水楊酸ナトリウム アンチピリン  
丘疹

「アトロピネ」「ペラドンナ」臭素劑  
濕疹狀疹

水銀

診斷

發疹ハ藥用廢止ト共ニ消退治愈スルカ或ハ藥劑ノ種類ニ因テハ試驗  
的ニ服用セシメテ再發或ハ症狀増進スルヲ以テ確證トナスベシ

治療法

藥劑ノ服用ヲ止ムベシ臭素劑ノ瘡瘡ハ更ラニ硫黃劑或ハ水銀硬膏等  
ヲ貼布スベシ

蜀黍紅班(Pellagra)

此症ハ伊太利亞西班牙ウシガルン等ニアル風土病ニシテ其名ノ如ク  
蜀黍ヲ常食或ハ過食スルヨリ起ルナリ頭痛(Kopfschmerz)眩暈(Schwindel)  
胃腸障害(gastro-intestinale)等前驅症タリ發生ノ部位ハ裸楊セル手部手足等  
ニテ紅班(第一期)ヲ來タシ後輕度ノ落屑アリ數月後ニテ諸症消失シテ  
何等ノ痕跡ヲ殘ザズ然シテ翌年春季ニ同症狀ヲ發シ下痢嘔吐等アリ  
此ヲ第二期トス逐年諸症増悪シテ鬱憂貪眠四肢震顫等アリ之ヲ第三  
期トス遂ニ此三期ニ於テ精神障害ヲ來タシ癩患トナリ斃ル經過ハ十  
年乃至十五年トス

治療法

滋養的食品ヲ與ヘ鐵劑冷水療法等ヲ爲サシムルノミ第一期ノ片注意  
シテ看護セバ治愈ニ赴クモノナリ

局所假死及ビ對等壞疽(Locale Asphyxie & symmetri-



sche Gangrän)

此症ハレノー(Raynaud)氏一千八百六十二年初メテ記載セル者ナリ初メ假死ヲ來タシ續テ壞疽ヲ起コス者ナリ輕症ハ指趾鼻端等ニ局所失神(Locale Syncopie)ヲ起シ小血管ハ痙攣(Krampf)性ニ收縮(Contraction)シテ皮膚顏色トナリ冷タク暫時ニシテ症狀減退スルカ或ハ漸次ニ局所假死ノ狀ヲ呈シ後蒼白ハ黑色ニ變シ周圍ニ輕度ノ水腫ヲ起シ遂ニ壞疽ニ陥ルナリ而シテ對等性ニ來タル者ナリ乾燥性火傷痴ト異ナルハ他ニ原因(Ursache)ヲ見出サザルコトナリ

診斷

先ツ心臟疾患ノ有無及ビ血管系疾病ヲ精査シテ異常ヲ見出ザレバ之レ此疾病ナリ

治療法

一般強壯療法ヲ行フベシ假死ニハ按摩(Massage)及ビ乾燥温ニテ温ムル

ヲ可トス壞疽ハ外科的療法ニ讓ルベシ

紫班(Purpura)

紫班トハ皮下溢血ノ意味ニ外ナラズ而シテ此出血ニ伴ヒ急性ニ發熱シ身體倦怠且大小ノ出血アリ病初ハ殆ト常ニ下肢ヲ犯カシ又病狀劇甚ナリ

儂麻質斯性紫班(P. rheumatica) ナルアリ健康ナル者ノ下肢或ハ下腿ニレンス豆大ヨリ豌豆大ナル出血アリテ同時ニ關節痛ヲ諸關節ニ起シ若カノミナラズ腫脹ヲ來タシ血尿或ハ蛋白尿ヲ起ス者アリ

單純性紫班(P. simplex) ハ全身症狀少ナク出血モ些少ナルヲ單純性紫班ト云フ

出血性紫班 ハ全身症狀ノ高度ニシテ非常ノ出血ヲ云フ一名ヴェルホヒー氏紫班(Morbus maculosus Verhoeff)ト云フ

紫班ノ普通經過ハ數週ナリヴェルホヒー氏病ハ再發殊ニ多シ同時ニ



内臓出血或ハ心臓疾患ヲ起スコアルヲ以テ危険トス  
**診断**

皮下溢血ナルヲ以テ最モ容易ナリ

### 治療法

生活法及ビ滋養ニ注意シ身體ヲ安靜(Körperliche Ruhe)ニシ病初ハ臥床ニアリ精神(geistig)慰安睡眠(Schlaf)ヲ満足ニナスルニ食物(Nahrung)ハ刺戟性ヲ避ケ牛乳等ヲ與フ酒精劑ハ脈搏充實ノ者ニハ禁忌(Contraindication)ナリ反對ノ者ニハ與フベシ  
 内服ニハ麥角一—二、〇—一日量トシ服用セシメ其他「カムフル」エーテルノ大量等與ヘテ對症療法ヲ行フベシ

## 第三章 皮膚進行性營養障害(Progressive Ernährungsstörungen der Haut)

### 魚鱗癬(Ichthyosis, Fischschuppenkrankheiten)

此症ハ元來先天性(angeboren)ナリ然レモ常ニ(stets)一—二歳ニ於テ發見スル者ニシテ初メハ殆ド四肢ノ伸展側ニ發生シ皮膚ハ粗糙ニシテ乾燥シ皮野明割トナリ落屑著シ之ヲ單純性魚鱗癬(Ichthyosis simplex)ト云フ又小毛ニ一致シテ小結節ヲ爲シ其尖端ニ鱗屑ヲ被ムル者アリ此結節ヲ毛囊苔癬(Lichen pilaris)ト云フ然レモ毛囊角質増殖症(Keratosis pilaris)ト云フ方穩當ナラン又蛇ノ如ク鱗屑厚層ナルヲ蛇皮様魚鱗癬(Ichthyosis serpentina)ト云フ高度ニシテ角狀乳疳或ハ尖圭突起ニテ厚キ角質板等トナリ此ヲ摩スレバ一種ノ雜音(Geräusch)ヲ發スル者ヲ豪猪子様魚鱗癬(Ichthy. hystrix)ト云ヒ又限局セル肥厚ノ苔ヲ有スルヲ盃狀魚鱗癬(Ichthy. Scutulata-Schönleini)ト云フ時トシテ雲母様(Dermunterartig)光澤ヲ有スルヲ雲母様魚鱗癬(Ichthy. nitida)ト云フ普通鱗屑ノ色ハ暗褐色或ハ灰白黒色ナリ鱗屑ヲ剝離(Ablösung)スルキ多少力ヲ要スレモ爲メニ出血等ヲ來サズ汗分泌(Schweisssecretion)ハ減弱(heraussetzen)スルヲ常トス痒疹及ビ「エクチエー」トナル傾向アリ



部位 四肢及び軀幹ノ伸展側ヲ犯カスヲ最モ多ク頭部ニ於テハ唯糠  
枇症ノミノコアリ顔面ハ常ニ犯サルコナク屈側及ビ手掌足趾モ亦然  
リ唯手掌足趾ノミノキハ先天性手掌足趾表皮増殖症 (Keratoma palmare  
et plantare hereditarium) ト云フ

其蔓延ノ状態ハ對等ニシテ瀰漫性ナレモ又限局性魚鱗癬 (Ichthy. localis)  
アリ又神經経路ニ沿フテ蔓延スルコアリ奇トスベシ

又子宮内或ハ胎兒魚鱗癬 (intrauterinen od. foetalen Ichthyosis) アリ是レ稀レ  
ニ俗間鱗ヲ有セル小兒生ルナド、ヲ見世物的トナル者ナリ

病症ハ春期發動頃迄増進スルモ此ニ至テ病症停止スルヲ常トス然レ  
モ其形狀ハ更ラニ退行セザルモノナリ

診斷

重症或ハ著明ノ症狀ヲ呈スルキハ容易ナリ輕症ニテモ乾燥セル鱗屑  
及ヒ皮膚溝著明トナリ發病早年ナルヲ以テ本症タルヲ知ルコヲ得

治療法

温浴其他ニテ鱗屑ヲ除去スルヲ務メザル可カラズ限局セル者ハ油劑  
綠石鹼、ビツク氏硬膏ヲ可トス其他左方ヲ處ス

β ナフトール

五〇

酒精 適宜ニ溶解シ

ワゼリン

一〇〇〇

或又

レゾルチン

二〇

グリスリン軟膏

一〇〇〇

然レモ全然治癒スルハ少ナシ其形狀ノ輕快スルノミ

胼胝腫 (Callus, Tyloma)

胼胝 (Schwiele) トハ角質 (Hornschicht) ノ増加 (Zunahme) ニ因スル皮膚ノ肥厚  
ニシテ其肥厚ハ漸次健皮ニ移行シ明割ノ境界ナシ胼胝ノ處ニハ皮膚溝  
(Hautfurchen) ハ消失シ知覺 (Sensibilität) 減弱ス故ニ容易ニ皸裂ヲ生ズ肥厚



セル角質中ニ炎症ヲ起コシ全胼胝ノ脱落ヲ來スヲアリ  
部位 ハ手掌足蹠等ニ多シ

**治療法**

原因ヲ去ルヲ必要ナリ角質ヲ除去スルニハ温浴及ビ石鹼洗滌ヲ可ト  
シ若シ効ナケレバ二〇%ノ水楊酸軟膏或ハ一〇%水楊酸コロヂユ  
ム又二〇%ピツク硬膏ヲ宜シトス尙其上ヲ油紙ニテ被覆セバ可ナリ

**鶏眼(Clavus, Hühnerauge)**

鶏眼ハ限局セル疼痛アル角質肥厚ナリ外見白色ニシテ其中央ニ青色  
點アリ此點ニ相當シテ真皮中ニ角質細胞増殖ヲ爲シ恰モ釘ノ如ク突  
起狀ニ侵入スルナリ故ニ此點ヲ推セバ疼痛アリ

部位 骨突隆部ニ多シ指趾(Zehen)及ビ足蹠トス

**治療法**

加壓ヲ除クベシ鶏眼除去ニハ一〇%水楊酸コロヂユムヲ特效薬ト

ス又左方ヲ可トス

水楊酸

一〇

印度大麻越幾斯

〇・一

コロヂユム

一〇・〇

此ヲ毎日層ヲ重テテ自然ニ落チル迄厚ク塗ルベシ又單純水楊酸ヲ厚  
ク散布シ之ヲ絆創膏ヲ以テ固定スルモ可ナリ

**疣贅(Verruca, Warze)**

年齢ノ如何ヲ問ハズ發生スル者ニシテ硬固ニシテ多少隆起シ或ハ色  
素沈着アルアリ多クハ蠶豆大ニ達スル乳嘴ナリ稀ニハ融合シテ廣大  
ナル腫瘍トナリ其表面滑澤ナルヲアリ或ハ裂痕ヲ見ルヲアリ此裂痕  
(Zerklüftung)甚シケレバ恰モ是レ太キ毛ノ刷毛ノ如キ觀ヲ呈ス色ハ多様  
ニシテ一定セズ別ニ原因ナクシテ急ニ多數ヲ發シ又暫時ニシテ痕跡  
ヲ止メズ消失スルモノナリ時ニハ年餘存在スルヲアリ又此部位惡性



腫瘍ノ發病基底ヲ作為スルヲアリ  
老人ニハ黑色乳嘴トナリ背部ニ多發スルヲアリ (Verr. senilis-seborrhoica)  
部位 殊ニ手ニ多ク發生スルモ就中手背指ヲ多シトス之ニ亞テ軀幹  
顔面頭部等トス

**治療法**

内服 ハ亞砒酸及ビ苛性「マクネシア」〇、五—一、〇ヲ一日量トス  
外用 藥中ニテハ癬痕等ヲ殘サ、ル者ヲ撰バザル可カラズ最良ナル  
ハ電氣分解法(Electrolyse)ニシテ消極ニ針ヲ附シ腫瘍基底部ニ平行ニシ  
テ諸所ニ刺穿シテ三十秒ヨリ二分間—四「ミリアムペール」ノ電力ヲ  
働カスベシ  
又銳匙或ハ剪ニテ切除シ過「コロール」鐵ニテ腐蝕スベシ又十倍昇汞「コ  
ロヂューム」發烟硝酸、醋酸鹽、二〇—四〇、%水楊酸軟膏(或ハ純水楊酸ヲ  
八日間持續散布シ綑帶ヲ施コシ置クヘシ)水銀硬膏等トス我皮膚科放  
室ニ於テハ一〇、%水楊酸、コロヂューム或ハ純結晶石炭酸ニテ腐蝕後

ピツク氏硬膏ヲ貼布ヲナシ奏効確實ヲ認ム

**幼年扁平疣贅(Verrucae planae juveniles)**

此症ハ唯幼年ノ者ヲ犯カシ多數密集セル扁平ニシテ僅カニ皮膚表面  
ニ隆起セル所ノ黃褐色或ハ褐赤色ノ小乳嘴ニシテ部位ハ顔面手殊ニ  
指背ヲ犯カス

**治療法**

亞砒酸内服ニテ治愈ス

**被角血管腫(Angiokeratom-Mibellii)**

此症ハ稀有ニノ手及ビ足ニ發生スル小乳嘴狀ノ表皮隆起ニシテ此下ニ  
擴張セル血管或ハ點狀皮膚出血ヲ認ムル者ナリ故ニ灰白或ハ褐色ノ  
表皮肥厚ノ下ニ赤色ヲ有スルヲ認ム多クハ凍瘡ヨリ發生スル者ナリ

**治療法**

烙白金ヲ以テ目的ヲ達スベシ



註此報告ハ東京醫學會雜誌ニ醫學士樫田龜一郎君ノ報告アリ

### 毛髮增生症(Hypertrichosis)

更ラニ變化ナキ普通毛髮ノ異常ニ皮膚ニ發生スルヲ云フ之ニ先天ト後天ノ別アリバルテルス氏(Bartsch)ハ左ノ如ク區別セリ

- (一) 異性發生(Heterogene) 婦人ニシテ男子ニ固有ノ部位ニ毛生スル者ヲ云フ
  - (二) 異常時發育(Heterochronie) 普通ノ時期ナラザルニ毛生スル者
  - (三) 變位發生(Heterotopie) 無毛部ニ發生スル者ニシテ之ニ全身性ト局所性ノ別アリ
- 異性發生 婦人ニ男子ト同形ノ髯ヲ同時ニ發生シ又月經閉止期(Climacterium)ニ多シ部位ハ頤部ニ發生スル者多シトス又乳房間或ハ乳ニ發生スル者アリ陰毛ノ臍部迄直線狀ニ發生スル者アリ
- 異常時發育 小兒ニシテ非常ニ早期毛髮ノ發育スルヲアリ

異性發生 中ニ二種アリ(1)局所性毛髮增生症(Hypertrichosis heterotopica localis) トハ神經性異常アル所或ハ證明スベキ變化ナクシテ胸部、肩胛骨、薦骨ニ發生ス、是レ多ク遺傳性ナリ又癩痕ノ周圍ニ限局性毛髮發生(Hairwuchs)アリ又永時縋帶ヲ施コセシ者ハ縋帶下ニ往々見ルヲアリ後天性毛髮增生症(Hypertrich. acquisita) ト云フ(2)全身性毛髮增生症(Hypertrich. universalis)ハ遺傳性(Hereditäre)疾病トシテ一家族ニ來タルヲアリ犬男、山男等(Hund-Waldmännchen)ト云フハ是ナリ此ノ如キ者ニハ常ニ齒ノ缺損(Zahndefect)ヲ見ル者ナリ

### 治療法

根治的(Radicale)ニ除去スルハ電氣分解法ナリ消極(Kathode)ヲ毛囊球(Hair Ball)ニ挿入スベシ十五秒或ハ半分間一ニミリアムベールノ強サヲ用ユベシ而シテ後拔毛スベシ又左方ヲ處スモ可ナリ

硫酸バリウム

五〇〇

澱粉



亞鉛華

各二〇、〇

右脫毛藥トス

又ブレンク氏脫毛藥ハ左ノ如シ

雄黃 (Opment)

一分

苛性加里

八分

澱粉

二—十分

又左方アリ

硫黃カルシウム

二〇、〇

グリスリン軟膏

各一〇、〇

澱粉

右一—二ミリメートル厚ニ載セ十分—三十分後洗滌スベシ

### 爪ノ肥大症 (Hypertrophie der Nägel-Onychauxis)

爪甲ノ肥大ニハ二様ノ意味アリ長サ及ビ厚サノ肥大之ナリ厚サヲ増

ス者ハ異常ニ發育シテ彎曲シ甚シキハ螺旋狀ノ如ク彎曲紆廻スル者アリ之ヲ爪甲彎曲症 (Onychogryphosis) ト云ヒ普通ノ性質ヲ失ヒテ粗糙トナリ光澤ナク (Sanzlos) 縱横ノ裂溝 (Furchen) ヲ生ズ爪床ハ隆起シ乳頭發育良ク血管擴張ヲ伴ヘリ

爪甲肥大症ハ先天性ノヲアリ或ハ他ノ皮膚病例之ハ乾癬、紅色苔癬、象皮病、癩病、梅毒等ノ續發タルヲアリ又神經骨關節疾患ヨリ由來スルヲアリ外傷 (Trauma) モ原因タルヲアリ異常發育ノ爪ハ爪甲周圍炎 (Paronychie) ヲ起シテ爪甲箱頓炎ノ症狀ヲ呈スルヲアリ然レモ爪甲周圍炎ハ又異常加壓ノ爲メニ通常ノ爪ニモ發病スルヲアリ例之バ不適當ナル靴或ハ各趾ノ互ニ層重加壓スル場合等然リ此症ハ爪壁腫脹シ疼痛性潰瘍トナリ爪甲縁多少床内ニ侵入ス

### 治療法

原因ヲ除クヲ計ルベシ爪甲箱頓症 (Unguis incarnatus) ハ唯加壓原因タル爪甲縁ヲ少シク高メ此下ニ綿ノ小楔ヲ挿入シ絆創膏ヲ以テ爪壁ト



爪甲ト成ベク離隔スル様ニ纏絡スベシ潰瘍ヲ作レバ其楔タル綿ヲ二  
%硝酸銀酒精液ヲ以テ時々浸タスベシ而シテ毎二日新タニ厚キ楔ト交  
換スベシ其他苛性加里四〇%ヲ温メ爪ヲ温メシ一二分後ニ爪甲ヲ搔  
抓スベシ又爪甲半部或ハ爪壁ヲ切除スベシ  
我皮膚科教室ニテハ苛性加里ニテ爪甲搔抓後一―五%昇汞コロジユ  
ムヲ塗布スルカ或ハ單ニビツク氏硬膏ヲ貼用ス

### 色素性乾皮症(Xeroderma pigmentosa)

此症ハ一千八百七十年カボジ―氏ノ初メテ記載セシ者ナリ幼年ノ者  
多クハ一二歳ノ者ニ來タリ顔面及ビ手ノ如キ裸體部ニ多數ノ色素斑  
發生シ時ニハ密生シ時ニハ散在セリ其色ハ初メ褐色ニシテ後暗褐色  
ヨリ黒色トナルニ至ル其大サハ夏日班(Lentigenes)雀斑(Lentiginos)位ナリ  
各班ノ間ノ皮膚ハ健在ナルアリ或癬痕様ナルアリ又菲薄トナリ白色  
トナリ處々ニ血管擴張ヲ認ムベキヲアリ或ハ又乳嘴狀ノ小腫瘍ヲ見

ルヲアリ時ヲ經テ皮膚萎縮シ(Schrumphen)乾燥シ羊紙ノ如ク裂ケ易ク  
「エクチエーマ」様トナリ又潰瘍狀トナリ此間ニ色素ハ漸次増加ス結膜  
乾皮症(Xerosis conjunctivae)ヲ起來スルヲアリ本症ノ惡性ナル者ハ多數ノ  
黒色癌或ハ黒色肉腫ノ發生ニ資スルアリ血管腫ノ合併症タルヲアリ  
部位 初メハ顔面ニシテ次ニ耳、頸、肩、肘、腋、手等ナリ稀ニ軀幹ニ來タ  
ルヲアリ

### 診斷

幼年ニ發病スルヲ皮膚消削ノ漸次進行シ且色素ノ形色特有ナレバナリ

### 類症鑑別

第一、癩病消削ノ皮膚部ニハ必ず知覺異常アリ

第二、鞏皮症(Scleroderma)ト初期誤診スル恐レアレモ此緊張短縮セル皮  
膚ハ堅剛ニシテ凍結セル如シ此ノ如キ皮膚ノ堅剛ハ乾皮症ニ見ザル  
所ナリ

### 治療法



對症療法ノミ初期ニハ亞硫酸ノ内服或ハ皮下注射ヲ試ムベシ後ニハ外科的ニ除去スルノ一法アルノミ

### 色素増殖症(Hypertrophie des Pigmentes.)

色素増加ニ先天後天ノ別アリ其先天性ニ屬スベキ者左ノ如シ

#### 母斑(Naevi)

母斑トハ先天性ノ者ニシテ其色ハ色素ニ因スルヤ色素性母斑(Naevus pigmentosus)或ハ血管擴張ニ由來スルヤ血管性母斑(Naevus vasculosus)ノ二様アリ而シテ其色素性母斑ヲ別ツテ單純母斑ト疣狀母斑トス唯母斑ト云フハ其皮膚表面ヨリ隆起セザル者ニシテ疣狀母斑ハ色素ト乳嘴形成ト伴發セル者ヲ云フノミ若シ何レノ母斑ニテモ毛髮發生セバ有毛母斑(Naevus piliferus)ト云ヒ多ク神經經路ニ沿フテ以テ神經母斑(Neuromatosis)ト云ヘリ單純母斑 先天性褐色或ハ黒褐色ノ斑ニシテ其表面滑澤ニシテ大小種々アリ皮膚表面ト同高ニアリ(Leichens Niveau)稀レニ有毛ノトアリ

疣狀母斑 褐色或ハ黒色ニシテ多少ノ毛髮發生アリ毛ノ少ナキ程其表皮ハ肥厚セルモノナリ時トシテ一個或ハ多クノ神經ニ沿フテ配別スルトアリ殊ニ胎生期ニ裂痕アリシ部位ニ發生スル者ヲ多シトス即チ裂痕母斑(Fissural Naevi-Virchow)ト名ツケ頸部或ハ顎部ニ多シトス其他瀰蔓性ノ廣大ナル獸皮ニ似タル母斑ヲ見ルハ興味アリ

**診斷類症鑑別** 記載ヲ俟タスシテ明カナリ

#### 治療法

小ナル者ハ切除ヲ最モ簡便トス又電氣分解法(Elektrolyse)ヲ宜トス時トシテ此法ニ因テ唯毛ヲ脱落セシムレバ乳嘴モ自然ニ消退スルトアリ一〇%昇蒸コロヂエームヲ數層塗布スベシ又銳匙(Scharfer Jöffel)搔抓モ可ナリ  
後天性ノ色素増殖症ハ左ノ如シ而シテ全身性ト限局性トアリ  
全身性色素増殖(Universellen Hyperpigmentation)ハアヂソン病及ビ惡液質性黒皮(Melanoderma cachecticum)ノ二者ナリアヂソン病ハ全身皮膚灰白



或ハ青銅色ニシテ口粘膜モ亦犯サル時トシテ白斑(Leukoderma)ノ散在發生スルコアリ

限局性色素増殖(Umschriebenen Hyperpigmentationen)ヲ別ツテ雀斑(Lentigo)夏日班(Ephelis)肝色班(Chloasma)ノニトス

雀斑(Lentigo)此症ハ恐ラク先天性ノ者ニシテ生後ニ漸次發生スル者ノ如シ帽針頭大ヨリ「レンス」豆大ニシテ黄色乃至黑褐色ノ者アリ顔面手及ビ其他體部ニ發生スルモノナリ

夏日班(Ephelis)褐色或黄褐色ニシテ不正ニ稍鋸齒狀(Zackig)ヲ爲ス所ノ小班ニシテ殆ト唯衣服ニ被ハレザル所ニ發シ冬季消退シテ夏季再發ス赭色赤毛ヲ有スル婦人ニ多ク見ル稀レニハ六歳前ニ發スルコアリ此發生ノ主働(Laufactor)ハ光線作用ニ相違ナケレモ先天性素因ノ關係モ與テカアル所ナリ

肝色班(Chloasma)黄色及ビ褐色ノ限局セル「レンス」天以上ノ斑ナリ皮膚表面ハ普通ニシテ鱗屑等ヲ見ズ其部位、蔓延、持續等ハ其原因ニ關ス

ルナリ此原因ヲ知ルコト治療上必要ナルヲ以テ述ベントス

原因ニ内外ノ別アリ

肝色班、外因 (1)太陽肝色班(Chloasma solare)ハ化學的ノ太陽越紫光線(Ultravioleten)ヨリ原因ス(2)中毒性肝色班(Chl. toxicum)ハ芥子(Senf)發疱膏(Blasenpflaster)沃度クリザロピン「ア」貼用ニ因ル(3)外傷性肝色班(Chl. traumaticum)ハ皮膚ノ刺戟加壓等ノ爲メニ發生ス

肝色班、内因 (1)子宮性肝色班(Chl. uterinum)ハ妊娠中或ハ婦人科疾患ノ時發生スル者ニシテ好ムテ前額、上唇及ビ頰ニ對等ニ來タルヲ多トス(2)肺結核患者其他胃疾患等ナリ(3)亞砒酸増色皮(Arsenmelanose)亞砒酸服用後全身ハ瀰蔓性暗褐色時ニハ黑色ノ色素ヲ來タス者ナリ

診斷

其誤診シ易キ癩風ハ常ニ鮮屑アルヲ以テ鑑別容易ナリ色素性乾皮症ハ色班ノ間ノ皮膚ハ消削スルナリ

治療法



太陽肝色班ニハ規尼涅ノ内服ヲ宜ロシトス色素厚キ片ハ綠石酸ヲ毎日三回塗布シ又加里石鹼或ハ白降汞ヲ各晩塗布スベシ一%ノ昇汞酒精ヲ以テ約四時間器法ヲ施コシ表皮ニ水疱形成ヲ起コサシムルハ甚ク効アリ又結晶石炭酸ヲ以テ腐蝕スルモ可ナリ乳酸「グリスリン」等分ノ者モ試ムベシ又ウオルフ氏ハ三格魯兒醋酸ヲ費用ス

### 象皮病(Elephantiasis)

此症ハ發生徐々ニシテ局所循環障害殊ニ淋尿管ノ障害ニ伴ツテ起ル者ニシテ再發ノ丹毒淋尿管炎靜脈炎等ノ爲メニ浮腫ヲ起シ後瀰蔓性ナル肥硬トナリ其部ノ太サヲ増シ其以前ノ形狀全ク消失スルニ至ル皮膚ハ多ク滑澤ニシテ擴張セル淋尿管靜脈管走行シ或ハ「エクチェーマ」様トナリテ皸裂潰瘍或ハ色素ヲ沈着ス此ノ如キヲ滑澤象皮病(=Eleph. Sabra)ト云ヒ乳嘴狀突隆ノ發生セルヲ疣狀或ハ乳頭狀象皮病(=Verrucosa od. papillaris)ト云フ而シテ象皮病患者ノ皮膚ハ緊張シテ捻ミ上グル

ト出來ズ時日ヲ經レバ遂ニ骨肥大ヲ來タシ真皮及ビ皮下組織ノ肥硬ト共ニ一層其大サヲ高ムル者ナリ擴張セル靜脈瘤樣(Varicos)ノ淋尿管破潰セバ所謂淋巴漏(Lymphorrhoe)トナル小兒ハ象皮病ニ罹ルヲ甚ク稀ナリ熱帶地方ニ多ク發生スル疾病ナリ

**部位** 下肢及ビ足ニ最モ多ク發生シ之ニ次デ陰囊(Scrotum)陰莖(Penis)大小陰唇(Labia major & minor)ニ來タリ上肢及ビ耳ニ來タルヲ極メテ稀有ナリ

### 治療法

豫防的ニハ諸種ノ鬱血「エクチェーマ」潰瘍、狼瘡其他ヲ治スルニアリ若シ下肢ニ來タリシ象皮病ニシテ初期ナレバ高位ヲ取ラシメ護謨或ハ「フランネル」帶ニテ壓迫綑帶(Compression)ヲ施コスベシ高度ノ者ハ外科的療法ニ委スルノミ

## 第四章 皮膚腫瘍(Geschwulste der Haut)

### 纖維腫(Fibrom)



皮膚纖維腫ニ單發性ト多發性トアリ甲ハ後天性ニ發スルヲアルモ乙ハ先天性ナリ而シテ又限局性ノ者ヲ其軟キト硬キニ因テ區別ス硬性ハ限局明割ナル硬キ結節性腫瘍ニシテ其表面ハ健康皮膚ヲ以テ被ハル時ニ腔洞性ニ變化シ又化骨(Verknöcherung)シ石灰化シ(Verkalkung)或ハ脂肪又ハ粘液浮腫(Myxödem)ニ變性スルヲアリ稀レニハ肉腫様又癌腫様ニ變化スルヲアリ軟性ノ者ニテ多クハ觸接性ナル者ヲ第一ニ軟屬性纖維トス

軟屬性纖維腫(Fibroma molluscum)ハ軟カキ有莖(Gestiel)或ハ廣キ基底ヲ有スル帽針頭乃至小兒頭大ニ達スル腫瘍ナリ其莖(Stiel)ハ唯一纖維ナルヲアリ此ノ如キヲ振子様纖維腫(Molluscum pendulum)ト云フ腫瘍上ノ皮膚ハ普通ナルモ時ニハ血管ノ擴張ヲ認ムルヲアリ又開大セル諸腺口ヲ往々目撃シ得ルヲアリ唯一個發生スルヲアリ又千ヲ以テ數フルガ如ク多發スルヲアリ神經經路ニ沿フテ發生シ先天性ナレバ軟屬性纖維腫様母斑(Naev. molluskiformis)ト云ヒ又神經母斑(Nervenhevi)ノ中ニ數

フ小ハ自カラ消失スルヲアルモ大腫瘍ナレバ表面潰瘍トナルコト多

シ

**診斷**

其軟ナルト數ノ多キトヲ以テ容易ニ診斷シ得ベク傳染性軟屬腫(Molluscum contagiosum)ハ中央ニ小孔アリ硝子様内容物ヲ壓出シ得ルニ因テ鑑別シ得ラル

**治療法**

硬性多發纖維腫ハ亞砒酸ノ皮下注射ヲ試ムベシ其他外科的治療ニ委スルノ外ナシ

**蟹足腫或ハ癩痕瘍(Keloid)**

蟹足腫ニ眞僞ノ二種アリ癩痕組織ヨリ發生スルヲ僞性(falsch)トシ特發スルヲ眞性(Wahre)トス兩者ノ差違ハ組織學上ニ存シ肉眼的ニ區別シ易カラザルヲアリ然レモ腫瘍ノ發生如何ナルヤヲ知ルヲ必要ナリ



偽性蟹足腫 (Falsche Keloid) ハ多クハ顔面軀幹ニ來リ又稀ニ四肢ニ發生ス其大サ榛實大ニシテ半球形或ハ扁平ノ形アリ年齡ニ一定ノ關係ナシ本病ハ患者ノ素因ニ基クモノニシテ一家族中多數ニ罹病スル者アルヲ見レバ恐ラク遺傳スルガ如シ

眞性蟹足腫 ハ健康ノ皮膚ヨリ發生シ扁平ナリ而シテ其大サハ偽性ニ比シ小ニシテ多數發生スルヲ常トス且ツ多クハ對等性ニ來タル者ナリ

蟹足腫ハ瘡痕ニ似タル扁平或ハ結瘤狀ノ肥硬シタル腫瘍ニシテ其色白色或ハ稍紅色ニシテ加壓ニ因テ疼痛アリ其周圍ニ向ツテ突起 (Ausläufer) ヲ出ス一恰モ蟹足ノ如キヲ以テ此名アリ單發スルヲアリ又多發スルヲアリ年齡ノ如何ヲ問ハズ其發育スルヤ徐々ニシテ一定ノ大サニ達セバ病症停止ス稀有ノ場合ナレモ消退スルヲアリ本病ハ殊ニ再發ノ傾向ヲ有スル者ナリ暗褐色ノ人種ニ多ク發生スト云フ

部位 ハ胸部最多ク軀幹背及四肢等稀ナリ

診斷

肥硬セル瘡痕外觀ヲ呈シ扁平或ハ線狀ニシテ疼痛アリ多發シ且軟部ニ發生スルヲ以テ單純ノ瘡痕肥大ト容易ニ鑑別シ得ベシ

治療法

亂切ヲ施コシ次ニ水銀硬膏ヲ貼布シ或ハ二〇—五〇%レゾルチン硬膏及ビ壓迫ヲ加フベシ電氣燒灼モ時々効ヲ奏スルヲアリ切除烙白金等ニテ處置スルモ多クハ再發ス

乳嘴腫 (Papillom)

此腫瘍ハ纖維腫ノ一種ト見做シテ可ナリ疣贅ト此腫瘍ヲ區別スルハ困難ナリ乳嘴腫ハ其形狀ノ花椰菜ノ如キヲ特別トス其表面ニ毛細管アリ此模型ハ尖圭コムデロームナリ尖圭コムデローム (Condylomata acuminata) ハ普通ノ皮膚上ニ迅速發育シ其形尖銳ニシテ分枝セル (Verästelung) 腫瘍ナリ恰モ鶏冠或ハ覆盆子ノ如キ觀ヲ呈シ其表面ハ常ニ濕潤



セリ

部位 ハ殆ド唯陰部ニシテ龜頭陰唇及ビ臀部トス

### 覆盆子腫(Frambösie)

此腫瘍ハ「ジャワ」島ニ於テハ(Yaws, Koko, Pian)等ノ名アル者ニシテ其本性ニ關シテハ未ダ説明シ能ハズ唯熱帶地方ニ固有ノ疾患ニシテ梅毒或ハ腺病其他ト直接ノ關係ナシト云フ點ノミ確定セラレタル發熱ヲ伴ヒ往々顔面ニ發生スル乳嘴狀ニシテ厚サ一―五ミリメートルノ黃色ノ痂皮ヲ被ムル所ノ腺狀物トナリ或ハ小サキ硬結ノ潰瘍ナリ疾患ハ殊ニ小兒ヲ犯カシ觸接性ヲ有シ多クハ六―十ヶ月間ニ治愈ニ就ク者ナリ

### 治療法

第一滋養強壯ヲ目的トシ身體ノ攝生ヲ務ムベシ局所ニハ次硝酸蒼鉛ヲ用ユレバ發疹ハ乾固剝脫ス

### 筋腫(Myom)

皮膚ノ筋腫實ニ稀有ナル者ニシテ平滑筋纖維ヨリスル平滑筋腫(Liomyom)ニシテ舉毛筋(Arrector pilorum)ヨリ發生ス小肥硬ノ赤色腫瘍ニシテ多クハ多數ヲ軀幹ニ生ジ而シテ自然治愈ニ赴クコトアリ

### 診斷

確診ヲ爲サントセバ顯微鏡的ナラサル可カラズ

### 治療法

亞砒酸療法ヲ試ムベシ

### 黄色腫(Xanthom)

此名ハスミット氏(Smith)ガ命名セシ者ニテウキルソン氏(Xanthelasma)ト云ヒアデッソン氏(Vitiligoidea)ト名ケタリ  
皮膚ニ來タルニ二種アリ扁平黄色腫(X. planum)ト結節黄色腫(X. tubero-



sun)是ナリ

扁平黄色腫、ハ扁平ナル淡黄色或ハ黄褐色ノ索線狀或ハ斑點狀ノ隆起ニシテ之ニ觸ルレバ恰モ絨毛ノ如キ疼痛ハ缺如セリ皮膚ニ落屑ナク又皮膚ト癒着ナキヲ以テ粘ミ上グルヲ得單發スルコトアリ多發スルコトアリ而シテ往々對等性ニ來タルコトアリ

部位、ハ眼瞼眼眥(Augenlider-Winkel)ヲ最モ多シトシテ又鼻項部、粘膜(口、氣管、食道)等ニモ來タル

結節黄色腫、ハ突兀タル小腫瘍ニシテ融合シテ大腫瘍トナルコトアリ其色黄色ニシテ其他ノ狀態ハ扁平黄色腫ト異ナル所ナシ

部位、ハ關節屈側、足、手、頭皮其他トス

黄色腫ハ發育徐々ニシテ一定ノ大サニ達スレバ發育停止(Stationar)ス自然治癒ヲ見ルニ頗ル稀有ナリ

### 診斷

其色及ビ其他皮膚ノ性狀ニ因テ容易ナリ

### 治療法

外科的ニ委スルノ他ナシステルン氏ハ一〇%昇汞コロヂユトムヲ用ヒ「グアイル」ハ一鹽化醋酸ヲ用ヒ目的ヲ達セリト云フ

### 肉腫(Sarcom)

内腫ノ皮膚ニ來タルコト屢々ニシテ原發性(Primar)ナルアリ又内臓ノ肉腫ニ續發(Secundar)スルコトアリカボシ一氏ハ實用上ヨリ左ノ三種ヲ區別セリ

(1)非色素性肉腫(nicht pigmentierte Sarcom)ハ單發スルコトアリ又多發スルコトアリ肥硬彈力(chastisch)性ヲ有シ其表面ハ平滑光澤ヲ有スル小腫瘍ナリ多發原發性肉腫ニシテ非色素性ノ者ハ多クハ初メ手及ビ足部ニ發シ求心性(Centripetal)ニ蔓延スルモノナリ

(2)特發多發性色素肉腫(Das idiopatische multiple Pigmentsarcom)ハ手足ニ發生スル鮮紅色ノ結節ニノ間質出血ノ爲メニ遂ニ黑色トナリ灼熱及ビ



緊張ノ感アリ此結節吸收セラレバ其跡ニ暗黒色癩痕性消削ヲ殘コ  
ス歲月ヲ經テ此ノ如キ結節ハ諸部ニ發生シ終ニハ内臟ニモ亦發育ス  
ルニ至ル

(3) 黒色肉腫(Das melanotische Sarcom) ハ迅速ニ發育スル多少暗褐色ヲ呈  
スル肥硬彈力性ノ腫瘍ニシテ潰瘍トナルコトアリ然レモ自カラ消退治  
癒ニ就クコトナシ此肉腫ハ往々母斑及ビ皮膚乳嘴ヨリ發生ス

### 診斷

確診ヲ下サントセバ組織的検査ニ依ラザル可カラズ唯往々誤診スル  
ハ謾談腫様症狀ナリ然レモ此者ハ發生迅速ニシテ忽チ潰瘍トナル傾  
向ヲ有スルモノナリ筋腫黄色腫等トハ鑑別容易ナリ狼瘡ハ其部位及  
ビ經過ノ慢性潰瘍肉芽ノ増殖性ナル等ニ因テ明カナリ

### 治療法

豫防法ハ母斑或ハ皮膚乳嘴ヲ除去スルニアリ非色素性ノ者ニハ亞砒  
酸内服或ハ注射ヲ試ミテ好蹟ヲ得ルコトアリ然レモ成ベク早期ニ外科

的切除ヲ行フニ若カズ

### 粟粒腫(Milium-Acne miliaria)

粟粒腫ハ名稱ノ如ク其大サ粟粒ニ等シキ圓形ノ結節ニシテ皮膚ニ炎  
症々狀ナシ多クハ眼瞼、頬部、唇縁、陰唇及ビ癩痕周圍等ニ發生スル者ナ  
リ其色ハ黄色ニシテ光澤アリ時トシテ豌豆大ニ達スル腫瘍トナリ透  
明ニシテ水泡ノ如キ外觀ヲ呈シ膠様(Gelatinös)ノ内容ヲ有スル者ヲワグ  
チル氏ハ糊様粟粒腫(Collidantium)ト稱セリ粟粒腫結節ノ内容ハ脂肪及  
ビ葱ノ如ク層重セル壓迫扁平ノ角質細胞(Hornzellen)トヨリ構成セラル  
、者ナリ粟粒腫ハ恐ラク皮脂腺口ノ萎縮ノ爲メニ分泌物潴積シ其ノ  
結果トシテ皮脂腺ノ擴大セル者ナラン

### 診斷

其部位及ビ其内容ヲ壓出シテ肉眼的ニ診斷スル事ヲ得ベシ

### 類症鑑別



第一、傳染性軟屬腫 (Molluscum contagiosum) ハ中央ニ小孔アリ硝子様軟屬腫小體 (Molluscumkörperchen) アリ

第二、黄色腫ハ壓出シテ内容ヲ出ス可カラズ

治療法

務メテ其内容ヲ搾出セバ可ナリ其部廣クシテ行フ能ハザレバ綠石鹼或ハ加里石鹼ヲ塗布シ之ヲ強ク摩擦シ後ビツク硬膏ヲ貼用シテ毎二日ニ石鹼塗擦ヲ行フベシ

腺腫 (Adenom)

皮膚ニ來タル腺腫ハ皮脂腺及ビ汗腺ヨリ發生スル者ナレモ極メテ稀有ナリ

皮脂腺腫 (Adenoma sebaceum) ハ通常豌豆大ノ肥硬セル結節ニシテ皮膚表面ヨリ隆起シ其形半圓或ハ稍尖圭ヲ有スルヲアリ其色健皮ト同シキヲアリ又黄赤色ノヲアリ單發スルヲアリ多發スルヲアリ而シテ其

發生ニ先天後天ノ別アリ

汗腺々腫 (Hydradenom) ハ柔軟ナル限局性小腫瘍ニシテ殊ニ顔面ニ發生ス帽針頭乃至豌豆大ナル扁平白色或ハ蒼白黄色ノ結節ナリ

診斷

顯微鏡的ニアラザレバ確診シ得ズ

傳染性軟屬腫 (Molluscum contagiosum)

此名ハバテマン氏ノ撰ビシ所ニシテヒルヒョウ氏ハ (Epithelioma molluscum) ト云ヒカボシー氏 (Molluscum verrucosum) ト云ヒバチン氏 (Acne varioliformis) ト命名セリ

此腫瘍ハ皮膚表面ニ隆起シ豌豆大ニ達スル發育最モ遅々タルモノナリ被覆スル皮膚ハ普通ノ色澤ヲ呈シ時ニ其基底部ニ輕度ノ發赤ヲ爲スヲアリ其中央ニ多クハ點狀ノ小孔アリテ加壓セバ此孔ヨリ硝子様物質ヲ排出ス是レ所謂軟屬腫小體 (Molluscumkörperchen) ニシテ橢圓ニシ



テ光澤アリ本病ハ時トシテ一家族ノ多數ヲ犯カスヲアリ其傳染性ナルヲ疑ヒナク接種實驗(Implexperiment)ハ陽性(Positive)ノ成績ヲ示セリ  
部位 顔面殊ニ眼ノ附近ニ多ク又頭部頸部及ビ陰部等ニシテ往々多數ノ發生スルヲアリ

診斷

皮膚普通ニシテ變化ナキヲ其他炎症々狀ノ缺乏中央ノ小孔及ビ軟屬腫小體ハ特兆ナリ

類症鑑別

第一粟粒腫ハ白色或ハ帶黃色ノ外觀ヲ呈シ且透明ナリ其表面ニ小孔ナシ皮脂樣内容物アルヲ以テ知ルベシ  
第二軟屬纖維腫ハ中央ニ開口(Ocimum)ナク又壓出スベキ(Ausdrückbar)内容物等ナキニ因ル

治療法

其内容物ヲ壓出セバ治愈ス尙後ニビツク氏硬膏ヲ貼布シ置クベシ

癌腫(Carcinom-Krebs)

皮膚癌ハ轉移性(Metastase)ニ因テ續發シ又癌腫ニ罹ル部位ヨリ連續性(Continuitas)ニ來タリ又全ク原發スルヲアリ

原發性皮膚癌ハ其狀態ニ三様アリ即チ潰瘍性癌腫癌結節及ビ扁平瀰蔓性癌浸潤是ナリ

(1) 癌潰瘍或ハ扁平癌(Ulcus rodens, das Krebsgeschwür, Cancroid)ハ皮膚癌中最モ屢々見ル所ノ形ニシテ扁平ナル不正形ニシテ邊緣ハ細クシテ穿鑿狀ヲ爲シ邊緣及ビ潰瘍底ハ軟骨樣ニ硬タク結痂ヲ以テ被ハル、アリ潰瘍面ハ滑澤或ハ顆粒狀(Körnig)ヲナシ鮮紅色或ハ暗赤色ナルヲアリ徐々ニ蔓延シテ底止スル所ナシ淋沍腫脹ハ最モ末期ニ來タルヲアリ或ハ之ヲ來サ、ルヲアリ又疼痛ヲ訴ヘズ若シ癌腫ノ高度浸潤ノ上ニ潰瘍隆起シ來タレバ是ヲ隆起扁平癌(Ulcus rodens elevatum)ト云フ  
(2) 結節癌ハ結節狀或ハ乳嘴狀ノ腫瘍ニシテ又花椰菜ノ如キ觀ヲ呈ス



ルコアリ潰瘍ヲ續發スルコアリ潰瘍ハ速カニ深部ヲ侵蝕シ忽チ近隣ノ淋巴腺腫脹ヲ惹起シ悪性腫瘍ノ轉歸ヲ取ルモノナリ

(3) 扁平浸潤癌ハ所謂バケット氏[バケット氏]エクチエーマ[エクチエーマ]トシテ乳房ニ發生シ乳嘴及ピ乳房ニエクチエーマ[エクチエーマ]狀トナリ濕潤シ痂皮ヲ形成シ皮膚ハ爲メニ硬結ス此硬結ハ即チ是レ癌腫ナリ

部位 皮膚癌ハ殊ニ唇、鼻翼、眼瞼、耳、乳房、陰莖及臀部トス

經過ハ種々ニシテ一定セザルモ多少一時性(Vorübergehend)ノ瘢痕形成或ハ硬化性萎縮(Sclerose Schrumpfung)ニ因テ病症停止ヲ爲スコアリ母斑、乳嘴腫、下腿潰瘍、狼瘡瘢痕、粉瘤腫等皆癌發生ノ基トナルモノナリ老年者ノ多ク犯カサル、ハ勿論ナリ

### 診断

潰瘍ヲ形成シタルキハ診断困難ナリ然レモ硬剛ニシテ軟骨様ナル邊緣ト比較的徐々ノ發育ハ診断上ノ着目點タリ

### 類症鑑別

梅毒ノ邊緣浸潤ハ癌ノ如ク硬剛ナラズ經過モ亦速カナリ且ツ梅毒ノ他症候アリ

### 治療法

上乘療法ハ固ヨリ手術的(Operativ)ナレモ又扁平癌ニハ濃厚度ノ「レゾルチン」或ハ没食子酸軟膏ヲ推奨スラツサル氏ハ近頃再ヒ亞砒酸ノ有効ナルヲ稱道セリ是レ亦輕々ニ看過スベカラズ

### 血管腫(Angiom)

血管腫トハ其組織主トシテ新生(Neubilden)ノ脈管ヨリ成ルヲ云ヒ其脈管ノ血管ナルヤ水脈管ナルヤニ從フテ血液性血管腫(Angioma sanguinum)ト乳糜血管腫(A. Lymphangioma)トニ區別ス

(1) 血液性血管腫ニ二種アリ單純性(A. simplex)ト腔洞性(A. cavernosum)トス

(2) 單純血管腫(A. simplex-Telangiectasia)ハ限局セル赤色或ハ青紅色ニシテ加壓セバ蒼白(Erblassen)トナル所ノ皮膚ト同表面或ハ皮膚面ヨリ突隆



セル班ナリ突隆母班(Naevus prominens)ト云フ其班中ニ肉眼ニテ視得ベキ擴張セル血管縱横ニ走行ス此班若シ瀰蔓性ニ紅色ヲ呈スルキハ火傷母班(Naevus flammeus-Feuermal)ト名ヅク多クハ先天性ニシテ生後病癒停止スル者アリ又迅速ニ延大スル者アリ稀有ノナレモ血管萎縮(Obliteration)セバ自カラ消失ス又時トシテ炎症状態ハ彼ヲ消退セシムルコトアリ本症ハ象皮病肉腫凍瘡等ト併發スルコトアリ即チ表皮血管腫ノ凍瘡後ニ來タルヲ以テ知ルベシ

**部位** ハ顔面頸部トシ稀レニハ軀幹四肢ニ來タリ又近接ノ粘膜ヲ侵カスコトアリ

(口) 腔胴性血管腫ハ波動ヲ呈シ(Inclination) 時ニ又搏動性(reactiv)ニシテ脈縮シ得ベキ(Comprimibar) 大小不定ノ腫瘍ニシテ多クハ後天性ニシテ周圍ノ皮膚ト明劃ノ限界ヲ有スルコトアリ否ラザルコトアリ

**診斷**

上記ノ特兆ニテ誤診スルコトナシ

**治療法**

美貌上最モ良好ノ成績(utile cosmetische Resultat)ヲ得ルハ第一期愈合ヲ營ムベキ切除(Excision)ナリ又電氣分解法モ奏効顯著ナリ又淺表ノ小血管擴張症ニハ一〇%昇汞コロヂエームヲ最良トス即チ毎日層重塗布シ遂ニ其自然ノ剝脫ヲ來タスニ至ルベシ然レバ膿性ノ創面(Wunde)ヲ呈スレモ此創面ハ善ク治癒ニ赴クモノナリ大ナル者及ビ腔胴性ノ者ニ至ツテハ電氣燒灼或ハ烙白金ヲ以テ破壊スベシ

註血管擴張症ニ電氣分解法ヲ用ヒテ頗ル効アリシハ我同僚鈴木學士ノ皮膚病科ニ於ケル數多ノ實驗ナリ五六分間三、四ミリアンペールノ強サヲ用ユ

(2) 乳糜性血管腫モ亦分ツテ二種トス單純淋巴管腫及ビ腔胴性淋巴管腫是ナリ其他多發結節性淋巴管腫(Lymphangioma tuberosum multiplex)ナル者カボジ―氏記載セリ本症ハ時トシテ幼年ニ時トシテ老年ニ發生シ「レンス豆大ノ結節ニシテ赤褐色ヲ呈シ表面平滑ナリ皮膚表面ヨリ僅



カニ隆起ス通常鎖骨以下腰部間ニ蔓延發生スル者ナリ指壓ニ因テ蒼白トナル頗ル梅毒性丘疹ニ酷似スル者ナリ

(イ) 單純淋巴管腫ハ乳嘴狀ノ小腫瘍ニシテ細小囊腫狀 (Chystone) ノ水泡集合シテ形成セル者ナリ故ニ是ヲ穿刺 (Anstechen) セバ乳糜樣液體ヲ泄ラス

(ロ) 腔胴性淋巴管腫ハ殆ト皆先天性疾患ニシテ殊ニ顔面ニ發生シ唇舌部ニ著シキ肥厚ヲ來タス大唇大舌症是ナリ (Markrochie; Makroglossie)

### 脂肪腫 (Lipom)

皮膚脂肪腫ハ限局性ノ者多シ而シテ孤立性ノ者アリ多發性ノ者アリ孤立性ハ他ノ症候ナク發育徐々ニシテ一定ノ大サニ達セバ發育停止ス麻痺大乃至小兒頭大ノ者アリ大ナル者ヲ觸診セバ必ズ數個ノ瓣ヨリ構成セラル、ヲ知ルベシ又有莖懸垂スル者アリ

**部位** ハ頸部及ビ項部ニ多ク背部臀部之レニ亞グ軀幹頭部顔面等ニ

モ發生スルヲアリ

### 診斷

無痛性ニシテ軟ナリ且ツ稍大ナル者ニ至ツテハ必ズ瓣狀構成ナルヲ知ルベシ細小ノ者ニ至ツテ組織的検査ヲ要ス

### 治療法

外科的ニ出來得ル限リ切除スルノミ

## 第五章 皮膚退行性營養障害 (Regressive Ernährungs-

störungen d.r. Haut)

### 眞皮萎縮 (Atrophia cutis)

皮膚ノ萎縮ハ諸種皮膚病ノ結果トシテ來タルハ乾皮症鞏皮症ニ於ケルガ如キモ今爰ニ述ブルハ特發性皮膚萎縮 (idiopathische Hautatrophie) ノミナリ而シテ之ヲ限局性ト瀰蔓性トニ別ツ

(1) 限局性皮膚萎縮トハ蒼白ニシテ周圍ノ皮膚ヨリ低凹セル小斑或ハ



索條ヲ云フ而シテ五厘貨大乃至五十錢貨大ヨリ數センチ米突ノ長ク  
 ヲ有スル者ヲ線狀或ハ斑狀皮膚萎縮症(Maculae et Striae atrophicae)ト云フ  
 頸部四肢及ビ下肢殊ニ大小轉子等ニ生ジ婦人ニ多クシユルツ氏ハ婦  
 人ノ大腿ニ發生スル者ハ縱軸ニ沿ヒ其幅廣クシテ男子ハ其橫行(quer-  
 tina)ノ者多シト云ヘリ又本症ハ恰モ妊娠白線(Striae gravidarum)ノ腹部ニ  
 發生スル狀態ニ比スベシト云ヘリ「ウイルソン」ハ之ヲ偽性癩痕(Falsche  
 Narbe)ト稱セリ又神經性萎縮症(A. neurotica)ナル者普通神經經路ニ相  
 當シテ營養障害ノ原因ヨリシ又帶狀匍行疹及ビ神經創傷後等ニ來ク  
 ルヲアリ又瀰蔓性ニ移行スル處ノ症トシテ老人皮膚萎縮症(A. Senilis)  
 ナル者アリ  
 老人皮膚萎縮症ハ老年ニ至リ皮膚弛緩シ皺ヲ生ジ菲薄トナリ褐色ヲ  
 呈シ乾燥シテ落屑(Pityriasis)ヲ起コス者ナリ是レ畢竟一ハ液分ノ減弱  
 ト一ハ皮膚ノ變性症狀ニ因ル者ニシテ病的ノ意味ヲ附セントスルハ  
 皮膚瘙癢症ヲ伴フキナリ

(2) 瀰蔓性皮膚萎縮症ハ先天性ナルアリ或ハ後天初メテ發生スルアリ  
 (イ) 先天性ハ「カボジー」ノ記載セル單純乾皮症(Xeroderma simplex)ニシテ皮  
 膚ハ恰モ雁皮紙ノ如ク足蹠ヨリ上腿ノ中央部ニ至ルマデ萎縮シ稀ニ  
 ハ手掌ヨリ上膊ノ犯カサル、ヲアリ皮膚緊張短縮シテ之ヲ捫ミ得ズ  
 色素減少シ表皮菲薄トナル者ナリ而シテ此狀態ハ敢テ進行セズ其儘ニ  
 停止ス  
 (ロ) 後天性ノ者ハ稀有ニシテ四肢末梢ヨリ軀幹ニ進行シ管ニ表皮ノミ  
 ナラズ真皮殊ニ脂肪組織ヲ亦犯カサル、ヲ以テ皮膚ハ甚シク皺ヲ生  
 ズ

治療法

唯姑息療法(Paliativ)ニノ無刺戟性(indifferent)軟膏ヲ充分ニ塗布スルノミ

毛髮萎縮症(Atrophie der Haare)



先天ト後天ノ別アリ而シテ先天性ニ全身性ト局所性トアリ

(1) 先天全身性毛髮萎縮ハ殊ニ稀レニシテ一家中多數ノ者本症ニ製ハル、トアリ而シテ齒ノ欠損並ビニ爪ノ畸形 (Missbildung) ヲ伴フ者ナリ

(2) 先天局所性毛髮萎縮ハ病症進退セズ毛髮發生ナキ代リニ唯表皮鱗屑ノ産出甚シク塊ヲ爲シテ集積ス

後天性ノ者左ノ如シ是ニ禿髮 (Alopecia) ノ名稱ヲ附ス

他皮膚病ノ結果トシテ起ル禿髮ハ寄生性皮膚症ナル寄生性匂行疹白癬 (Favus) 鬚瘡等ニ來タリ又紅斑性狼瘡紅色苔癬乾癬「エクチエー」尋常性狼瘡丹毒及ビ凡テノ癩痕形成ヲ爲ス疾患ニ伴發スルヲアリ此ニ屬スル者ニテ糠枇様禿髮 (A. pityriades) アリ是レ頭部皮脂漏症ノ結果ニ「カボジ」氏等ノ研究ニ因レバ眉毛及ビ髭ニ來タルノミト云フ「ミツヘルソン」ハ全身性ヲ實驗セルノ報告アリ診斷ハ毛髮脱落ト共ニ多量ノ落屑アルヲ以テ明瞭ナリ

(イ) 老人禿髮症 (A. senilis) ハ高年ニ及ムデ生理的ニ頭髮ノ脱落スルヲ云

フ初メ顛頂ヨリ前後ニ蔓延シ側部ハ最モ遅ク犯カサル全ク脱落スル前驅トシテ屢々絨毛ノ發生スル期アリ皮膚初期ニ普通ナレモ後菲薄萎縮シ光澤アリ緊張ス

(ロ) 壯年禿髮症 (A. praescilis od. praenatura) ハ壯年ノ者ニ來タル禿髮ニシテ已ニ三十歳或ハ尙以前ニ脱毛スル者アリ時トノ禿皮上ニ多量ノ脂肪及ビ汗分泌ヲ見ルヲアリ此原因ハ遺傳及ビ頭部皮脂漏ト見做スベシ

結節裂毛症 (Trichorrhexis nodosa)

此症ハ「カボジ」氏ノ命名セシ者ニシテ毛髮ノ表鞘部ニ於テ毛幹ニ肥硬ヲ來タシ一見虱卵ニ似タル灰白色ノ結節ニシテ一毛ニ數個ノ結節ヲ見ルヲアリ之ヲ熟視セバ此ノ結節ハ毛髮ノ分裂ナルヲ以テ恰モ散布筆ヲ相對シテ挿入セルノ觀アリ若シ断裂セバ刷毛狀ノ末端ヲ殘コス好ムテ來タル部位ハ髯鬚ナリ

診斷



抜毛シテ精査セバ診斷容易ナリ殊ニ「ルーペ」ヲ蝨眼鏡ヲ以テセバ其分裂纖維ヲ確認シ得ベシ。

治療法

夜間充分ニ塗脂セバ足レリ必ズ石鹼ヲ以テ洗滌スベカラズ或ハ左方ヲ處スベシ

蓖麻子油

一〇〇〇

酒精

五〇〇

薔薇油

二滴

方錘狀毛髮症(Pili monileformis, Spindelhaarc)

本症ハ根部ヨリ末端ニ至ルノ間膨隆セル處ト狹窄セル部ト交互錯雜シテ珊瑚樹幹ノ如シ其膨隆セルハ空氣ノ侵入セルモノニシテ狹窄セル所ハ毛髓及ビ毛鞘ノ欠乏ニ基ツクモノナリ本症ハ先天性ナルアリ後天性ノ「ア」リ毛根ノ異常ニ因スル者ナリ

皮膚色素ノ萎縮症(Atrophie des Hautpigmentes)

皮膚ノ色素萎縮ハ皮膚ニ白色ノ外觀ヲ呈ス即チ(Leukopathie)ト云フ先天性ナルヲ白皮症(Albinismus)ト云ヒ後天性ナルヲ白斑(Vitiligo)ト云フ白皮症ニ全身性ト局部(Partial)性トアリ

(1) 全身性白皮症(universalis)ハ皮膚ハ勿論光彩膜脈絡膜網膜皆白色トナリ眼ハ赤色ニ透見シ羞明(Lichtscheu)アリ徃々眼球震盪症(Nystagmus)アリ頭髮モ亦白色ニシテ著シク細小トナリ絹糸様光澤アリ

(2) 局部性白皮症(partialis)ハ限局セル白皮症ニシテ時トシテ神經路ニ從「ア」アリ此局部ニ發生スル毛髮ハ色素ナシ然レモ唯此白毛ハ先天性ニ色素健存ノ普通ノ皮膚ニ發生スル「ア」アリ局性白毛症(Poliosis circumscripta)ト云フ

カボジ一氏ハ本病狀態ヲ色素性母斑(Pigmentna)ノ裏面ナリト説明セルハ最も適當ナリ



白斑ハ十歳ヨリ三十歳ノ間ニ生ズル者ニシテ往々對等性ニ來タル白斑ノ周圍ニハ色素常ニ増加シ症狀甚シキハ白斑ハ寧ロ疾患部ニアラズ却テ色素異常増殖ト誤解サル、トアリ毛髮モ亦白色トナルトアリ其他皮膚ニハ何等ノ異常ヲ認メズ

其他癩病性梅毒性白斑(Leukoderma syphiliticum)等ノ對症的白斑(Symptomatische Pigmentatrophie)アリ梅毒性白斑ハ多ク項部及ビ背部ニ來タリ形狀多クハ圓形ニシテ斑紋ノ狀態ハ斑馬ニ酷似セリ而シテ丘疹吸收後ニ發生スル者多シ

土肥教授ハ海水浴後ニ白斑ヲ生ゼル者數多ヲ實驗セラレ恐ラク一種ノ太陽光線ノ作用ニ因ルナラント説示セラル

**治療法**

奏効確實ナル者殆トナシ患者慰安ノ目的トシテ我皮膚科教室ニ於テハ左方ヲ處ス

「イヒチヲール」

三〇〇

焦性沒食子酸

一五—二〇

酒精

三〇〇

右一日一—二回塗布料

**毛髮色素ノ萎縮症(Atrophie des Hairpigmentes)**

**白髮(Canities)**

白髮トハ高年ニ至ツテ生理的ニ來タル症候ニシテ病的ニテハ重症後或ハ精神感動癩癩患者等ニ突然(Plötzlich)發生スルトアリ時ニハ再ビ以前ノ如キ色澤ヲ回復スル者アリ局所性(Poliosis)ハ局所性白皮症トシテ先天性ニ來タリ又後天性ニ白斑部ニ發生スルトアリ白髮ノ生ズル所ノ皮膚ハ必シモ白斑ナラズ時トシテ或神經領域ノミニ、限リ白髮ヲ生ズルトアリ而シテ神經痛(Neuralgie)ヒステリー(Hysterie)ノキ發生スルトアリ毛髮色變(Farbenwechsel der Haare)ヲ往々目撃スルトアリ赫髮トナルハ亞爾加里及ビ石鹼ヲ多量ニ使用スル者或ハ脱脂ヲ屢々行ヒタル者或又



精神感動後ニハ往々變色ヲ來タスヲ實驗スルコアリ

### 治療法

バシキス氏ノ方法ハ初メ石鹼水ニテ清洗シ次ニ温水ヲ以テ洗滌シ乾燥シタル後沒食子酸一〇蒸餾水五〇〇ノ者ヲ齒磨粉子ニテ毛根ヨリ末端ニ向ヒ好ク塗擦スベシ其乾燥ヲ待チテ同様ニ硝酸銀二〇蒸餾水一六〇アムモニアノ二三滴ヲ加ヘタル者ヲ塗擦ス而シテ毛ニ斑點ヲ生ゼハ沃度加里一〇〇蒸餾水二〇〇ヲ以テ此ヲ除去スベシ三四週間此法ヲ反覆施行スルヲ宜ロシトス又複雑ヲ避ケントセバ時トシテ一〇—二〇%硝酸銀水八日乃至十四日間塗布スベシ  
ベルナチク氏ノ方法ハ次硝酸蒼鉛或ハ次鹽酸蒼鉛ト亞爾加里或ハ硫黃劑トヲ併用セハ褐色或ハ暗褐色ヲ呈スト云フ

### 爪ノ萎縮症(Atrophie der Nägel)

爪ノ萎縮症ハ先天性ニ來タルコアリ後天性ナルコアリ外傷、化學的作

用、爪床炎症、内科病(腺病、肺結核、梅毒、神經異常)其他諸種ノ皮膚病ニ因テ萎縮ヲ來タスコアリ爪ハ裂痕ヲ生シ裂溝ヲ作り色澤ヲ失ヒ脆弱トナリ缺損シ易ク遂ニハ脱落ス疾患當初ニハ綳帶或ハ絆創膏(Helpflaster)ニテ固定スベシ爪白斑(Leukopathia unguium)ハ爪ノ實質ニ發生スル斑點或ハ斑線ニシテ爪ノ發育スルニ從ヒ爪端ニ轉位排進シテ消失ス其原因ハ爪母(Matrix)ニ存スルナリモリソン氏ハ毛ニ於ケルト同理ニシテ之レ空氣侵入ノ爲メニ白斑ヲ生ズル者ナリト説ケリ

### 紅斑性狼瘡(Lupus erythematosus)

此症名ハカヅナトグ氏ノ命ゼシ者ニテヘブラ氏ハ(Schorrhoea congenita)ト云ヒフオルクマン氏ハ皮脂漏性狼瘡(Lupus seborrhoeicus)ト云ヒウンナ氏ハ(Ulerythema centrifugum)ト云ヘリ

臨床的ニ二種ヲ區別ス一ヲ圓板狀紅斑性狼瘡(L. c. discoides)一ヲ播種狀紅斑性狼瘡(L. c. disseminatus)ト云フ本症ハ初メ限局セル紅斑及ビ血



管擴張ト共ニ多クハ皮脂腺ノ分泌ヲ伴ヒ終ニ皮膚ニ癬痕様萎縮ヲ來  
 タス者ナリ  
 (1) 圓板狀紅斑性狼瘡ハ普通ニ見ル所ノ者ニシテ初メ赤色ニシテ多ク  
 ハ稍隆起セル小發疹ナリ而シテ其發赤ハ周圍ニ蔓延シツ、中心部ハ蒼  
 白トナリ萎縮シテ陷凹シ脂漏性ノ苦ヲ被ムリ此痂皮ハ固着スル者ナ  
 リ是ヲ剝離セバ其痂皮下ニ突起アリテ是レ往々開大セル毛囊ニ突  
 入スルコトアリ病症進行セル者ハ病竈廣クシテ稍隆シ赤色ニシテ指壓  
 ニ因テ蒼白トナル邊緣ヲ有シ萎縮性ノ白色癬痕狀ノ中心ヲ有ス而シ  
 脂漏性苦ヲ皮脂腺ノナキ所ニ見ザルハ勿論ナリ故ニ此ノ如キ部位例  
 之バ手掌ニ發生セルキハ皮膚乾燥シ角質狀紅斑性狼瘡(L. e. cornus)ト  
 云ヒ或ハ炎症性ニ浮腫ス病竈廣大トナルハ一ハ周圍ニ廣ガルト一ハ  
 隣接病竈ノ互ニ融合スルトニ因ル經過ハ頗ル長クシテ十五年乃至二  
 十年ニ亘ル者アリ其邊緣ノ赤色薄クナルハ病症ノ停止(Stillstand)ヲ示  
 スモノナリ疼痛搔痒全身症狀等ナシ多ク犯カサル、者ハ貧血性ノ二

十歳乃至四十歳ノ婦人ナリ

部位

殊ニ鼻、頰部ニシテ病症ハ初メ鼻ヨリ起リ兩頰ヲ襲ヒテ其形狀恰モ蝶  
 ノ如シ唇、眼瞼、耳、頭皮、指趾トシ軀幹ニ發生スルハ實ニ稀有トス  
 (2) 播種狀紅斑性狼瘡ハ唯稀レニ見ルノミニシテ急性或ハ亞急性(Sub-  
 acute)ニ來タリ初メノ症狀ハ全ク圓板狀紅斑性狼瘡ニ異ナルコトナク全  
 身ニ發生シ其數唯夥多ナルノミ時トシテ發疹ノ際高熱アリ關節痛アリ  
 リ頭痛殊ニ劇甚ナリ而シテ病竈ハ圓板狀ノ如ク周圍ニ増大スルコトナ  
 シ又顔面ニ持長蕁麻疹性發赤ヲ來タシ丹毒様ノコトアリ重症ハ漿液性  
 或ハ出血性水泡ヲ發疹ノ際ニ來タスコトアリ此ノ如クシテ普通ハ此發作  
 再發シ頗ル全身症狀ヲ起シテ死亡スルモノナリ

診斷

發疹ノ中心ハ白色癬痕様ノ外觀ヲ呈シ固着セル皮脂漏性被苔アリ赤  
 色ニシテ稍隆起セル邊緣アルヲ以テ診斷ス



### 類症鑑別

- 第一、尋常性狼瘡(Lupus vulgaris)ハ狼瘡固有ノ結節アリテ此ガ破潰(Zerfall)シ又潰瘍ヲ形成ス幼年ニ多ク且ツ皮脂漏ナシ
- 第二、酒渣鼻ハ血管擴張シ痤疮膿疱(Acne pustul)アリ癩痕小ニシテ蔓延ハ瀰蔓性ナリ
- 第三、慢性エクチエトマハ濕潤アリ丘疹水疱アリ結痂アリ瀰蔓性蔓延ト癩痕ヲ形成セズシテ治癒ス
- 第四、寄生性匂行疹ハ經過速ニシテ剝落シ易キ鱗屑アリ癩痕ヲ結バズ且ツ甚シキ搔痒アリ
- 第五、尋常性乾癬ハ銀白色鱗屑アリ此ヲ剝離セバ出血ス癩痕ヲ作ラス頭部ニ來タリシキモ頭髮脱落ナシ伸展側ヲ犯カスヲ特兆トス
- 第六、梅毒疹ハ浸潤アリ銅色ニシテ指壓ヲ加フルモ褪色セズ發疹多形ニシテ經過迅速ナリ

### 治療法

貧血アル者ハ之ヲ治シ内科病ノ有無ヲ注意スベシ  
 局所ニハ刺激性藥劑ヲ用ユルハ注意スベシ時ニハ却テ病症ヲ増悪セシムルコトアレバナリ脂漏性ノ痂皮ハ石鹼或ハ加里石鹼精ニテ洗滌スベシ乳酸ハ好成績ヲ示スコトアリ

乳酸

各五〇〇

蒸餾水

右塗布

「イヒチヲール」二〇—二〇%軟膏或ハ溶液又ハ「フィルニス」假漆ヲ用ユ

イヒチヲール

四〇〇

澱粉

四〇〇

可溶性アルブミン

一—一五

蒸餾水

一〇〇〇

右「イヒチヲール」漆劑ト云フ澱粉ヲ水ニテ能ク攪拌シタル後是以テ「イヒチヲール」ヲ調和精擦シ僅カニ温メツ、用意セル蛋白



溶液ヲ加フベシ

而ノ此等藥劑ヲ用ユルニ當テハ邊縁ヲ亂切シ置クヲ可トス又沃度「グリスリン」或ハ水銀硬骨ヲ宜シトス

沃度末

各五〇

沃度加里

グリスリン

一〇〇

最モ強キハ一〇% 沒食子軟膏トス烙白金ヲ用ヒ燒灼シ後沃度「ホルム」末ヲ撒布スベシ又電氣燒灼或ハ二十倍外塗「コロヂューム」ヲ層重塗布スベシ又剝離膏ヲ試ムルモ可ナリ

### 鞏皮症(Skleroderma)

カボジ一氏ハ期ヲ分ツテ隆起期(Sadium elevatum)ト萎縮期(Si. atrophicum)トセリ局所障害或ハ全身症狀ナクプリキ様ニ硬固ナル斑點或ハ線トシテ皮膚面ヨリ隆起シ或ハ又陷凹シ光澤アリ其色紅色或ハ褐赤色又

青銅色或ハ綠色ノ光輝ヲ有シ而シテ蔷薇色ノ邊暈アリテ之ヲ圍ム時トシテ限局セル部位ヲ犯カシ時トシテ病竈融合シ又蔓延シテ全身性トナルヲアリ時ヲ經レバ皮膚緊張シ裂痕皸裂及ビ色素沈着ヲ生ズ指ハ屈曲シ鞏皮指(Sclerodactylic)トナリ顔面皮膚ハ剛強トナリ移動セズ恰モ化石セルガ如キ觀ヲ呈ス末期ニ至レバ觸神(Tastempfindung)及ビ汗分泌ハ減弱シ皮膚温モ亦下降ス而シテ疼痛ハ全無ナリ經過ハ種々ニシテ病症増進セザル者ハ治癒ニ赴クヲアリ或ハ皮膚ハ漸々萎縮シテ菲薄トナリ癢痕トナルモ全身性ノ者ハ遂ニ衰弱ノ爲メ死ニ陥ルモノトス  
部位 好ムテ上半身ヲ犯カシ其他ノ部位ハ一定スル所ナシ粘膜モ亦鞏皮症ニ陥ルヲアリ

### 診斷

皮膚ハ硬剛(Starr)ニシテ且ツ激冷ナリ末期ニ至レバ萎縮ヲ形成シ又特有ノ色澤アルヲ以テ診斷シ得ベシ

### 類症鑑別



第一、色素性乾皮症ハ初ヨリ萎縮ナク且ツ常ニ増進ス初メ雀斑ヲ以テ初マル

第二、癩病ハ結節アリ斑紋アリ其部位ニ知覺異常アリ

第三、粘液浮腫(Myxoedem)ハ瀰蔓性肥硬ノ皮膚ニシテ硬固ノ浸潤ナシ

第四、蟹足腫ハ瀰蔓性ナラズ且ツ硬固ナラズ疼痛アリ殊ニ軀幹ニ發生ス

### 治療法

温浴、蒸氣浴(Dampfbäder)按摩或ハ油劑脂劑ノ塗擦ヲ最モ可トシ又鹽湯

海水浴鐵浴(Salz-See-Eisenbäder)モ効アリ内服トシテハ亞砒酸或ハ水楊酸

曹達ヲ試ミ其他強壯劑ヲ與フベシ

### 小兒鞏皮症(Sclerema neonatorum)

本症ハ上記鞏皮症トハ全然區別スベキモノニシテ誕生當日或ハ稀レニ生後一ヶ月内ニ體温下降ヲ以テ足及ビ下腿ニ硬固ナル水腫様肥硬ヲ來タシ數日間ニ全身ニ蔓延スルモノナリ初メ浮腫起リ次デ皮膚緊

張シ光澤アリ白色或ハ赤色或ハ汚穢褐色ニシテ強剛トナリ此ニ觸ルレバ冷タシ此浮腫消退スルモ皮膚ハ硬固トナリ皺襞ヲ生ズ顔面皮膚ハ老人ノ如キ外觀ヲ呈シテ且ツ移動セズ又哺乳スルコト能ハズ遂ニ惡疫質ニ陥イリ死亡スル者ナリ多クハ貧民ノ初生兒ヲ犯カスゾルトマン氏ハ血液及ビ水分ノ損失ノ爲メニ血液濃厚凝固(Bluteindickung)スル故ナリト説明セリ

### 治療法

滋養物、酒精類、温袍ニ纏絡シ或ハ摩擦(Frottieren)按摩等ヲ施コスベシ

### 多發惡疫性皮膚壞疽(Gangraena cutis multiplex chectica)

本症ハ惡疫質ノ者殊ニ小兒ノ皮膚ニ大小種々壞疽ヲ發生ス其發生スルヤ同時ニ多數ヲ發生シ或ハ漸次發生スルコトアリ表皮ハ水疱ヲ作りテ膨隆(aufheben)シ其部位ハ黒色トナリ遂ニ化膿シ境界線ヲ生ジテ脱



落スルモノアリ

### 治療法

強壯劑ヲ與ヘ局所ハ外科的ニ制腐法ノ定則(Antiseptische Grundsatz)ニ從セ處置スベシ

## 第六章 神經性皮膚症(Neutritische Dermatosen)

### 匍行疹(Herpes)

匍行疹(Herpes)トハ急性ニ發生スル小結節ニシテ忽チ小水疱ニ變ジ且ツ集積性或ハ環狀ニ配列シ暫時ニシテ分泌物ハ乾燥シ結痂ヲ以テ治癒ニ赴クモノナリ尙匍行疹ハ普通多クハ神經ノ徑路ニ沿ヒ發生スルモノトス

### 帶狀匍行疹(Herpes zoster)

帶狀匍行疹ハ多ク發赤セル皮膚ノ表面ニ匍行疹集簇發生シ神經徑路

ニ沿ヒ時トシテハ發熱ノ前驅(Prodrom)症アリ殆ド常ニ神經痛ヲ前發ス而シテ發疹後痛ハ緩解スルヲ常トス其部位ニハ知覺過敏或ハ又痛覺鈍麻ノ存スルコアリ自覺症ハ灼熱或ハ痒痒ナリ水疱ノ乾固スルハ混濁シテヨリ普通四日乃至八日間トス遞次發疹スルコ屢々ナレモ固有ノ再發ハ稀有ナリ表皮剝離シ(Erosionen)潰瘍(Geschwür)トナルハ之レ刺戟性膏藥或ハ衣服ノ摩擦等ニ因ル者ナリ例外(Ausnahme)トシテハ水疱ノ内容出血性ノコアリ(H. z. haemorrhagic)ト云フ局部神經ニハ一時性ノ麻痺(Lähmung)ヲ來タシ其他營養障害ニ因スル諸症ヲ發スルコアリ最モ稀有ナルハ壞疽ヲ來タスコナリ(H. z. gangraenosis)ト云フ本症ノ發生ハ普通ハ一側ヲ多シトシ春秋ノ二季ニ發病スルコ多シ其部位ニ從ヒ左ノ名稱ヲ附ス

(イ) 顔面帶狀匍行疹(H. z. facialis)ハ三叉神經領域ニ來タリ殊ニ必要ナルハ眼球帶狀匍行疹(H. z. ophthalmicus)ニシテ角膜潰瘍、眼球炎、腦膜炎等ヲ起スコアリ